



IoT ホーム Link

Life Assist

設計・施工説明書

リンクコントローラ
macラベルを
ここに貼付してください。

巻末に保証書を添付しておりますので、必要事項をご記入の上、必ずユーザー様に本説明書をお渡してください。

- 記載されている商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 詳しくは、本説明書及び下記のHPをご参照ください。



設計・施工説明書

http://www.cextension.jp/tostem_p/manual.asp?cat_id=MAM484

アプリユーザーマニュアル

https://www.cextension.jp/tostem_p/manual.asp?cat_id=MAM485



Life Assist の商品情報

https://www.lixil.co.jp/lineup/solar_roof_outerwall/lifeassist/

ユーザー様への引渡し品

- ・設計施工説明書(本誌※保証書に記入ください)
- ・リンクコントローラのmacラベル(本誌表紙に貼付)
- ・温湿度センサの電池
- ・LifeAssist web申込書
- ・LifeAssist サービス申込お客様番号(ユーザー様用封筒のみ)



目次

1. はじめに	P3~P14
1-1. 安全にお使いいただくために	P3
1-2. 使用上のご注意	P4
1-3. システムの特長	P6
1-4. システムの連携概念図	P7
1-5. システムの機能と役割	P9
1-6. システム構成と接続	P11
1-7. アシストルール	P13
2. 商品の名称と機能	P15~P24
2-1. 専用無線LANルータ	P15
2-2. ホームコントローラ	P16
2-3. リンクコントローラ	P17
2-4. 屋内カメラ	P18
2-5. ドア窓センサ	P19
2-6. モーションセンサー	P20
2-7. 温湿度センサハブ/温湿度センサ	P21
2-8. ローカル用USBメモリ	P22
2-9. システム機能	P23
3. 本システムを利用するまでの流れ	P25~P66
3-1. 本システム導入フロー	P25
3-2. ①ご購入商品の決定	P26
3-3. ②機器設置位置と先行配線位置の決定	P27
3-4. ③初期動作確認	P28
1) ホームコントローラ システムのみの接続	P28
2) リンクコントローラ+ホームコントローラ システムの接続	P31
3-5. ④ホームコントローラの初期設定	P37
3-6. ⑤機器の設置・接続	P42
1) 専用無線LANルータ	P42
2) ホームコントローラ	P44
3) リンクコントローラ(ゲートウェイ)	P46
4) 屋内カメラ	P48
5) ドア窓センサ	P50
6) 広域人感センサ	P53
7) 狭域人感センサ	P56
8) 温湿度センサハブ/温湿度センサ	P60
3-7. ⑥絶縁シートの挟み込み	P61
3-8. ⑦インターネット回線の申込	P62
3-9. ⑧クレジットカード情報の登録・申し込み	P62
3-10. ⑨アプリのダウンロード	P62
3-11. ⑩アシストルールの設定・停止・解除方法	P63
1) 例1: 外出モード時のルール(お出かけ時)	P63
2) 例2: 外出モード時のルール(不在)	P64
3) 例3: 音声認識によるルール(スマートスピーカー)	P66
3-12. アプリ画面遷移	P68
4. 接続機器を追加・交換・削除する場合	P69~P80
4-1. 各機器のペアリング(追加)	P69
1) ホームコントローラの追加	P69
2) リンクコントローラ(ゲートウェイ)	P70
3) 屋内カメラ	P72
4) ドア窓センサ	P73
5) 広域人感センサ/狭域人感センサ	P74
6) 温湿度センサハブ	P76
7) 温湿度センサ	P77
4-2. 機器の削除	P79
5. 家電・建材との連携	P81~82
5-1. ECHONET Liteの対応機器と連携について	P81
5-2. ホワイトリストについて	P82
6. トラブルシューティング	P83~86
7. IoTホームリンクサービス「LifeAssist」利用規約	P87~89
8. 保証とアフターサービス(よくお読みください)	P90
保証規定	P91
保証書	P94

1. はじめに




1-1. 安全にお使いいただくために










ここに示した注意事項は、安全な設置作業および安全にご使用いただくための重大な内容を記載しています。必ずお守りください。誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害を、次のように区分して説明しています。





 警告	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害※の発生が想定されます。

※物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットなどに関わる拡大損害を示します。



お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 ●禁止 禁止の通告	 ●分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告	 ●指示 使用者の行為を指示する表示
---	--	--

 警告	
	電気工事は「電気設備に関する技術基準」「内線規程」など該当法規制に従い、有資格者が実施してください。感電、火災のおそれがあります。
	必ず専用ACアダプタをご利用下さい。 専用ACアダプタ以外を使用すると、故障や発火の原因となります。
	植込み型医療機器を装着した人が、本製品をご使用される場合は、植込み型医療機器の取扱説明書および担当医師の指示に従ってください。医療機器の正常な動作を損なうおそれがあります。
	発火物を近づけたり、可燃性ガスを含むスプレーを吹き付けしないでください。 発煙・発火・火災・爆発のおそれがあります。
	ぬれた手で触れないでください。 感電による傷害や機器故障のおそれがあります。
	次のような場所には設置しないでください。焼損のおそれがあります。 ●屋外や軒下等の雨水があたるところ。 ●浴室、洗面所、脱衣所、作業場、調理場などで湯気の当たる場所、もしくは湿度が25～85%RH 以外のところ。
	分解・改造しないでください。 感電による傷害や発煙・発火・火災が起こるおそれがあります。電波法でも禁止されています。
	異臭や異音がした場合は使用をやめてください。発煙、火災のおそれがあります。

 注意	
	振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれのあるところに設置しないでください。 落下によりケガをするおそれがあります。
	乳幼児の手の届く場所やペットが近づける場所、不安定な場所には置かないでください。 落下によりケガをするおそれがあります。
	製品の上に乗ったり、物を置いたり、ぶら下がったりしないでください。ケガのおそれがあります。

⚠ 注意

	<p>ユーザー様の目の届かない環境での機器操作『遠隔操作』をする場合、以下のことをお守りのうえ、ユーザー様ご自身のご判断で使用可否を判断し、ご自身の責任のもとで使用してください。機器がユーザー様の意図しない作動をすることにより、ケガや防犯性の低下などが起こる事があります。</p> <p>例1：電動シャッターの開操作によるご家族の方の締め出し、シャッターによる挟み込み、動作に驚いて転倒するなど。</p> <p>例2：サッシが施錠されていない状態での電動シャッターの開操作による防犯性の低下。</p> <p>例3：玄関電気錠の施錠によるご家族の方の締め出し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔操作を行う機器は弊社ホームページ掲載の最新の「LifeAssistホワイトリスト」より選定してください。 ・事前に機器に必要な日常点検などで異常がない事を確認し、機器周辺に機器の動作を妨げるものまたは機器の操作により影響を受ける可能性のあるものがないことを確認してから操作してください。
	<p>スマートスピーカーなどからの機器操作『音声操作』をする場合、以下のことをお守りのうえ、ユーザー様ご自身のご判断で使用可否を判断し、ご自身の責任のもとで使用してください。第三者の音声操作によりユーザー様の意図しない機器が作動をすることにより、ケガや防犯性の低下などが起こる事があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声操作を行う機器は弊社ホームページに掲載の最新の「LifeAssistホワイトリスト」より選定してください。 ・音声操作のための言葉『指示語』を登録できる機能がある場合、必ずユーザー様ご自身で登録し、第三者に知られないようにしてください。 ・『指示語』を登録できる機能がある場合、第三者に類推されにくい指示語を登録し、定期的に変更してください。

1-2. 使用上のご注意

安全上の要点

以下に示す項目は安全を確保する上で必要なことですので、必ずお守りください。

- Life Assistに発煙、発熱、その他の異常を感じた場合は、電源を切りコンセントまたは電池を抜いてください。
- 機器の電源コネクタには、付属の専用ACアダプタ以外を接続しないでください。
- 水などがかからないように注意してください。
- 押入や階段下など、通風を妨げるような場所に設置しないでください。
- 振動、衝撃の影響が大きいところには保管・設置（輸送を含む）しないでください。

使用上のご注意

- ご利用前に必ず利用規約を十分に理解し、ご承諾の上利用を開始してください。
- 電波強度によって設置希望場所にデバイスを設置できない場合があります。
- リンクコントローラは常時電源を入れた状態にしておいてください。電源を抜いてしまうと、接続されたデバイスの電池寿命が著しく低下してしまいます。
- Life Assist機器は常時電源が入った状態で、インターネットに接続されている必要があります。インターネット回線障害時や、停電時にはサービスは利用できません。
- デバイスを移設すると電波強度に影響を及ぼし、正常に動作しなくなる可能性があります。
- ユーザー様保有のルーターに起因する接続不具合についてはサポート対象外となります。
- インターネットの上り速度によっては、カメラのライブ映像の途切れ、コマ落ちが発生する場合があります。
- LifeAssistのご使用時には1つのパッケージで30Mbps以上の通信回線速度を推奨します。ただし、複数台の屋内カメラやご家庭で他の通信を併用される場合は余裕を持った通信回線をご用意ください。
- 本製品は計量法に定める指定期間が行う検定に合格した特定計量器ではありませんので、電力量の証明には使用できません。
- インターネットに接続しない使用環境で、日時を設定を変更した場合、または停電が発生する場合、実績データに影響を与えることがあります。日時は正しく設定してください。
- 技術適合証明のラベルを剥がさないでください。ラベルのないものは、使用が禁止されています。
- Life Assist機器の電源を切る際には機器それぞれの電源ボタンを押し、コンセントから外してください。また、再度通電する場合はインターネットの上位側から順に数分ずつ間隔をあけて電源を投入してください。機器が破損する場合があります。

1. はじめに

1-2. 使用上のご注意

操作に関するご注意

- ユーザー様の目の届かない環境での機器操作『遠隔操作』をする場合、ユーザー様ご自身の判断で使用可否を決定し、ご自身の責任のもとで使用してください。これによる損害について弊社は一切の責任を負いません。
- スマートスピーカーなどからの機器操作『音声操作』はユーザー様ご自身の判断で使用可否を決定し、ご自身の責任のもとで使用してください。これによる損害について弊社は一切の責任を負いません。
- ご使用になるパスワードはご自身で管理し、定期的に変更してください。

使用場所に関するご注意

- 次のような場所に設置しないでください。
 - ー直射日光のあたるところ
 - ー虫や小動物が多いところ
 - ー湿度変化が激しいところ
 - ー潮風にさらされるところ
 - ー風雨にさらされるところ
 - ー水を浴びる、水の侵入があるところ
 - ー氷結するところ
 - ー浴室、脱衣所、台所などの水蒸気、結露のあるところ
 - ー揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有毒ガスのあるところ
 - ー使用温度・湿度範囲以外になるところ：各機器の環境条件をご確認ください。
 - ー標高2000mを超えるところ
 - ー塵埃(粉塵、砂塵、棉ホコリ、金属粉、ワラ屑など)の多いところ
 - ー金属・金具類に覆われたところ、金属の壁への設置、金属の机の上、金属製品のそば、無線通信を行う機器間に以下の物質・建材がある場合(鉄板や鉄筋・コンクリート・セメント・石・レンガ・網入りガラスに近いところ)、電子レンジ及び無線に影響を与える機器(電話機・FAX・パソコン・パソコン周辺機器・テレビ・IH製品など)の近く
 - ー電波環境・無線通信による影響が発生するところ・機器(高圧線・変電施設・アマチュア無線基地・架線・発電施設・気象レーダー・衛星レーダー・空港・近隣住宅の類似機器など)の近く
 - ー機器の特性上の電磁音(モスキート音)及び動作音が気になるところ
 - ー天井裏など隠蔽されたところ
 - ー3階以上の建物の部屋間など複数の壁や構造材をまたぐ環境。(有線通信機器をのぞく)

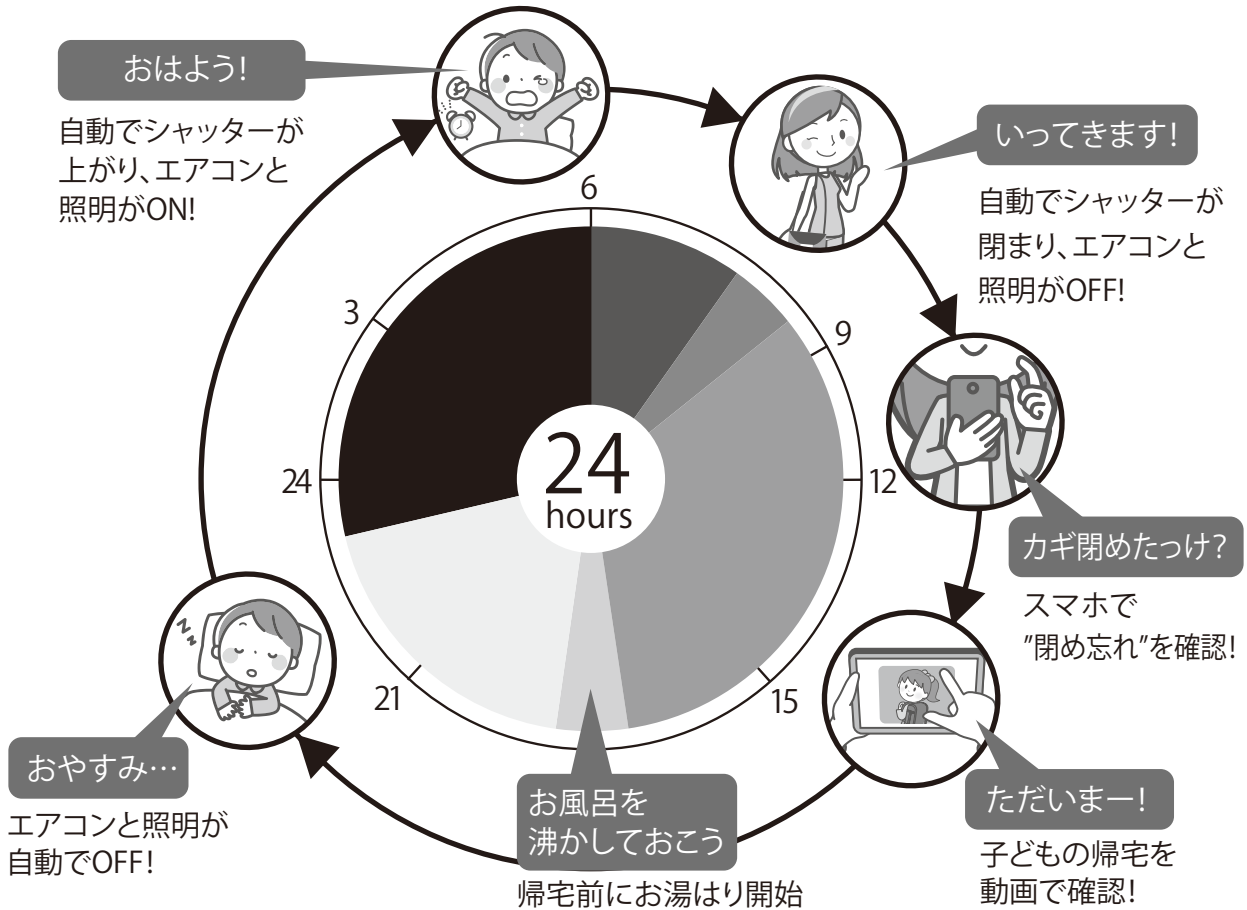
その他のご注意

- 廃棄する場合は、地方自治体の条例または規則等に従ってください。
- 機器に触れる場合は、静電気に注意してください。
- ケーブルを強く引っ張らないでください。
- 保管する場合は、以下の温湿度範囲で保管してください。
 - ー温度：-10～50℃ ※リンクコントローラの保存温度は0～40℃
 - ー湿度：25～85%RH ※リンクコントローラの保存湿度は5～85%RH
- 電池駆動のデバイスの電池が切れた場合は、お客様ご自身での電池交換をお願い致します。
- センサー端末は両面テープ及びビス止め施工になりますので、機器取り外し後、壁などにテープ剥がし跡、ビス穴などが残る場合があります。
- システムメンテナンス時は、一部、または全てのサービスが利用できなくなる可能性があります。
- 他製品のメンテナンスツールを使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。
- サポート対応において、ユーザー様のセンサーの反応履歴を確認させていただきます。カメラのライブ動画、保存された動画、写真についてはLIXIL側では確認することができません。
- 端末によりアプリケーションが動作しない場合があります。
- お使いの端末・機種・ソフトウェアのバージョンや時期などによって、本書の説明内容と差異のある場合があります。その際はお手元に表示されている実際の内容を優先してご使用ください。

1-3. システムの特長

生活シーンに合わせた便利機能

さまざまな生活シーン、時間帯などに合わせてユーザー様の生活を豊かにアシスト。
例えば、スマートスピーカーと連携することで、朝のお出かけ時に「いってきます!」と発話すれば、
自動でシャッターが閉まり、エアコンと照明をOFFにするといったことができます。
(LifeAssist機器と連携可能な機器との連携をおこなった場合)



建材・家電等の 遠隔操作

遠隔操作に対応した家電、建材をスマートフォンなどから操作できます。



留守宅や実家の 見守り/モニタリング

留守宅の確認や離れて暮らすご家族をやさしく見守りできます。



センサや音声認識による 自動制御

センサやスマートスピーカーと連携して、遠隔操作に対応した機器を操作できます。



エネルギーや生活習慣の 見える化

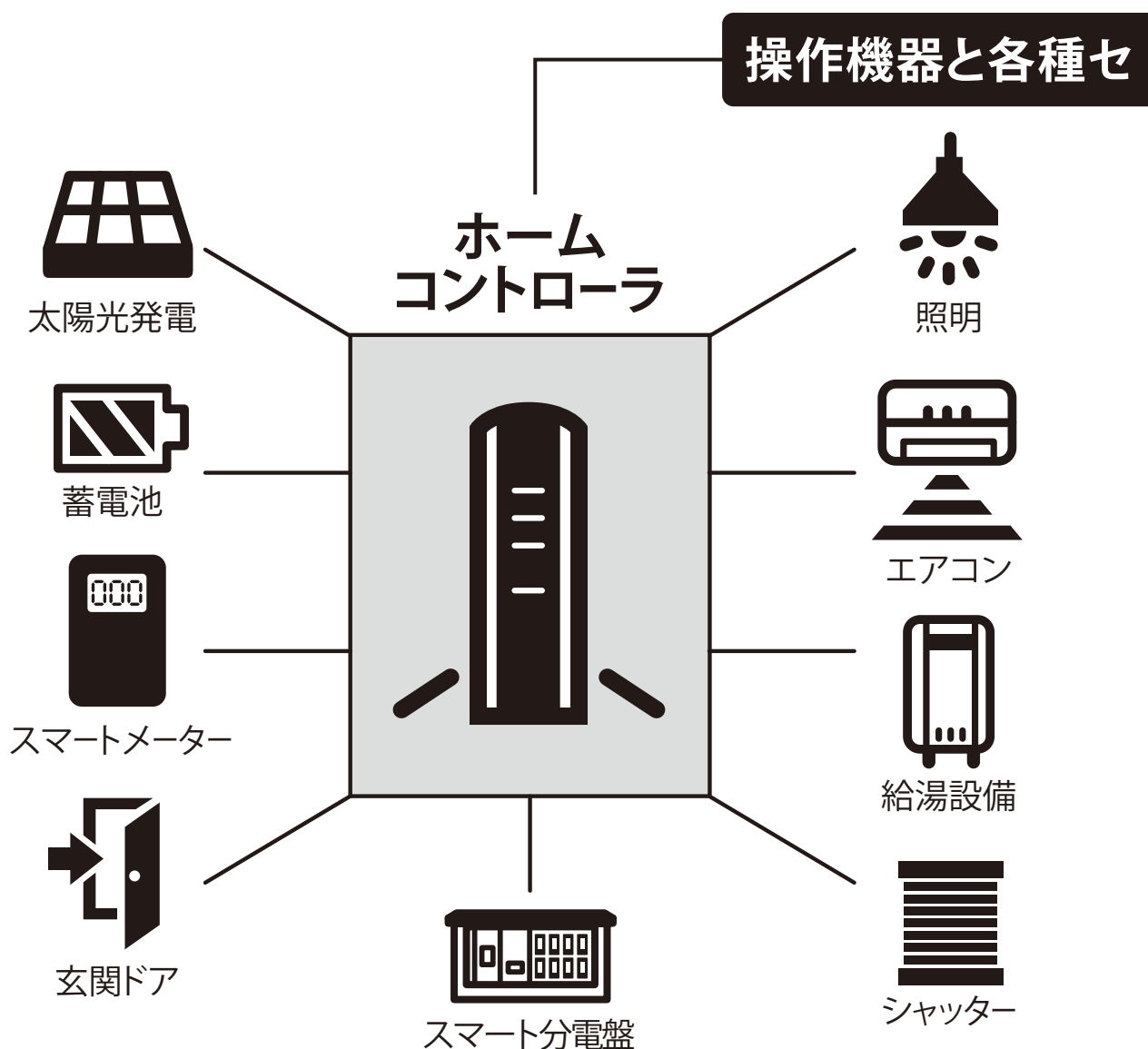
宅内の消費電力などエネルギーが分かりやすく確認できます。



1.はじめに

1-4.システムの連携概念図

LifeAssistのシステムはエネルギーマネジメント・家電制御を行う「ホームコントローラ」と、センサ・カメラによるモニタリング・見守りを行う「リンクコントローラ」の2つのサブシステムで構成され、これらをインターネットを介して連携することで、1つのアプリで一括管理・操作します。「ホームコントローラ」とこれに連携する機器、「リンクコントローラ」とこれに連携する機器は、それぞれ独立したシステムとして設置・操作することができます。例えば、HEMS機能のみを使用したい場合は、「専用無線LANルータ」「ホームコントローラ」と「スマート分電盤」のみで使用することができます。



ひとつの
アプリで
一括管理!



インターネット



専用無線
LANルータ

センサが一括連携!

リンク
コントローラ



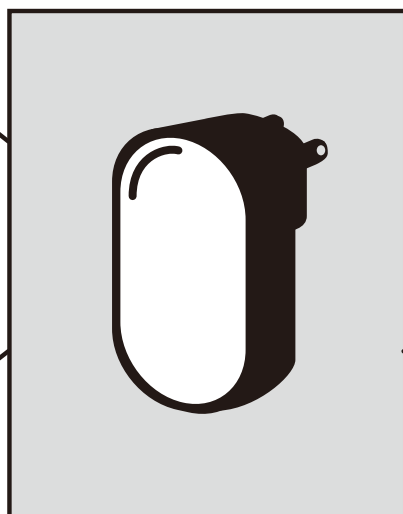
人感センサ
(広域/狭域)



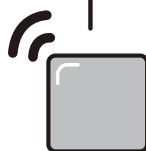
屋内カメラ



ドア窓センサ



スマートスピーカー



温湿度
センサハブ



温湿度
センサ

1.はじめに

1-5.システムの機能と役割

専用無線LANルータの機能と役割

LifeAssistのシステムに接続する各製品機器をつなぐためのものです。

LifeAssistのシステムに接続する製品のみに使用してください。

※配線図は「1-6. システム構成と接続」をご覧ください。

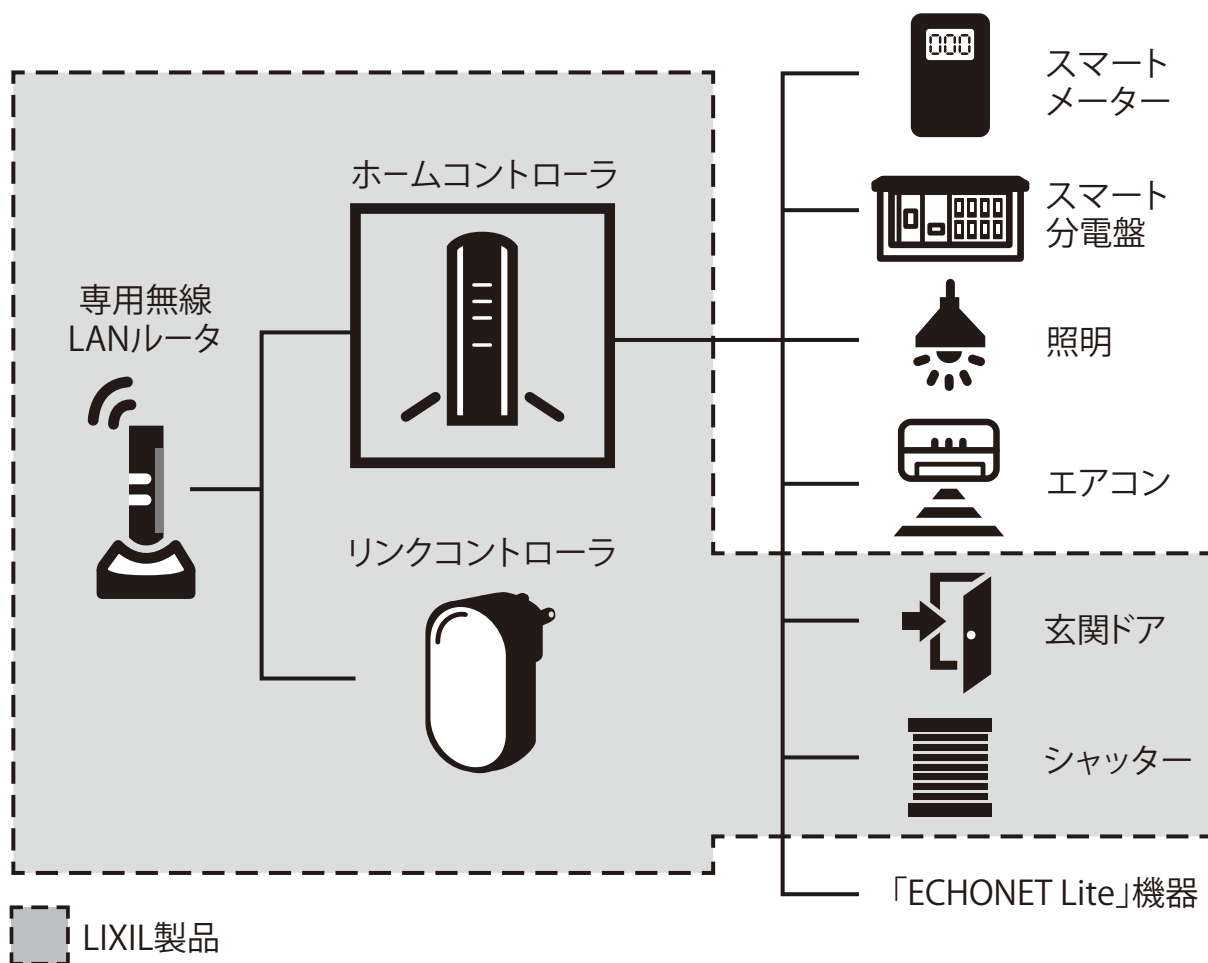
ホームコントローラの機能と役割

エネルギーの見える化機能 (HEMS)

スマート分電盤と接続することで、電力量や水道・ガスの使用量などのエネルギーマネジメントが行えます。※¹

遠隔制御機能

「ECHONET Lite規格」に対応した建材・家電の状態確認を行ったり、遠隔操作を行います。エアコン・照明・蓄電池・太陽光発電・給湯機・スマートメーター・シャッター・電気錠などと連携することができます。※²



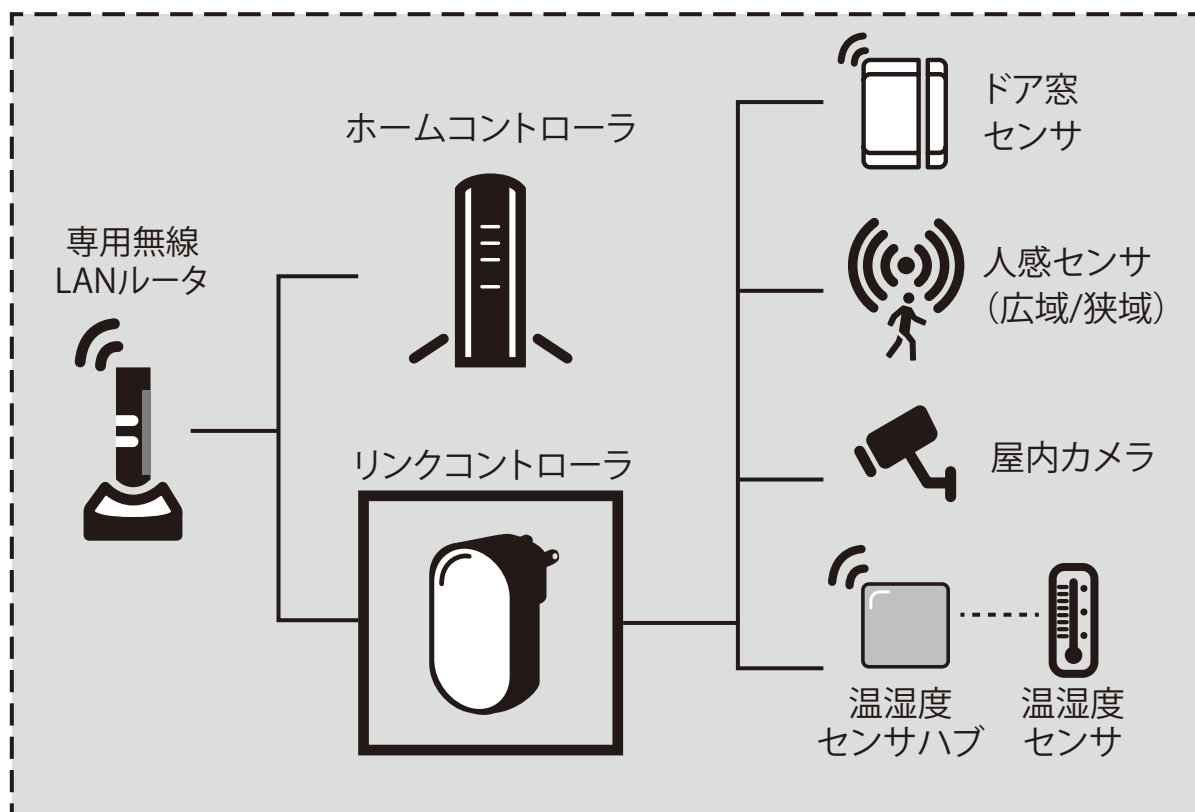
リンクコントローラの機能と役割

見守り/モニタリング機能

留守宅の確認や離れて暮らすご家族をやさしく見守りできます。※3

自動制御機能

センサやスマートスピーカーと連携して遠隔操作に対応した機器を操作できます。※4



LIXIL製品

※1 スマート分電盤とは、分岐ブレーカ毎に電力量用のセンサが組込まれ、計測できる分電盤です。LifeAssistでは連携動作が確認された機器を「ホワイトリスト」として当社のホームページで公開していますので、ご確認のうえ連携機器をご選定ください。水道・ガスの使用量を計測する場合は、分電盤の仕様に従って、対応可能機器をご選定ください。ただし、公開している機器との動作保証を行うものではありません。

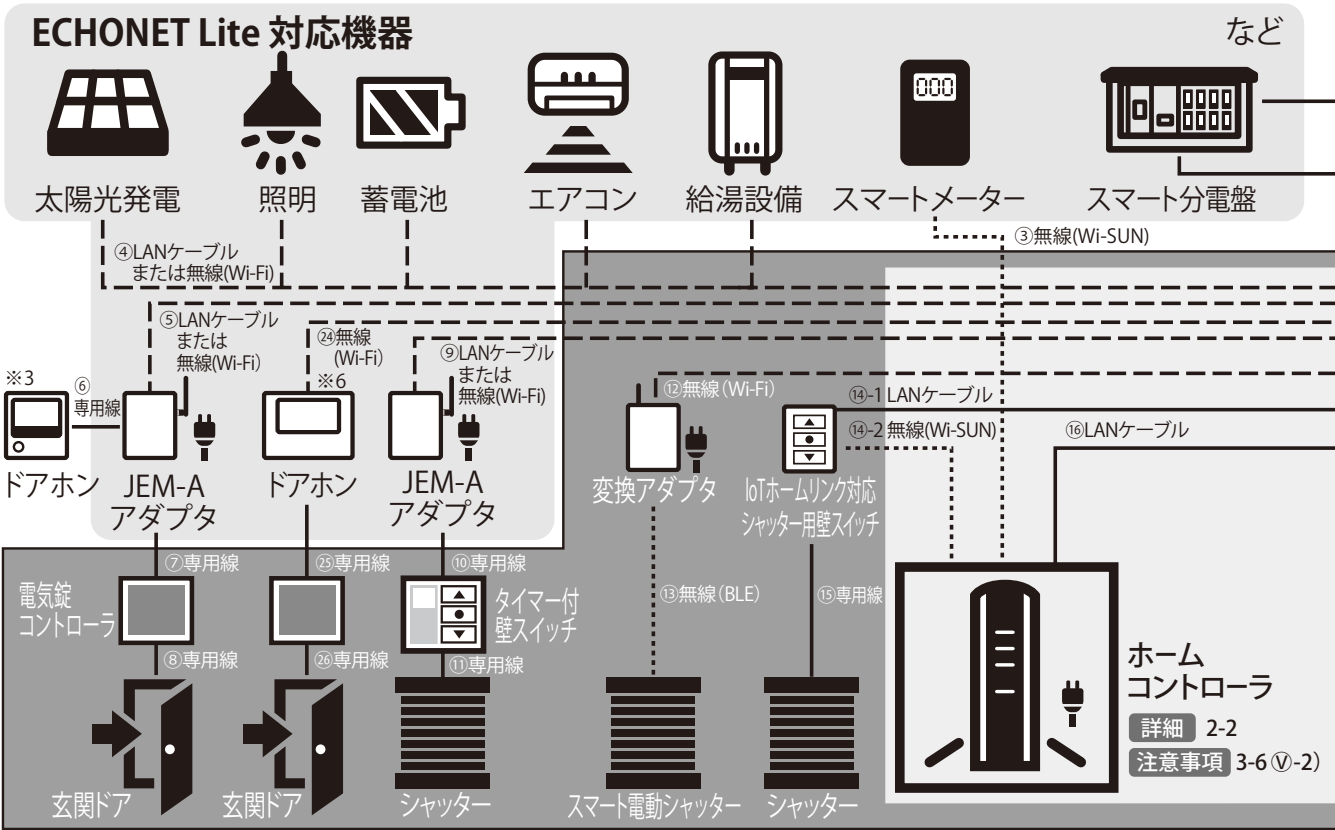
※2 ECHONET Lite規格とは、スマートハウスを実現するための通信規格で、遠隔制御機能を有する多くの電気機器で採用されています。LifeAssistでは動作が確認された機器を当社のホームページで公開していますので、ご確認のうえ連携機器をご選定ください。ただし、公開している機器との動作保証を行うものではありません。

※3 「見守り/モニタリング」の機能は、センサの動作や電力の使用量などを使用者様にご確認いただけるようにすることにより、ご使用者様ご自身で判断頂けるようにする機能です。通信の状況やセンサの動作などによりご確認ができなかったことによる保証を行うものではありません。

※4 「1-7.アシストルール」の項目をご確認ください。

1.はじめに

1-6. システム構成と接続



Life Assist製品の電源について:
「専用無線LANルータ」、「ホームコントローラ」、「リンクコントローラ」、「温湿度センサハブ」、「屋内カメラ」にはAC100Vコンセントをご用意ください。

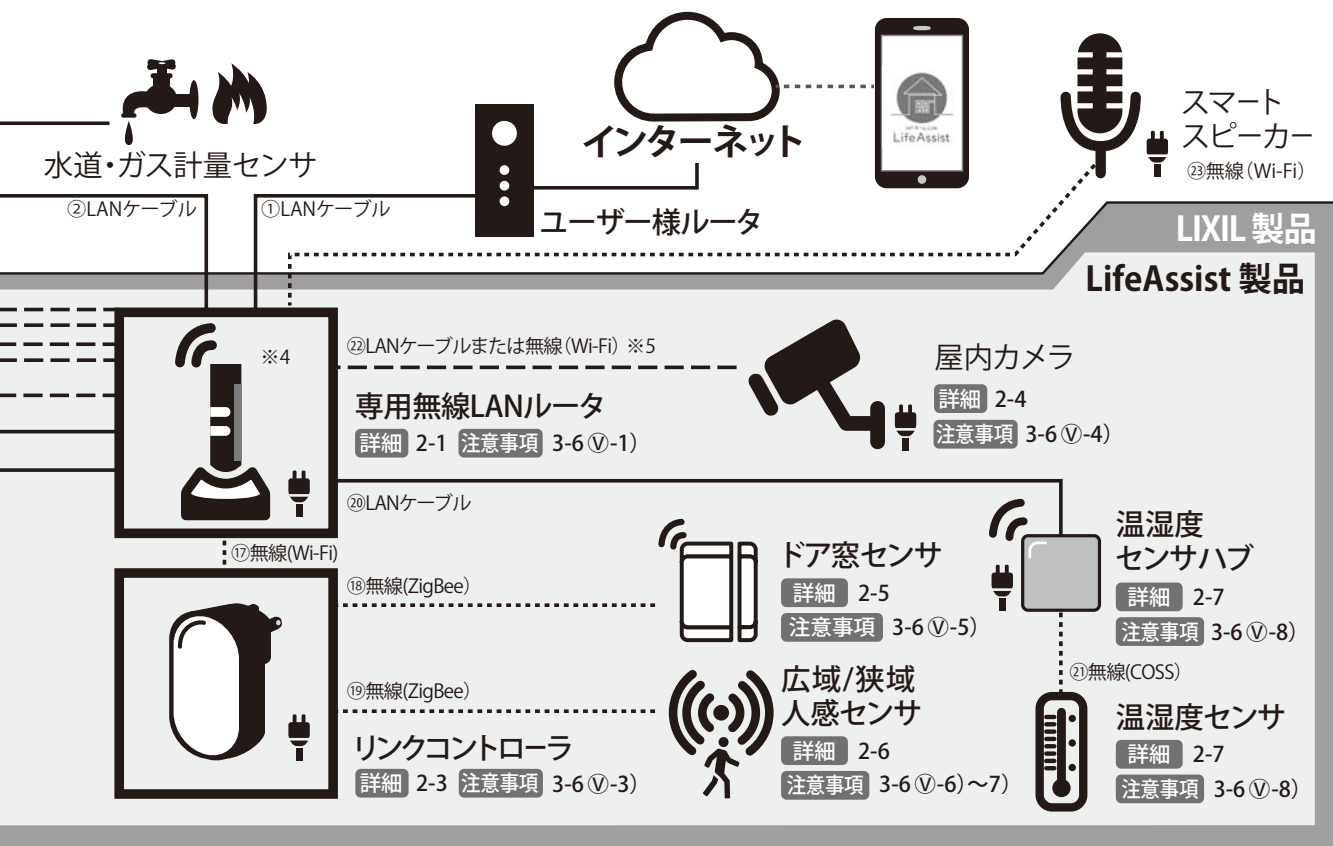
Life Assist製品以外の電源について:
ご利用になる機器の仕様に合わせて電源・信号線の工事を行ってください。

設置上のご注意

3階以上の建物の部屋間や壁・金属・構造材をまたぐ環境では通信用の電波が不安定または遮断されることがありますので設置を避けてください。本書「安全にお使いいただくために」、「使用上のご注意」をよくお読みのうえ設置機器／設置場所をご選定ください。

配線について

No	配線種	接続機器	備考
①	LANケーブル	専用無線LANルータ↔家庭用モデム/ONU/ユーザー様ルータ	専用無線LANルータに同梱(0.5m)
②	LANケーブル	専用無線LANルータ↔スマート分電盤	現地手配 ^{※1}
③	無線(Wi-SUN)	ホームコントローラ↔スマートメーター	——
④	LANケーブルまたは無線(Wi-Fi)	専用無線LANルータ↔ECHONET Lite対応家電・住宅設備機器	現地手配 ^{※2}
⑤	LANケーブルまたは無線(Wi-Fi)	専用無線LANルータ↔JEM-Aアダプタ	現地手配 ^{※2}
⑥	専用線(3芯)	JEM-Aアダプタ↔ドアホン ^{※3}	現地手配
⑦	専用線(4芯)	JEM-Aアダプタ↔電気錠コントローラ	現地手配(JEM-Aアダプタに同梱)



No	配線種	接続機器	備考
⑧	専用線	電気錠コントローラ ↔ 玄関ドア(電気錠)	現地手配(電気錠関連部品に同梱)
⑨	LANケーブルまたは無線(Wi-Fi)	専用無線LANルータ ↔ JEM-Aアダプタ	現地手配※2
⑩	専用線(4芯)	JEM-Aアダプタ ↔ タイマー付壁スイッチ	現地手配(JEM-Aアダプタに同梱)
⑪	専用線(8芯)	タイマー付壁スイッチ ↔ シャッター本体	電動シャッターに同梱
⑫	無線(Wi-Fi)	専用無線LANルータ ↔ 変換アダプタ	—
⑬	無線(BLE)	変換アダプタ ↔ シャッター本体	—
⑭-1	LANケーブル	専用無線LANルータ ↔ IoTホームリンク対応シャッター用壁スイッチ	有線接続の場合 現地手配※2
⑭-2	無線(Wi-SUN)	ホームコントローラ ↔ IoTホームリンク対応シャッター用壁スイッチ	
⑮	専用線(8芯)	IoTホームリンク対応シャッター用壁スイッチ ↔ シャッター本体	電動シャッターに同梱
⑯	LANケーブル	専用無線LANルータ ↔ ホームコントローラ	ホームコントローラに同梱(0.5m)
⑰	無線(Wi-Fi)	専用無線LANルータ ↔ リンクコントローラ	—
⑱	無線(Zig-Bee)	リンクコントローラ ↔ ドア・窓センサ	—
⑲	無線(Zig-Bee)	リンクコントローラ ↔ 広域/狭域人感センサ	—
⑳	LANケーブル	専用無線LANルータ ↔ 温湿度センサハブ	温湿度センサハブに同梱(1.0m)
㉑	無線(COSS)	温湿度センサハブ ↔ 温湿度センサ	—
㉒	LANケーブルまたは無線(Wi-Fi)	専用無線LANルータ ↔ 屋内カメラ	現地手配※5
㉓	無線(Wi-Fi)	専用無線LANルータ ↔ スマートスピーカー	現地手配
㉔	無線(Wi-Fi)	専用無線LANルータ ↔ ドアホン※6	現地手配
㉕	専用線(4芯)	ドアホン※6 ↔ 電気錠コントローラ	現地手配(電気錠関連部品に同梱)
㉖	専用線	電気錠コントローラ ↔ 玄関ドア(電気錠)	現地手配(電気錠関連部品に同梱)

※1 水道・ガス計量センサへの接続は分電盤の仕様に従ってください。

※2 連携する機器に合わせて、接続方法を選定してください。通信の安定のため、LANケーブルでの接続を推奨します。

※3 JEM-Aアダプタと連携可能なドアホンは、パナソニック社製「どこでもドアホン」・「外でもドアホン」シリーズです。

※4 LANポートが不足する場合専用無線LANルータの接続確認済のハブより機器を選定し、接続例に従ってください。LifeAssist機器・ECHONET Lite機器はこれに接続してください。

※5 LANケーブルはPOE給電対応のストレートタイプケーブル/CAT5eUTP以上/AWG24以上/最長30m以下のものをお使いください。新築など隠ぺい配線の場合は、先行配線を行ってください。

※6 連携可能なドアホンは、アイホン(株)製「WP-24」シリーズです。

1.はじめに

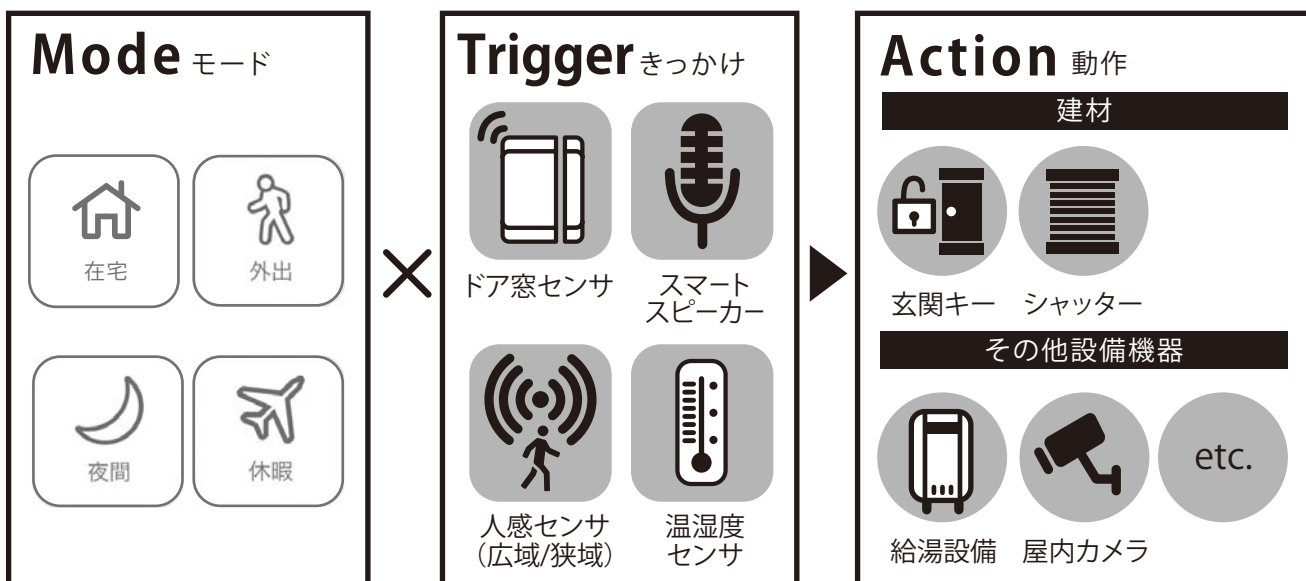
1-7.アシストルール

一人ひとりの生活スタイルに合わせて、おうちの中を自由にルール設定できます。





ルール機能とは

ルールを複数組み合わせ、1つのトリガから複数の機器を自動制御することができます。

さまざまな生活シーンに合わせて、ユーザー様に「モード」を設定していただけます。「モード」起動中のある条件のとき、きっかけとなる「トリガ」が発生すると、機器に「アクション」を起こさせるよう、設定ができます。例えば、ご家族の帰宅をお知りになりたい場合、生活シーンは「外出中」、トリガとなる「ドア窓センサ」、アクションを「カメラ」で撮影し、予め設定した送付先に「メール」を送信するような設定をすることができます。



例えばこんな使い方

-  在宅時に、部屋の温度が、指定温度を超えたら、自動で冷房を入れることができます。
-  外出時に、ドア窓センサが開くと、カメラでビデオを撮り、ユーザー様へメールを送信する等ができます。
-  夜にトイレに起きると、狭域人感センサが反応し、廊下やトイレの照明を自動で点ける事ができます。
-  ドアや窓が開いたら、ビデオを撮ってLINEに通知したり、自動で照明を点ける事で、長期的に家を留守にする際も、お家を見守る事ができます。

IFTTT(イフト)とは

専門知識なしで、さまざまなウェブサービスやアプリ、IoTデバイスなどの異なるプラットフォームを連携する便利なツールです。LifeAssistと他社の製品を連携させる場合に使用します。



LifeAssistと連携させたいサービス同士やIoTデバイスなどでアプレット(ルール)を作ります。

if
(もし)

this



スマートスピーカー

then
(ならば)



that



照明

例えばこんな使い方

声を掛けるだけで自動で操作が可能になります。

「ダイニングの照明を明るくして」

▶ 対象の照明が点灯します。

「リビングのエアコンを冷房でつけて」

▶ 対象のエアコンが運転開始します。



音声でおうちをコントロール

エアコンや照明、テレビなどの家電製品を音声でコントロール

本書「安全にお使いいただくために」、「使用上のご注意」をご確認ください。

⚠ 注意



スマートスピーカーなどからの機器操作『音声操作』をする場合、以下のことをお守りのうえ、ユーザー様ご自身のご判断で使用可否を判断し、ご自身の責任のもとで使用してください。第三者の音声操作によりユーザー様の意図しない機器が作動することにより、ケガや防犯性の低下などが起こる事があります。

- ・音声操作を行う機器は弊社ホームページに掲載の最新の「LifeAssist ホワイトリスト」より選定してください。
- ・音声操作のための言葉『指示語』を登録できる機能がある場合、必ずユーザー様ご自身で登録し、第三者に知られないようにしてください。
- ・『指示語』を登録できる機能がある場合、第三者に類推されにくい指示語を登録し、定期的に変更してください。

使用上のご注意

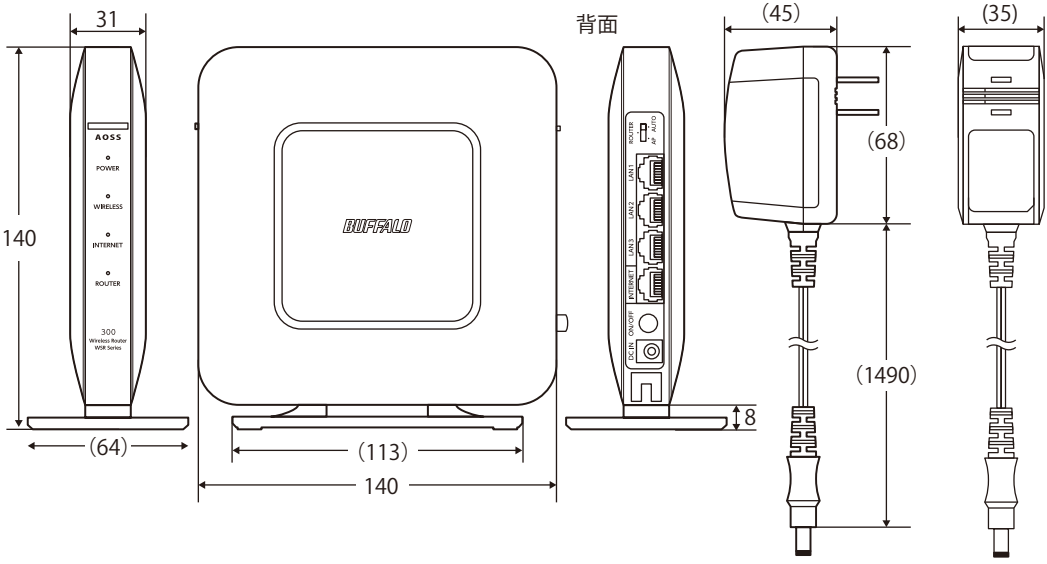
発話登録する指示語は、他人に推察され難いものを設定ください。他人の音声などによる宅外からの操作により、家電や建材の思わぬ動作や防犯性の低下を招くことがあります。

例1:『シャッターを開けて』⇒留守中にシャッターが開き、防犯性を低下させる可能性があります。

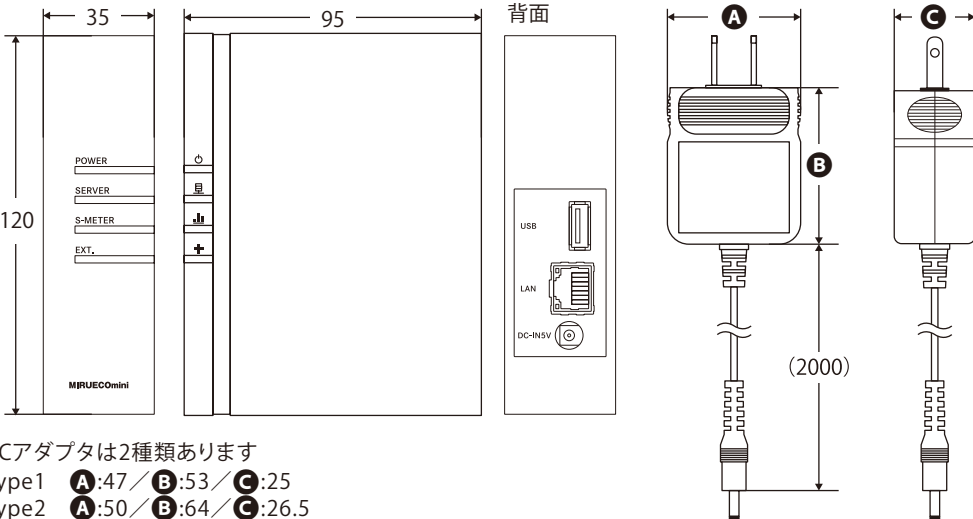
例2:『鍵を掛けて』⇒玄関の外に出ている際に締め出しの可能性があります。

2. 商品の名称と機能

2-1. 専用無線LANルータ

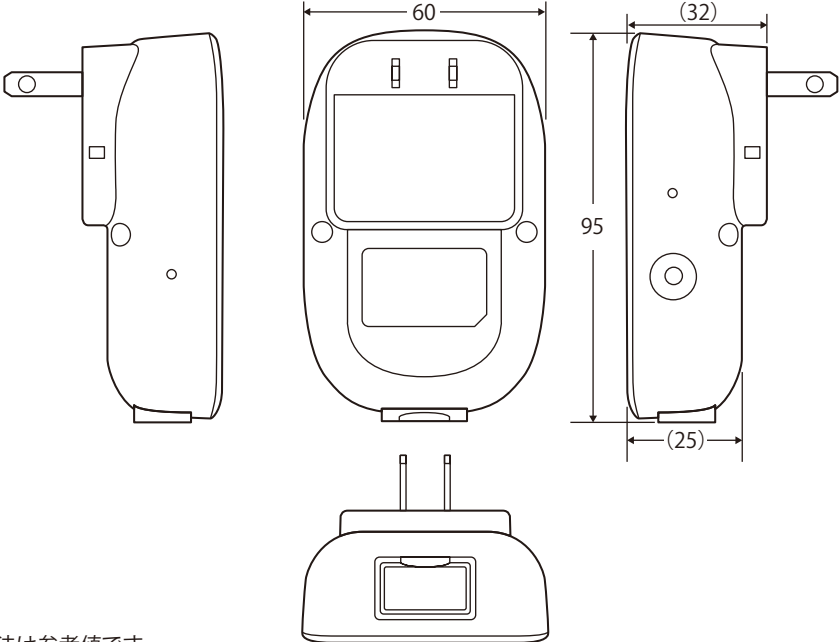
製品	製品名称	専用無線LANルータ	
	商品コード	Z-C001-NRAC	
	製品型番	WSR-300HP	
	機能説明	LifeAssist機器を、インターネット環境へ接続するための専用無線LANルータ。	
形状		 <p>※()の寸法は参考値です。</p>	
ハードウェア仕様	外部インターフェイス	●LAN (RJ-45) 3ポート ●INTERNET 1ポート ●DC IN DC 5V	※ホームコントローラ、温湿度センサハブ、屋内カメラ (or Wi-Fi)へ接続 ※WAN側(インターネット回線側) ※付属ACアダプタ接続
	無線インターフェイス	●Wi-Fi 2.4GHz	※IEEE802.11b/g/n 準拠 ※参考値: 見通し通信距離 50m
	スイッチ	●電源スイッチ ●AOSSスイッチ ●Resetスイッチ ●モードスイッチ	※本体の電源オン/オフを行う。 ※AOSS/WPS利用時に使用。 ※5秒以上押しで、全て初期化(ペアリング解除)されます。 通常使用しません。 ※動作モードを設定するスイッチ (LifeAssist使用時は、AUTOモードを推奨。)
	表示	●Power ランプ ●WIRELESSランプ ●INTERNETランプ ●ROUTERランプ	※電源状態表示 ※無線通信状態表示 ※インターネット接続状態表示 ※ルータ/ブリッジ モード状態表示
	外形	W31×H140×D140 mm	
	質量	232g	
	電源	DC12V 1A	※ACアダプタ供給(AC100V 50/60Hz)
	消費電力	最大5.8W	
	設置条件	屋内設置	※直射日光の当たらない場所
	動作温度範囲(℃)	0～40℃	
環境条件	動作湿度範囲(%)	10～85% RH	※結露なきこと
	付属品	ACアダプタ…1個 LANケーブル…1本 (0.5m) スタンド…1個 取扱説明書…1部	

2-2.ホームコントローラ

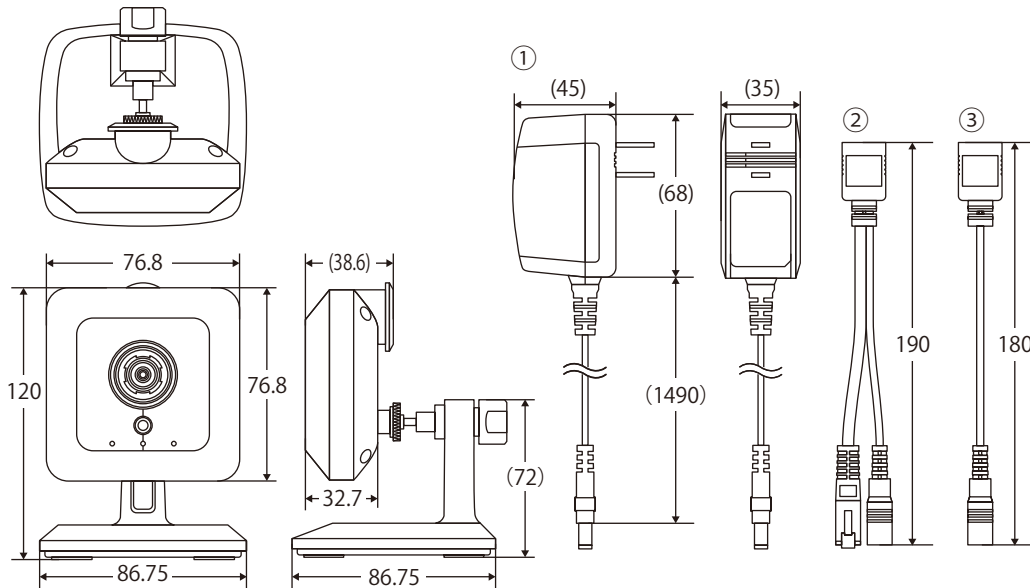
製品	製品名称	ホームコントローラMIRUECO mini	
	商品コード	Z-A001-NRAC	
	製品型番	MIRUECO mini	
	機能説明	エネルギーの見える化(電気、ガス、水道)、家電制御(ECHONET Lite対応機器)を行うコントローラ。	
形状		 <p>※ACアダプタは2種類あります Type1 A:47/B:53/C:25 Type2 A:50/B:64/C:26.5 ※()の寸法は参考値です。</p>	
ハードウェア仕様	外部インターフェイス	●LAN (RJ-45) 1ポート ※WAN側(専用無線LANルータ)へ接続 ●USB2.0 1ポート ※ローカル用USBメモリ差込(ローカル時のみ) ●DC IN DC 5V ※付属ACアダプタ接続 ●AIF認証	
	無線インターフェイス	●Wi-SUN 920MHz ※Wi-SUN HAN対応 ※参考値:見通し通信距離 100m	
	スイッチ	●Resetスイッチ ※起動時(電源ON時)に約1分程押し続ける事により「工場出荷状態戻る」となります。通常は押しても何も変化はありません。 ●ディップスイッチ ※ローカル/オンライン切替時に利用。通常使用しません。	
	表示	●Power ランプ ※電源状態表示 ●SERVERランプ ※ネットワーク通信状態表示 ●S-METERランプ ※スマートメーター通信状態表示 ●EXT.ランプ ※機能拡張用(未使用)	
	外形	W35×H120×D95mm	
	質量	250g	
	電源	DC5V 2.4A ※ACアダプタ供給(AC100V 50/60Hz)	
	消費電力	最大10W	
	設置条件	屋内設置 ※直射日光の当たらない場所	
	動作温度範囲(°C)	0～40°C	
環境条件	動作湿度範囲(%)	10～90% RH ※結露なきこと	
	保存温度範囲(°C)	-10～50°C	
	保存湿度範囲(%)	10～90% RH ※結露なきこと	
	AIF認証	スマート電力量メータークラス、家庭用エアコンクラス、電気温水器クラス、蓄電池クラス、燃料電池クラス、瞬間式給湯器クラス 取得	
付属品		ACアダプタ…1個 LANケーブル…1本(0.5m) 取扱説明書…1部	

2. 商品の名称と機能

2-3.リンクコントローラ

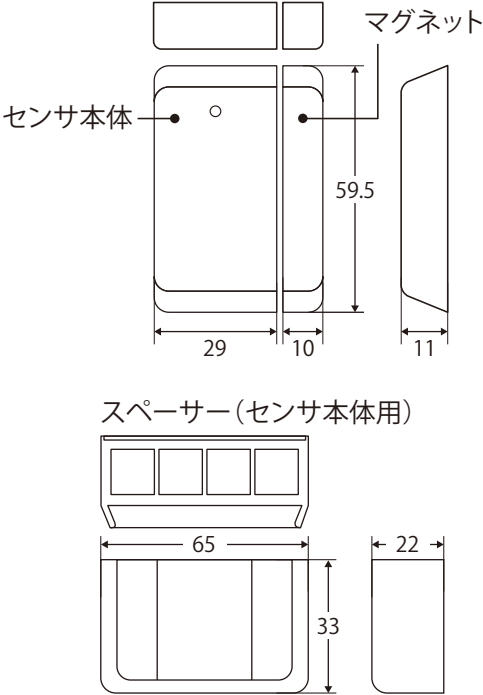
製品	製品名称	リンクコントローラ		
	商品コード	Z-D001-NRAC		
	製品型番	FCL5320A		
	機能説明	各種センサ、カメラによる検知、監視、スマートスピーカによる遠隔制御を行うコントローラ。		
形状		<div></div> <p>※()の寸法は参考値です。</p>		
ハードウェア仕様	外部インターフェイス	●USBポート 1ポート ※メンテナンス用		
	無線インターフェイス	●Wi-Fi 2.4GHz ※WAN側(専用無線LAN/ルータ)へ接続 ※参考値:見通し通信距離 50m ●ZigBee 2.4GHz ※各センサへ接続 ※参考値:見通し通信距離 30m		
	スイッチ	●Resetスイッチ ※長押しで全て初期化(ペアリング解除)されます。ご注意ください。通常使用しません。 ●WPSスイッチ ※メンテナンス用です。使用しないでください。		
	表示	●LED(3色)ランプ ※赤点灯:アクティベーション時…初期処理モード :セットアップ後…オフライン ※赤点滅:アクティベーション時…アクセスポイントモード :セットアップ後…ペアリング済みデバイスのエラーアラート ※橙点灯:タイムアウト⇒電源の抜き差し必要。 ※橙点滅:アクティベーション準備モード ※白点灯:オンラインモード ※白点滅:ファームウェア更新中⇒電源を抜かないこと。		
	外形	W60×H95×D48 mm		
	質量	96g		
	電源	AC100V 50/60Hz 0.1A		
	消費電力	最大10W		
	設置条件	屋内設置 ※直射日光の当たらない場所		
	動作温度範囲(℃)	0～40℃		
環境条件	動作湿度範囲(%)	5～85%RH ※結露なきこと		
	付属品	固定用アタッチメント…1個(使いません) 固定ねじ…1本(使いません) MACアドレスシール…1枚(保管してください) 取扱説明書…1部		

2-4.屋内カメラ

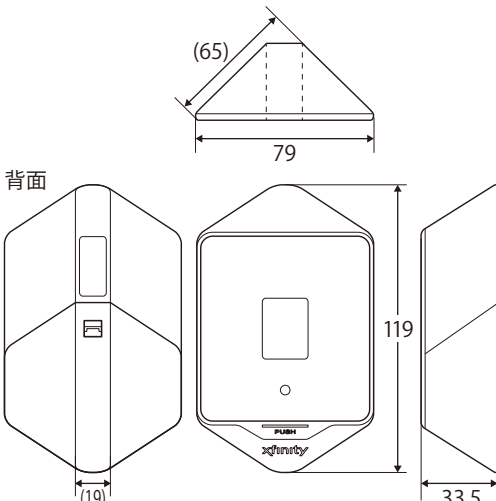
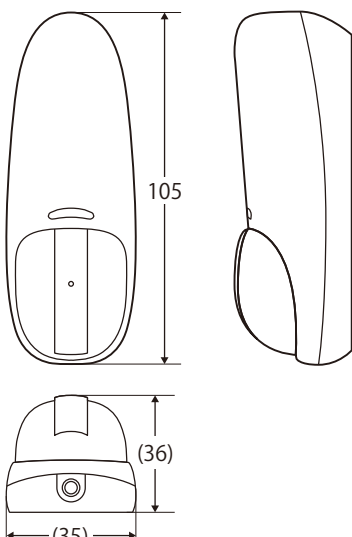
製品	製品名称	屋内カメラ		
	商品コード	Z-D201-NRAC		
	製品型番	iCamera2		
	機能説明	静止画撮影、動画撮影、赤外線による暗所撮影、モーション検知による撮影を行うネットワークカメラ。		
形状		<div></div> <p>※()の寸法は参考値です。</p>		
ハードウェア仕様	外部インターフェイス	●LAN (RJ-45) 1ポート		※POE給電に使用。(LANケーブル経由で電源を供給します) ※専用無線LANルータと有線接続または無線接続で通信することが可能。
	無線インターフェイス	●Wi-Fi 2.4GHz		※参考値:見通し通信距離 50m
	スイッチ	●WPS/リセットスイッチ		※短押:WPS利用時に使用。 ※長押し:全て初期化(ペアリング解除)されます。ご注意ください。通常使用しません。
	表示	●電源/WiFi ランプ(正面下部 右側)(電源ON後、5分間のみ) ●Networkランプ(正面下部 中心) ●WPS ランプ(正面下部 左側)		※緑点灯:電源オン ※緑点滅:WiFi電波強度確認中。 ※緑点灯:ネットワーク接続確立済み ※緑点滅:ネットワーク通信中。 ※緑点灯:WPS接続失敗時、5秒点灯 ※緑点滅:WPS接続処理中。
	外形	W76.8×H76.8×D32.7mm (スタンド除く)		
	質量	165g(スタンド含む)		
	電源	POE給電(DC12V/1A)		※ACアダプタ供給(AC100V 50/60Hz)
	消費電力	最大12W		
	視野角	110度		
	解像度	720P HD(1280×720)		
環境条件	設置条件	屋内設置		※直射日光の当たらない場所
	動作温度範囲(℃)	-20℃～45℃		
	動作湿度範囲(%)	10%～85% RH ※結露なきこと		
付属品		①ACアダプタ…1個 カメラスタンド…1個 保護キャップ…1個 ③電源変換ケーブル(黒)…1本 ②ペアリング用ケーブル(白)…1本 LANケーブル…1本(1.5m) 固定ねじ…3本 固定ねじ用アンカー…3本 取扱説明書…1部		

2. 商品の名称と機能

2-5. ドア窓センサ

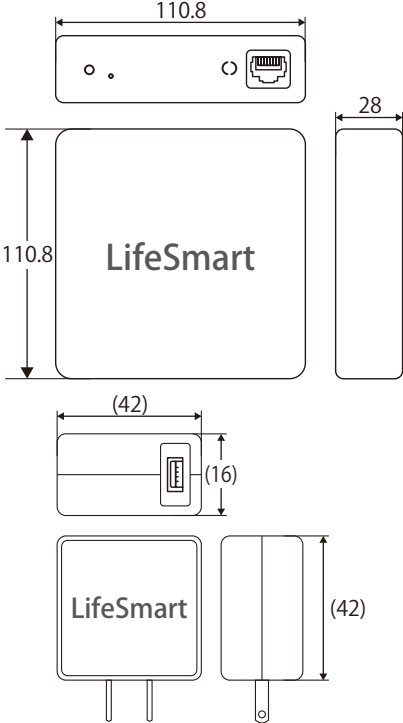
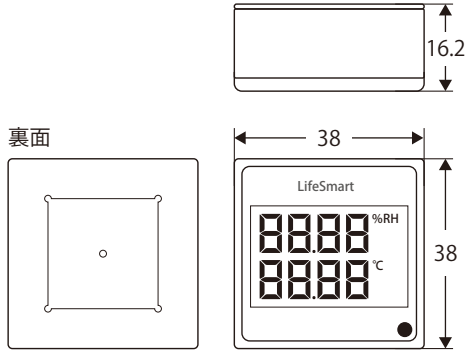
製品	製品名称	ドア窓センサ	
	商品コード	Z-D101-NRAC	
	製品型番	MCT-350 SMA	
	機能説明	ドア、窓などに取り付け、開閉状態の検知、通知を行うセンサ。	
形状			
ハードウェア仕様	無線インターフェイス	●ZigBee 2.4GHz	※リンクコントローラへ接続 ※参考値: 見通し通信距離 30m
	構成	●センサ本体 ●マグネット	※閉時のセンサ本体とマグネットの隙間は、正しい向きで15mm以内の設置にて使用。
	スイッチ	●ペアリング用スイッチ ※ペアリング準備モードにする場合に使用。	
	表示	●ペアリング用LED (緑) ※ペアリング準備モード時に点滅。	
	外形	●センサ本体: W29×H59.5×D11 mm ●マグネット: W10×H59.5×D11mm	
	質量	●センサ本体: 20g (電池含む) ●マグネット: 13g	
	電源	コイン型リチウム電池 ※付属の電池は動作確認用です。ご利用の際にはお早めに交換してください。 (CR2450)…1個	
環境条件	設置条件	屋内設置	※直射日光の当たらない場所
	動作温度範囲(℃)	-10～50℃	
	動作湿度範囲(%)	5～85% RH ※結露なきこと	
付属品		スペーサー(マグネット用)…1セット スペーサー(センサ本体用)…1個 両面テープ(マグネット用)…1枚 両面テープ(センサ本体用/スペーサー用)…1枚 リチウム電池(CR2450)…1個 取扱説明書…1部	

2-6. モーションセンサー

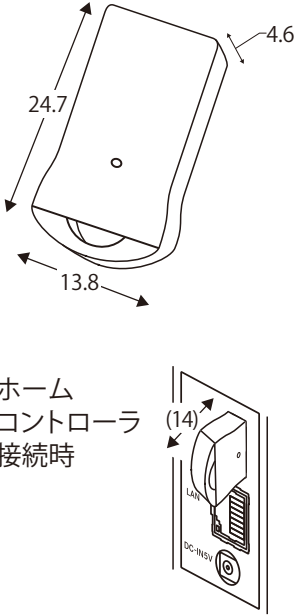
製品	製品名称	広域人感センサ	狭域人感センサ
	商品コード	Z-D121-NRAC	Z-D111-NRAC
	製品型番	MP-841	Clip SMA
	機能説明	人の動きを広域で検知、通知するセンサ。	人の動きを狭域で検知、通知するセンサ。
形状			
	※()の寸法は参考値です。		※()の寸法は参考値です。
ハードウェア仕様	無線インターフェイス	●ZigBee 2.4GHz ※リンクコントローラへ接続 ※参考値:見通し通信距離 30m	●ZigBee 2.4GHz ※リンクコントローラへ接続 ※参考値:見通し通信距離 30m
	スイッチ	●Resetスイッチ ※本体リセット時に使用。通常使用しません。	●Resetスイッチ ※本体リセット時に使用。通常使用しません。
	表示	●赤LED ※電源起動時に点滅。 ※通信異常時に3秒点灯。 ●緑LED(本体内部に実装) ※本体リセット時に点灯。	●ペアリング用LED(赤) ※ペアリング準備モード時に点滅。 ※モーション検知時に点灯。 ●RFモジュールLED(緑) ※本体リセット時に点滅。
	検知範囲	通常18本のビームを照射しており、そのうち2本を遮った場合に検知します。* ●検知距離:最大約15m(設置高2.1mの時) ●検知角度:水平方向約90度 ※小さなお子様や小動物(38kg以下)は検知しない場合があります。	通常2本のビームを照射しており、2本を遮った場合に検知します。 ●検知距離:最大約5m ●検知角度:水平方向約9.5度
	外形	W79×H119×D33.5mm	W35×H105×D35 mm
	質量	119g(電池含む)	60g(電池含む)
	電源	リチウム電池 ※付属の電池は動作確認用です。 (CR123A)…2個 ご利用の際にはお早めに交換してください。	リチウム電池 ※付属の電池は動作確認用です。 (CR123A)…1個 ご利用の際にはお早めに交換してください。
	消費電力	最大10W	最大10W
環境条件	設置条件	屋内設置 ※直射日光の当たらない場所	屋内設置 ※直射日光の当たらない場所
	動作温度範囲(℃)	-10～50℃	-10～50℃
動作湿度範囲(%)	5～85% RH ※結露なきこと	5～85% RH ※結露なきこと	
付属品	両面テープ…1枚 固定ねじ…2本 固定ねじ用アンカー…2本 リチウム電池 (CR123A)…2個 取扱説明書…1部		両面テープ…1枚 固定ねじ…2本 固定ねじ用アンカー…2本 横付け用ブラケット…1セット リチウム電池 (CR123A)…1個 取扱説明書…1部

2. 商品の名称と機能

2-7. 温湿度センサハブ/温湿度センサ

製品	製品名称	温湿度センサハブ	温湿度センサ
	商品コード	Z-D131-NRAC	Z-D141-NRAC
	製品型番	LS090WH	LS091WH
	機能説明	温湿度センサと管理サーバを中継するハブ。	温度、湿度、照度を計測、通知するセンサ。
形状		 <p>※ () の寸法は参考値です。</p>	
ハードウェア仕様	外部インターフェイス	●LAN (RJ-45) 1ポート ※WAN側(専用無線LAN/ルータ)へ接続 ●DC IN DC 5V ※付属ACアダプタ接続	
	無線インターフェイス	●COSS 922MHz ※温湿度センサへ接続 ※参考値: 見通し通信距離30m	●COSS 922MHz ※温湿度センサハブへ接続 ※参考値: 見通し通信距離30m
	スイッチ	●Resetスイッチ ※本体リセット時に使用。通常使用しません。	●ペアリングスイッチ ※ペアリング時に使用。
	表示	●電源LED (白) ※電源ON時に点灯。	●LCD ※温度表示 4桁 ※湿度表示 4桁
	外形	W110.8×H110.8×D28mm	W38×H38×D16.2mm
	質量	120g	25g
	電源	DC5V 1A ※ACアダプタ供給(AC100V 50/60Hz)	リチウム電池(CR2450)…1個 ※付属の電池は動作確認用です。ご利用の際にはお早めに交換してください。
	消費電力	最大2.5W	
環境条件	設置条件	屋内設置 ※直射日光の当たらない場所	屋内設置 ※直射日光の当たらない場所
	動作温度範囲(°C)	-20～40°C	-20～40°C
	動作湿度範囲(%)	5～95% RH ※結露なきこと	5～90% RH ※結露なきこと
付属品		ACアダプタ…1個 電源ケーブル…1本 (1.5m) LANケーブル…1本 (1.0m) 取扱説明書…1部	両面テープ…1枚 リチウム電池 (CR2450) …1個 取扱説明書…1部

2-8.ローカル用USBメモリ

製品	製品名称	ローカル用USBメモリ
	商品コード	Z-A101-NRAC
	機能説明	ホームコントローラをインターネット接続しない場合のみ使用。インターネットが未設置時の機器の動作確認用。
形状		 <p>ホーム コントローラ 接続時</p> <p>※()の寸法は参考値です。</p>
ハードウェア仕様	インターフェイス	USB2.0
	メモリ容量	4GB
	外形	W13.8×H24.7×D4.6 mm
	質量	2.6g
	電源	DC5V

2. 商品の名称と機能

2-9. システム機能

1. システムの最大接続台数

機器名	台数 [台]	
専用無線LANルータ	1	
ホームコントローラ	1	
リンクコントローラ	1	
屋内カメラ	6 ※1	
ドア窓センサ	(64)	合計 64
広域人感センサ	(64)	
狭域人感センサ	(64)	
温湿度センサハブ	(1)	
温湿度センサ	(16)	
ローカル用USBメモリ	1	
ECHONET Lite 機器	LAN(Wi-Fi 5台を含む):30台/Wi-SUN:16台 ※2	

※1：屋内カメラが複数台の場合は有線 LAN 接続にしてください。
※2：機器の台数は機器に搭載されている ECHONET Lite のインスタンス数を合計したものです。
例：（ハイブリッド蓄電＝3、水量＝1、ガス量＝1、コイズミ照明（株）製 メモリーライトコントローラ＝5）
接続台数が上限に達した場合、LifeAssist アプリのホームコントローラ機器の操作画面の最上部に「上限に達している」とアラートが表示されます。

2. 最長通信距離（参考値）

通信方法	通信距離 [m]※3
有線 LAN	100
Wi-Fi	50
Wi-SUN	100
ZigBee	30

※3：無線通信は障害物・障害となる電波がなく、見通しが可能な場合の参考距離です。

3. 各種情報の保存数、保存期間

保存情報	保存数	保存期間
ルール設定	－ ※4	－ ※4
カメラ画像（静止画）	500 枚 / 1 日	60 日間
カメラ画像（動画 - 1 5 秒間）	100 個 / 1 日	60 日間
センサ検知・異常	－ ※4	履歴 60 日間
温度 / 湿度 / 照度（温湿度センサ）	(15 分毎自動保存) 表示は 1 時間単位	30 日間
電力量	1 データ / 1 時間	10 年間
水道量	1 データ / 1 時間	10 年間
ガス量	1 データ / 1 時間	10 年間

※4：「－」で表示の項目は制限がありません。

4.データ計測

計測データ	計測単位	計測頻度	表示単位	計測数
電力量 (スマートメータ)	0.01kWh	30 分毎 ※6	kWh/1時間	2(買電/売電)
電力量 (スマート分電盤)	0.01kWh	5 分毎 ※6	kWh/1時間	max 60分岐
水道量	0.01m ³	5 分毎	m ³ /1時間	max 5
ガス量	0.01m ³	5 分毎	m ³ /1時間	max 5
温度データ (温湿度センサ)	1℃ ※5	15分毎	℃/1時間 (センサ液晶表示:0.01℃)	max 16
湿度データ (温湿度センサ)	1% ※5	15分毎	%/1時間 (センサ液晶表示:0.01%)	max 16
照度データ (温湿度センサ)	1lux ※5	15分毎	lux/1時間 (センサ液晶表示:無し)	max 16

※5: LifeAssistアプリでの表示単位。センサーの液晶表示での表示単位は、異なります。

※6: リアルタイムの瞬時値表示 (W) は10秒毎 (データ保存は無し) になります。

5.通信環境

通信環境	推奨速度
インターネット回線	下り 30Mbps、上り 3Mbps 以上

※カメラが複数の場合は有線 LAN 接続とし、1 台当たり上り回線速度 3Mbps 以上のネットワーク環境を推奨します。

6.アプリの対応OS

アプリの対応 OS	OS バージョン
Android	Ver. 5.0 以降
i OS	Ver. 10.0 以降

7.停電時のデータ取得

※ 停電前に各サーバに接続し、格納された計測値、情報は保持されます。

※ 停電中のデータ計測はできません。復電後に再び計測を開始します。

8.メール送信先の登録件数/LINEお友達登録件数

メール送信先の登録件数	最大30件 (2019年4月時点)
LINEお友達登録件数	最大30件 (2019年4月時点)

3. 本システムを利用するまでの流れ

3-1.本システム導入フロー

例：新築の工程（抜粋）



ビルダー様

LifeAssistのご提案

先行配線

LANケーブルなど

配線

コンセントなど

施工業者様

Ⅲ 初期動作確認

Ⅴ 機器設置

Ⅵ 絶縁シートの
挟み込み

ユーザー様

スタート

①ご購入商品の
決定

②機器設置位置
と先行配線
位置の決定

仕様・設備・コンセント
配置等

Ⅶ

インターネット
環境の用意

Ⅳ

ホームコントローラ
の初期設定

Ⅷ

クレジット
カード情報の
登録・申し込み

Ⅸ

アプリDL・接続

Ⅹ

アシスト
ルール設定

ご利用開始

- ① 利用目的に合わせて、商品を選択します。
- ② 住宅設計段階で、機器の設置位置・電源コンセント位置を決めます。各機器の有効検知範囲などを参考に決定してください。
※LifeAssistを住宅完成後に導入する場合は、機器設置位置にご留意ください。
- Ⅲ 電気工事完了後、システム機器の初期動作確認を行ないます。
 - 1.ホームコントローラシステムのみの接続
3-4 Ⅲ-1)
対象パック名:HEMS
 - 2.リンクコントローラ+ホームコントローラの接続
3-4 Ⅲ-2)
対象パック名:
 - ・おうち自動化パッケージ
 - ・おうちモニタリング
 - ・ご家族みまもり
 - ・親孝行みまもり
- Ⅳ ホームコントローラの初期設定
- Ⅴ **3-3 Ⅱ)**
以降を参考に機器設置します。
- Ⅵ 機器の動作確認後、絶縁シートを挟み込んだり電池を外して、電池の消耗をおさえます。
※一度電源が入るとシステム接続するまで電波を発します。ネットワークが切断されている場合、通常より早く電池を消耗することになります。
- Ⅶ ユーザー様にて、インターネット環境をご用意いただきます。
- Ⅷ リンクコントローラ側のシステム（おうち自動化パッケージ、おうちモニタリング、ご家族みまもり、親孝行みまもり）をご利用いただく場合、クレジットカード情報の登録・申し込みが必要です。
※詳しくは **3-9 Ⅷ)** をご参照ください。
- Ⅸ 本システムのアプリをダウンロードし、申し込み時の登録メールアドレスに送付されたユーザー様専用ID/PWにてログインします。システムの電源を入れて、順次接続していきます。
- Ⅹ 全機器の接続確認後、アプリ内でルールを作成し、機器の連携を設定します。

※上記はパッケージ商品（ペアリング済）をご購入の場合のフローチャートです。

※接続機器の追加・交換・削除（ペアリング）を行なう場合は、4-1、4-2をご参照ください。

3-2.①ご購入商品の決定

ご利用者様の生活パターン・使い方に合せ、機器の組合せをお選びください。
より選びやすいパッケージもご用意しています。

HEMS

スマート分電盤と接続する事で、エネルギーの見える化(電気、ガス、水道)、家電制御(ECHONET Lite対応機器)を行うコントローラです。

おうち自動化パッケージ

家電・建材・スマートメーターなどを遠隔で状態確認や操作することができます。
家電機器・建材機器は「2.4GHzのWi-Fi」または「有線LAN」で接続され、「ECHONET Lite」通信に対応している必要があります。当社HPに掲載のホワイトリストより動作確認済みの機器からご選定ください。

おうちモニタリング

「おうち自動化パッケージ」に加え、各種センサ、屋内カメラを遠隔で状態確認や操作することができます。

ご家族みまもり

屋内カメラ、温湿度センサを遠隔で状態確認することができます。

親孝行みまもり

ドア窓センサ、広域人感センサ、温湿度センサを遠隔で状態確認することができます。

各パッケージに含まれる機器

	専用無線 LANルータ	ホーム コントローラ	リンク コントローラ	屋内 カメラ	ドア窓 センサ	広域人感 センサ	狭域人感 センサ	温湿度 センサハブ	温湿度 センサ	USB メモリ
HEMS	1	1								
おうち自動化 パッケージ※1	1	1	1							
おうち モニタリング	1	1	1	1	2	1				
ご家族みまもり	1	1	1	1				1	2	
親孝行みまもり	1	1	1		2	1		1	1	

※1.お好みで各カメラ・センサを追加し、カスタマイズできます。

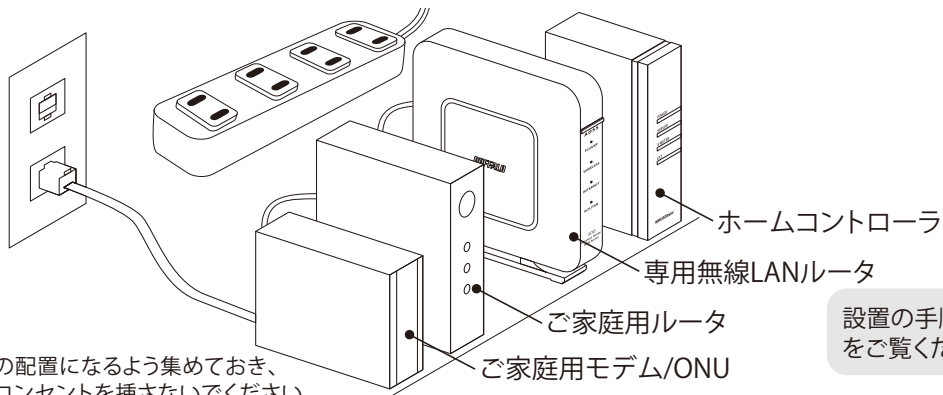
(台/個)

3. 本システムを利用するまでの流れ

3-3. ① 機器設置位置と先行配線位置の決定

- ・宅内でのホームコントローラ・専用無線LANルータの設置位置などを必要に応じて選定ください。
※ホームコントローラ・専用無線LANルータは隣接して設置します。
- ・スマート分電盤⇄ホームコントローラ間を直結するLANケーブルなどを必要に応じて先行（隠ぺい）配線してください。
※ハブを介した接続はできません。ハブを利用して接続する場合、3-6 ⑤-1)の接続例に従ってください。
※LANケーブルは100m以下になるよう配慮ください。
- ・インターネットに接続されるLANケーブルをホームコントローラ設置位置まで先行（隠ぺい）配線してください。
※ユーザー様ご用意のルータが、ホームコントローラと隣接して設置される場合は、同梱のLANケーブル(0.5m)をご使用いただけます。
- ・ホームコントローラ設置位置に出力口の間隔が37mm以上離れている2口以上のコンセントをご準備ください。
※ホームコントローラ・専用無線LANルータの電源はACアダプタでの電源供給となります。
※ユーザー様ご用意のルータ・ONUなどが隣接設置される場合は、それらの機器用のコンセントもご用意ください。

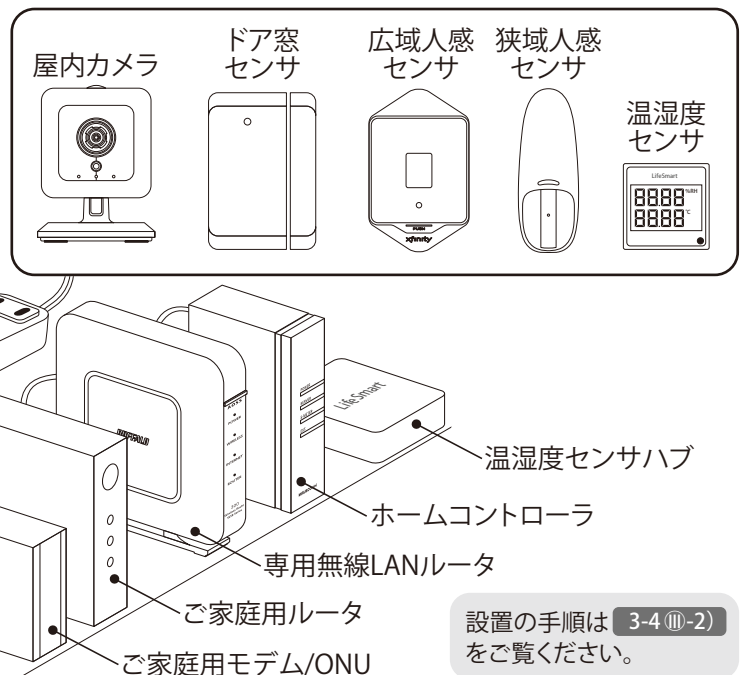
ホームコントローラ配置イメージ



※最終的に図の配置になるよう集めておき、最初は電源コンセントを挿さないでください。
※ご家庭用ルータとモデム/ONUの電源は別途必要になります。

リンクコントローラ配置イメージ

- ※特に右枠内の機器は設置する前に動作をご確認ください。
- ※最終的に図の配置になるよう集めておき、最初は電源コンセントを挿さないでください。
- ※ご家庭用ルータとモデム/ONUの電源は別途必要になります。



3-4.Ⅲ初期動作確認

1) ホームコントローラシステムのみの接続

インターネットが開通している場合・・・以下の①～④の手順をご覧ください。

インターネットの開通前に動作確認を行う場合・・・次ページの「インターネットの開通前に動作確認を行う場合」をご覧ください。

※スマート分電盤、スマートメーターなどへの接続は3-5Ⅳホームコントローラの初期設定をご覧ください。

インターネットが開通している場合

事前環境準備 作業を始める前にご用意ください。

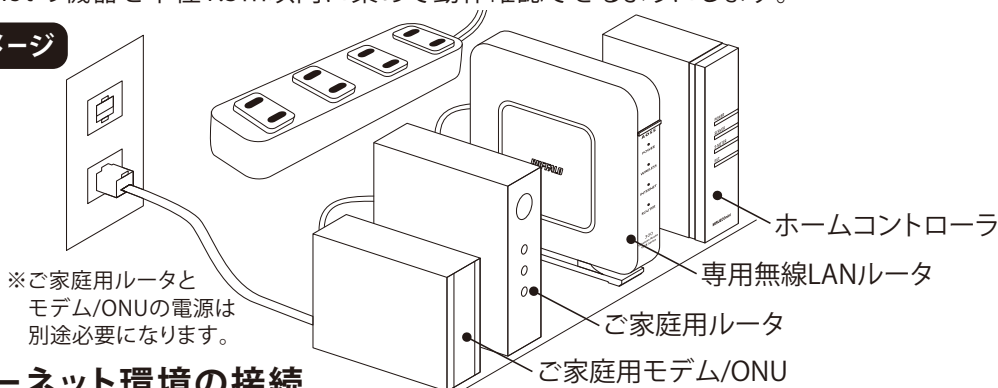
- ・スマートフォンやタブレット ・「LifeAssist」Web利用申込 お客様番号
- ・インターネット環境 ・電源タップ(出力口の間隔が37mm以上離れているものをご使用してください)

動作確認の手順

1 機器の準備

・LifeAssistの機器を半径1.5m以内に集めて動作確認できるようにします。

配置イメージ

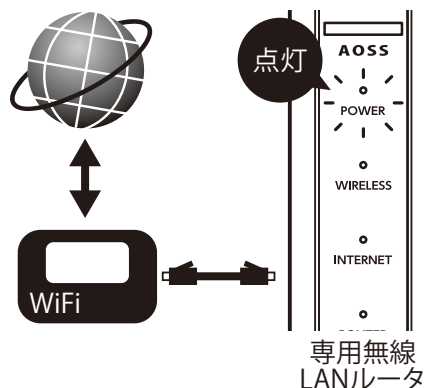


2 インターネット環境の接続

- ①専用無線LANルータ背面のモードスイッチがAUTOになっていることを確認します。
- ②インターネット環境が一時的に利用できないなどの場合は、右図のように、モバイルWi-Fiルータなどを接続して、インターネットに接続してください。
- ③専用無線LANルータのPowerランプ点灯後、全てのランプが緑点灯することをご確認ください。(約5分)

◆全てのランプが点灯しない場合は、以下をご確認ください。

- ・各機器の電源が入っていること。
- ・LANケーブルが正しく接続されていること。
- ・PC、スマホなどから専用無線LANルータとペアリングし、インターネットにアクセスできること。



3 ホームコントローラの接続

- ①LANケーブルで専用無線LANルータと接続してください。(P42参照)
※ホームコントローラをインターネット環境でご使用になる場合は、ローカル用USBメモリは差し込まないでください。

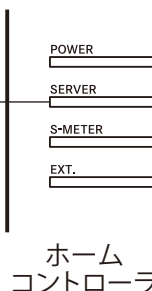
- ②ホームコントローラのPOWERランプが緑点灯後、SERVERランプが緑点灯することをご確認ください。(約5分)

◆POWER, SERVERランプが緑点灯しない場合は以下をご確認ください。

- ・ホームコントローラの電源が入っていること。
- ・LANケーブルが各機器間で、正しく接続されていること。
- ・専用無線LANルータとホームコントローラのLANケーブルが正しく接続されていること。

赤(点灯)
ルータ／モデムが
接続されていません。

緑(点灯)
インターネットが
接続されています。



3. 本システムを利用するまでの流れ

3-4. ③初期動作確認

④ ホームコントローラ ユーザー様向けサイト (LifeAssist) へのアクセス確認

※続けて初期設定を行う場合は3-5 ④ホームコントローラの初期設定をご覧ください。



- ① ホームコントローラ本体に同梱されております『「LifeAssist」Web利用申込 お客様番号』をお手元にご用意ください。
- ② QRコードリーダーからアクセスする場合。
『「LifeAssist」Web利用申込 お客様番号』に記載されているQRコードから「申し込みに必要な情報のご確認」ページへアクセスしてください。
- ③ QRコードリーダーからアクセスしない場合。
ブラウザを立ち上げ、QRコードの下に記載されているURLへアクセスしてください。
どちらの場合でも、左の画面が表示されます。
- ④ 以下を入力し、送信をタップしてください。
・ご利用になるメールアドレス ・HEMS識別コード ・確認コード



●左の画面が表示されることにより、ホームコントローラがサーバと接続できたことの確認となります。

●左の画面が確認できない場合は以下をご確認ください。

- ・専用無線LANルータに接続したPC、スマホ等からインターネットにアクセスできること。
- ・各機器の電源が入っていること。
- ・LANケーブルが正しく接続されていること。
- ・専用無線LANルータの全てのランプが緑点灯していること。
- ・ホームコントローラのPOWER, SERVER ランプが緑点灯していること。

※ホームコントローラの「SERVER」が緑色点滅している場合は、「ローカルモード」に設定されている場合があります。ホームコントローラに同梱のサービスマニュアル(ローカル運用版)に記載されている“動作モードの設定変更”をご参照の上、クラウドモードに切替えてください。

インターネットの開通前に動作確認を行う場合

※機器設置時の動作確認用です。スマート分電盤からの電力量計測、ECHONET Lite機器の一括制御や省エネレポートなど一部の機能がご使用いただけません。

事前環境準備

作業を始める前にご用意ください。

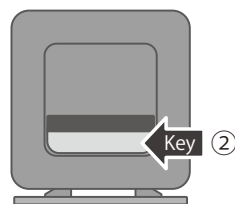
- ・ホームコントローラに同梱のローカルWebサーバ運用マニュアルに記載の、ローカルWebサーバ専用のユーザー名/パスワード
- ・ローカル用USBメモリ

① 機器の接続

- ① ホームコントローラにローカル用USBメモリを挿入します。
- ② 同梱の専用無線LANルータにACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに接続します。
- ③ 電源ボタンをONにします。
- ④ ホームコントローラにACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに接続します。
- ⑤ ホームコントローラと専用無線LANルータの「LAN」ポートを同梱のLANケーブルで接続します。
- ⑥ ホームコントローラ正面のLEDが(図1)ならばローカル運用の機器接続OKです。

2 専用無線LANルータとスマートフォンの接続

- ①スマートフォンの「設定」よりWi-Fi選択画面を開きます。
- ②Wi-Fi選択画面上で、専用無線LANルータ側面にある「SSID」を選択するとパスワード入力画面に遷移するので、専用無線LANルータ側面の「Key」を入力します。



③専用無線LANルータの設定

専用無線LANルータとスマートフォンの接続が完了すると、自動的に右記の画面が立ち上がります。インターネット回線がなくても専用無線LANルータを使用できるようにする設定を行います。

※この画面は表示されない場合がありますが、その場合は③「見える化画面へのログイン」へ進んでください。



「Internet側の確認を行う」をタップ

「password」をパスワード欄に入力

「INTERNETポートを設定しないで使用する」をタップ

上記画面が表示されたら「完了」をタップし画面を閉じる

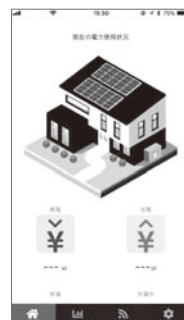
3 見える化画面へのログイン

- ①ローカル運用版見える化画面へのログイン
QRコードまたは<http://192.168.11.238/hems/index.html>より見える化画面へログインする。



- ②認証画面が表示された場合
ユーザー名:admin パスワード:mediotecMIRUECOminiを入力します。

- ③ホーム画面表示確認
右図のようなおうちの画像が表示されればログイン成功です。



4 ローカルモードからクラウドモードへの変更

※インターネットが開通してから以下を実施してください。

- ①右記QRコードまたは<http://192.168.11.238/hems/index.html>より設定画面へアクセスします。
- ②ログイン画面が表示された場合
ユーザー名:admin パスワード:mediotecMIRUECOminiを入力します。

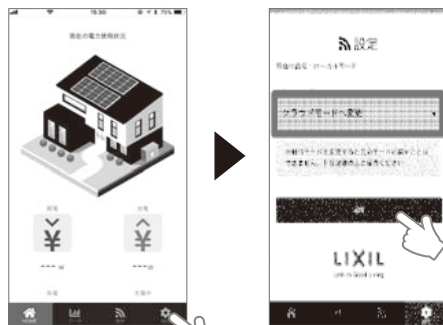


- ③画面右下の「設定」をタップし、ドロップダウンメニューから「クラウドモードへ変更」を選択し「送信」ボタンを押します。

※万一、送信に失敗した場合は再度③を繰り返してください。

- ④ホームコントローラからローカル用USBメモリを取り外します。

※取り外したUSBメモリは他のコントローラには流用できません。



「クラウドモードへ変更」を選択し「送信」ボタンを押す

「設定」をタップ

ホームコントローラの初期登録がお済でない場合、3-5⑩ホームコントローラの初期設定 をご覧のうえ、ご利用に必要な情報のご登録をお願いします。

3. 本システムを利用するまでの流れ

3-4. ③初期動作確認

2) リンクコントローラ+ホームコントローラシステムの接続

事前環境準備 作業を始める前にご用意ください。

- ・LifeAssistアプリを利用する為のスマートフォンorタブレット
- ・LifeAssistアプリ ・施工業者様用の封筒(仮ユーザーID/PW) ・インターネット環境
- ・電源タップ(出力口の間隔が37mm以上離れているもの)
- ・プラスドライバー(# 1 でにぎり細かいもの)
- ・マイナスドライバー(狭域人感センサ用) ・ドリル刃(φ4、φ7)

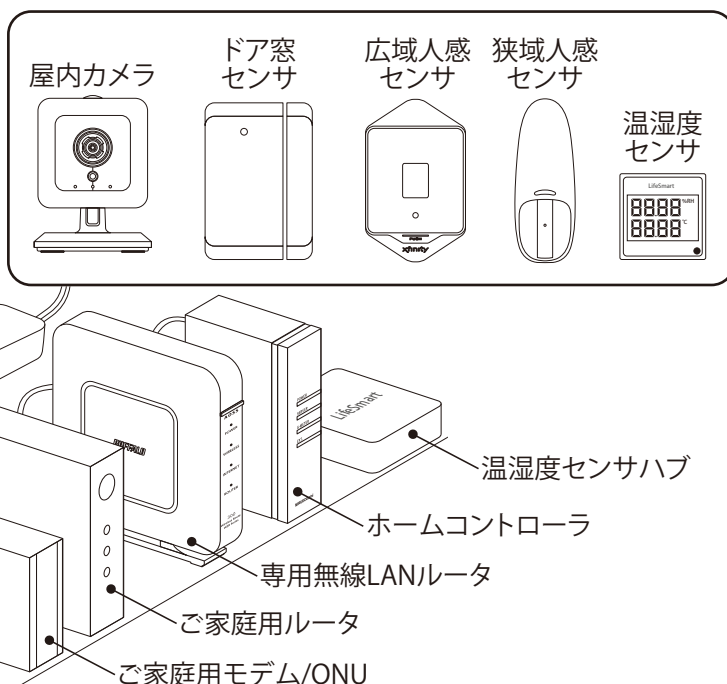
動作確認の手順

1 機器の準備と配線

- ・LifeAssistの機器を半径1.5m以内に集めて動作確認できるようにします。
- ※「3-3. ①機器設置位置と先行配線位置の決定」を参考に配置/接続を行ってください。

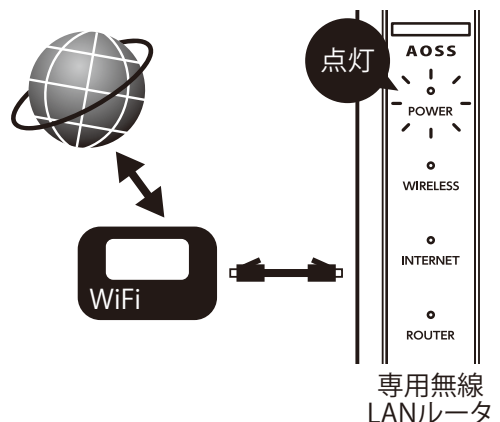
配置イメージ

- ※特に右枠内の機器は、固定前に動作確認することで手戻りを防ぐことができます。
- ※最終的に図の配置になるよう集めておき、最初は電源コンセントを挿さないでください。
- ※ご家庭用ルータとモデム/ONUの電源は別途必要になります。



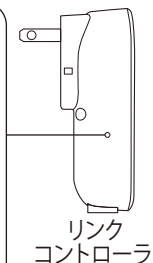
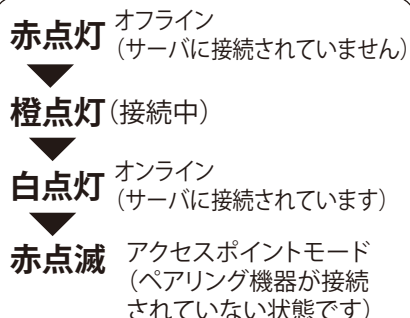
2 インターネット環境の接続

- ①専用無線LANルータ背面のモードスイッチをAUTOに切替してください。
 - ②電源ボタンをONにします。(POWERランプが点灯)
 - ③インターネット環境が未開通の場合は、右図のように、モバイルWi-Fiルータなどを接続して、インターネットに接続してください。
 - ④専用無線LANルータのPowerランプ点灯後、5分程度で、全てのランプが緑点灯することをご確認ください。
- ◆全てのランプが点灯しない場合は以下をご確認ください。
- ・各機器の電源が入っていること。
 - ・LANケーブルが正しく接続されていること。
 - ・PC、スマホなどから専用無線LANルータとペアリングし、インターネットにアクセスできること。



3 リンクコントローラの接続

- ①リンクコントローラを電源コンセントに挿してください。
 - ②LEDランプが赤点灯後、橙点滅を経て、白点灯になることをご確認ください。(約5分)
 - ③更に赤点滅になることをご確認ください後、次の手順に進んでください。
- ◆白点灯に変わらない場合は以下をご確認ください。
- ・リンクコントローラと専用無線LANルータの距離が、1.5m以内であること。



4 アプリケーションの準備

iOS端末の方はApp Storeから、Android端末の方はGoogle Playストアから【LifeAssist】と検索し、LifeAssistアプリをダウンロード、または、施工業者様・ユーザー様用の封筒に同梱のQRコードよりダウンロードしてください。



■ LifeAssistアプリ 対応端末

- ・iOS10.0以降
- ・Android™ 5.0以降

アプリ名：ライフアシスト/LifeAssist
提供者：LIXIL



※端末によりアプリケーションが動作しない場合があります。
※初期動作確認を行う場合は、必ず1台の端末から、操作してください。(複数の端末から同時に操作すると、正常に操作できない場合があります。)

5 LifeAssistアプリへのログイン

- ①LifeAssist 機器に同梱されている施工業者様用封筒の中にある、仮ユーザー名と仮パスワードの書類をご用意ください。
- ②ログイン画面のユーザー名・パスワードの欄にそれぞれ仮ユーザー名と仮パスワードを入力し、① ログイン ボタンを押してログインします。
※パスワードは通常非表示ですが、② 目隠し ボタンをタップすると表示確認に切り替わります。
- ③自動でホーム画面へ移動します。

「Life Assist」サービス施工時確認用
仮「ユーザー名」 仮「パスワード」

この度はLife Assist製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。
サービスをご確認いただくには、下記の仮ユーザー名、仮パスワードから
「LifeAssist」サービスにアクセスしていただき、ご確認をお願いします。

仮ユーザー名	(例) py8x7m6
仮パスワード	(例) GW3f2qp

ログインに失敗した場合

ログインに連続5回失敗すると、なりすまし防止の為30分間ブロックされますので、ご注意ください。ブロックされている間は、正しいユーザー名とパスワードで再度ログインを試みても、ログインできません。

30分間以上時間を置いてから、再度ログインしてください。



3. 本システムを利用するまでの流れ

3-4. ③初期動作確認

6 各機器の初期動作確認

ご使用される機器に応じて以下の確認を行ってください。

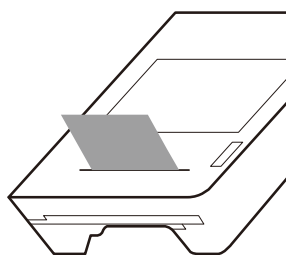
屋内カメラの動作確認

- ①ACアダプタをコンセントに挿してください。(3-6⑤-4)参照)
- ②屋内カメラの映像が表示されているかご確認ください。
※インターネット環境の回線速度が遅い場合は、映像表示に時間がかかります。
※屋内カメラを利用しない場合は表示されません。

- ◆数分待っても映像の読み込みができない場合は以下をご確認ください。
- ・Wi-Fiルーターとの距離が1.5m以内であること。または有線であること。
 - ・インターネット回線の通信が正常であること。



ドア窓センサの動作確認



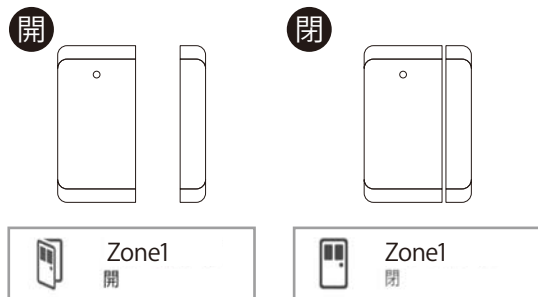
- ①絶縁シートを引き抜いてください。

※動作確認後には再度使いますので捨てないでください。



- ②「ホーム画面「センサー」をタップします。

- ③ドア窓センサを用意して、以下の動作とアプリ画面の表示を確認してください。



センサ本体とマグネットが離れている場合の表示です。

センサ本体とマグネットの距離が近い場合の表示です。

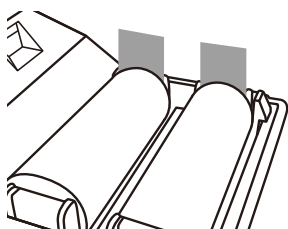


初期設定時は、各センサ名称は「Zone1」「Zone2」などとなっております。名称を設置場所に合わせて変更することで、取付位置などがわかりやすくなります。

- ◆ドア窓センサの開閉が検知されない場合は以下をご確認ください。
- ・ドア窓センサに電池が入っていること。
 - ・絶縁シートが引き抜かれていること。
 - ・リンクコントローラとの距離が1.5m以内であること。
 - ・インターネット回線の通信が正常であること。
 - ・電池残量があること。(無い場合は新しいものに交換してください。)

広域人感センサの動作確認

- ① カバーを外してください。
(3-6 ㉖-6) 参照)



- ② 絶縁シートを引き抜いてください。
※動作確認後には再度使いますので捨てないでください。

- ③ カバーを戻してください。
※カバーを戻さないと、動作確認ができません。



- ④ ホーム画面「センサー」をタップします。

- ⑤ 赤点滅が終了したことを確認してから(約5分)以下の動作とアプリ画面の表示をご確認ください。

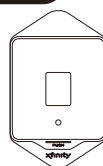
検知



モーションセンサ
動作検知

センサが人を検知している場合の表示です。
※手などをかざして、検知させてください。

未検知



モーションセンサ
未検知

センサが人を検知していない場合の表示です。



初期設定時は、各センサ名称は「モーションセンサ1」「モーションセンサ2」などとなっております。名称を設置場所に合わせて変更することで、取付位置などがわかりやすくなります。

電池を入れ、カバー取り付け後の動作

※電池を入れ、カバー取り付け後は一定時間テストモードとなります

検知・通知を行わない

検知される度に通知



以降の動作はP53を参照してください。

- ・検知: センサが、人(動物)を検知した状態です。検知のみで、サーバへの通知は行いません。
- ・通知: センサーが人(動物)を検知し、上記通知可能な条件を満たした場合に、サーバへ検知したことを通知します

電池を入れ、カバー取り付け後、約2分間は、LEDが点滅し、その間、検知、通知は行いません。その後、約13分間テストモードに入ります。テストモードでは、検知される度にLEDが点滅し通知を行いますので、この間に、検知範囲の確認を行うことができます。なお、頻繁に通知が行われますので、ご注意ください。

◆広域人感センサの検知がされない場合は以下をご確認ください。

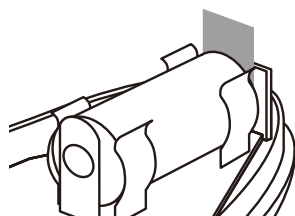
- ・検知通知は、前回検知通知後2分以上経過していること。
- ・広域人感センサに電池が入っていること。
- ・絶縁シートが引き抜かれていること。
- ・リンクコントローラとの距離が1.5m以内であること。(詳細は、3-6 ㉖-6)の「通知について」を参照してください。)
- ・インターネット回線の通信が正常であること。
- ・電池残量があること。(無い場合は新しいものに交換してください。)

3. 本システムを利用するまでの流れ

3-4. ③初期動作確認

狭域人感センサの動作確認

- ①カバーを外してください。
(3-6 ㉖-7) 参照)



- ②絶縁シートを引き抜いてください。
※動作確認後には再度使いますので捨てないでください。

- ③カバーを戻してください。
※カバーを戻さないと、動作確認ができません。



- ④ホーム画面「センサー」をタップします。

- ⑤赤点滅が終了したことを確認してから(約5分)以下の動作とアプリ画面の表示をご確認ください。

検知



モーションセンサ
動作検知

センサが人を検知している場合の表示です。
※手などをかざして、検知させてください。

未検知



モーションセンサ
未検知

センサが人を検知していない場合の表示です。



初期設定時は、各センサー名称は「モーションセンサ1」「モーションセンサ2」などとなっております。名称を設置場所に合わせて変更することで、取付位置などがわかりやすくなります。

電池を入れ、カバー取り付け後の動作

※電池を入れ、カバー取り付け後は一定時間テストモードとなります

検知・通知を行わない

検知される度に通知



以降の動作は 3-6 ㉖-7) を参照してください。

- ・検知: センサが、人(動物)を検知した状態です。検知のみで、サーバへの通知は行いません。
- ・通知: センサーが人(動物)を検知し、上記通知可能な条件を満たした場合に、サーバへ検知したことを通知します

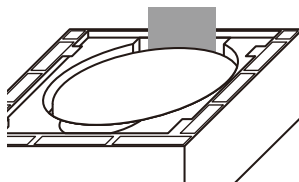
電池を入れ、カバー取り付け後、約2分間は、LEDが点滅し、その間、検知、通知は行いません。その後、約13分間テストモードに入ります。テストモードでは、検知される度にLEDが点滅し通知を行いますので、この間に、検知範囲の確認を行うことができます。なお、頻繁に通知が行われますので、ご注意ください。

◆狭域人感センサの検知がされない場合は以下をご確認ください。

- ・狭域人感センサに電池が入っていること。・絶縁シートが引き抜かれていること。・リンクコントローラとの距離が1.5m以内であること。・検知通知は、前回検知通知後2分以上の間隔が必要です。(詳細は、3-6 ㉖-7)の「通知について」を参照してください。)
- ・インターネット回線の通信が正常であること。・電池残量があること。(無い場合は新しいものに交換してください。)

温湿度センサの動作確認

- ①「温湿度センサハブ」と「専用無線LANルータ」にLANケーブルを接続してください。(3-6 ⑤-8) 参照)
- ②「温湿度センサハブ」のACアダプタをコンセントに挿してください。
- ③白ランプ点滅後、白点灯することを確認します。(約5分)



- ④温湿度センサのカバーを外してください。(3-6 ⑤-8))
- ⑤「絶縁シートを引き抜いてください」※動作確認後には再度使いますので捨てないでください。
- ⑥カバーを戻してください。



- ⑦ホーム画面の「Life Smart」をタップします。



- ⑧例:「環境センサー-0044」をタップしてください。



- ⑨温湿度センサとアプリの温度と湿度が合っていることをご確認ください。



初期設定時は、各センサ名称は「環境センサー-0044」「環境センサー-008D」などとなっております。名称を設置場所に合わせて変更することで、取付位置などがわかりやすくなります。

◆温湿度センサの検知がされない場合は以下をご確認ください。

- ・温湿度センサに電池が入っていること。
- ・絶縁シートが引き抜かれていること。
- ・リンクコントローラとの距離が1.5m以内であること。
- ・インターネット回線の通信が正常であること。
- ・電池残量があること。(無い場合は新しいものに交換してください。)

7 ホームコントローラの動作確認

- ①ACアダプタをコンセントへ接続。
- ②LANケーブルで専用無線LANルータと接続してください。(3-6 ⑤-2) 参照)
- ③右図のように推移して、最終的にホームコントローラのPOWERランプが緑点灯後、SEVERランプが緑点灯することをご確認ください。(約5分)

◆POWER,SERVERランプが緑点灯しない場合は以下をご確認ください。

- ・ホームコントローラの電源が入っていること。
- ・LANケーブルが各機器間で、正しく接続されていること。
- ・専用無線LANルータとホームコントローラのLANケーブルが正しく接続されていること。

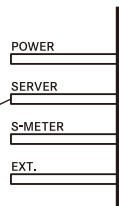
- ④アプリでホーム画面を確認します。

赤(点灯) ルータ/モデムが接続されていません。

赤(点滅) NTP同期中。

緑(点滅) 接続中。

緑(点灯) インターネットが接続されています。



ホームコントローラ



ホーム画面の「ホームコントローラ」をタップしてください。



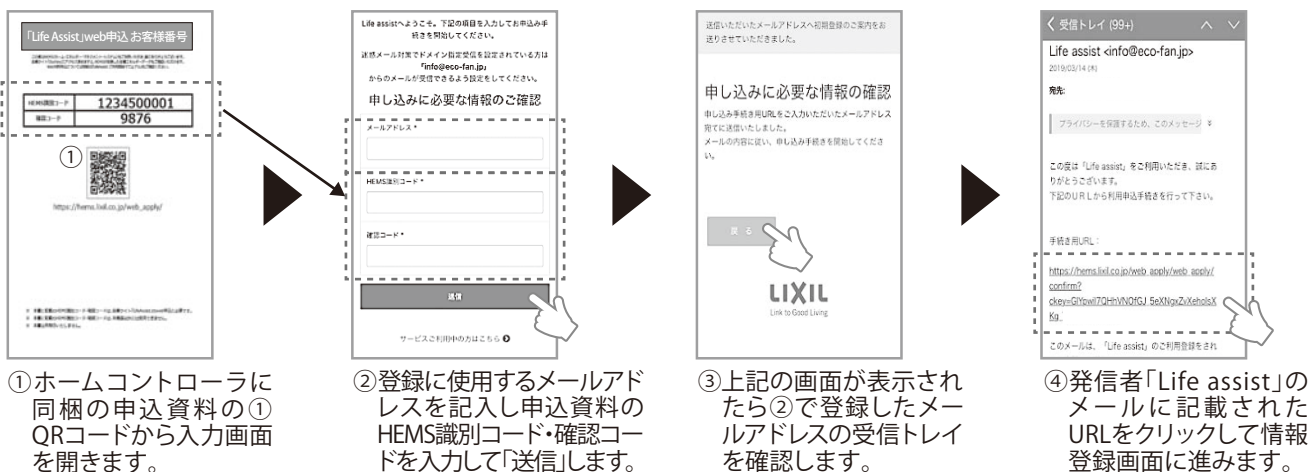
ホームコントローラのホーム画面が表示されたら完了です。

3. 本システムを利用するまでの流れ

3-5.④ホームコントローラの初期設定

1 ユーザー様サイトへの利用申込

※リンクコントローラをご使用の場合、Life Assistアプリのホーム画面の「ホームコントローラ」メニューから手順④表示設定に進むことができます。



スマートフォンのトップ画面に専用アイコンを作成しておく便利です。手順②ログインID・パスワードを記憶させる場合は手順③を参考にしてください。

2 Life Assist専用アイコンの作成

スマートフォンのトップ画面に専用アイコンを作成しない場合この手順は不要です。

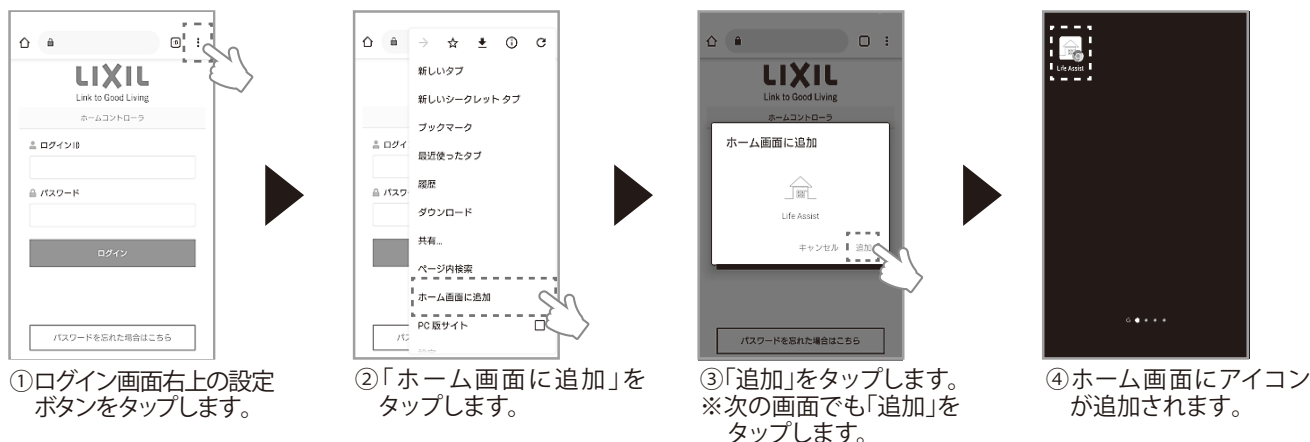
【iPhone(ブラウザが「Safari」)をお使いの場合】



ログイン画面



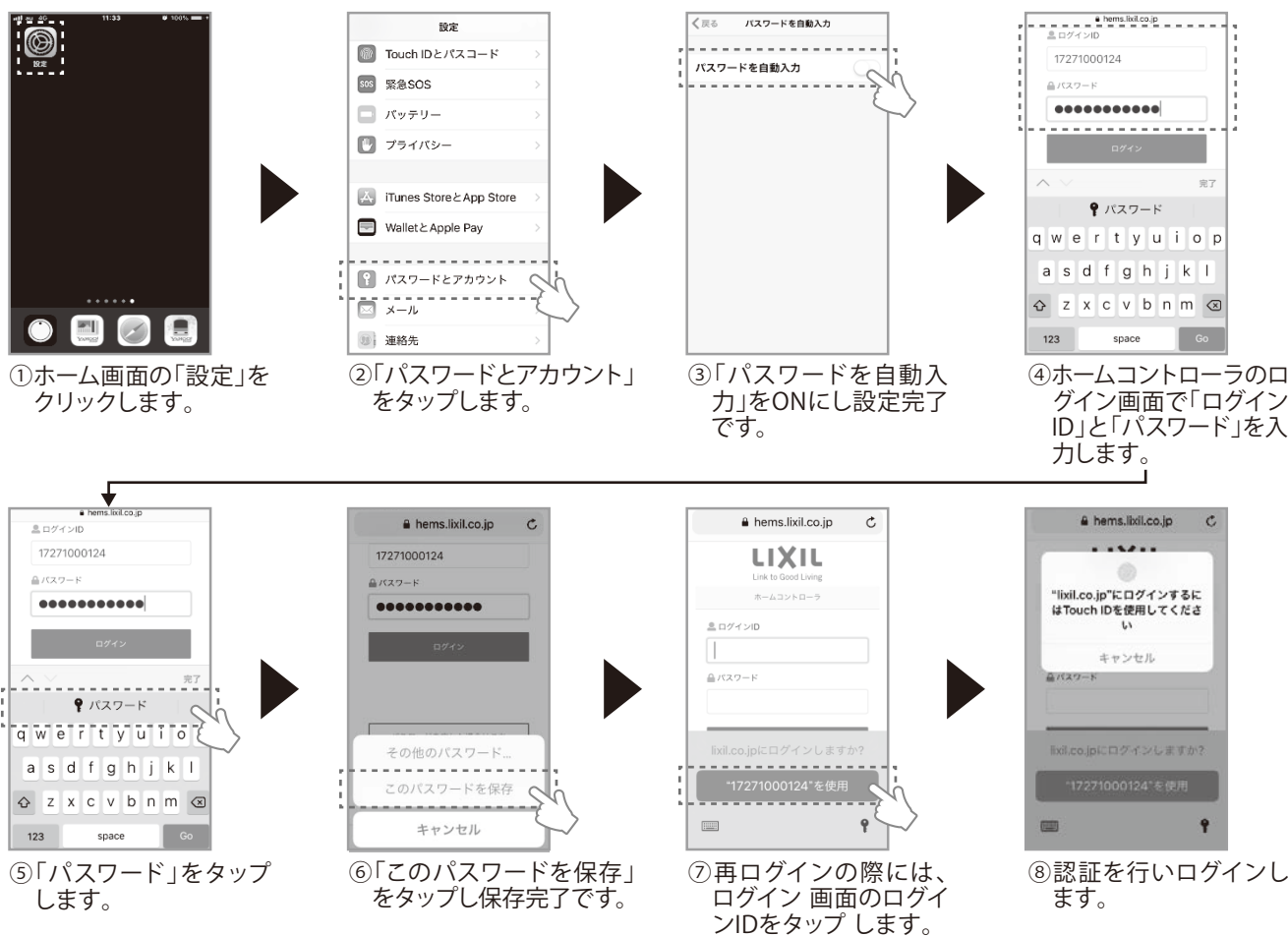
【Android(ブラウザが「Chrome」)をお使いの場合】



3 ログインID・パスワードをブラウザに記憶させる

ログインID・パスワードを記憶させない場合この手順は不要です。

【iPhone(ブラウザが「Safari」)の場合】 ※Android端末の場合は各機種の設定方法をご確認ください。



設定方法は、ご使用のブラウザ、バージョンなどにより異なります。ご利用のブラウザの手順をご確認ください。

3. 本システムを利用するまでの流れ

3-5.④ホームコントローラの初期設定

4 表示設定

アプリ内で表示される売買電力量、太陽光発電量、分岐回路の消費電力量などの初期設定を行います。

1) ホーム画面に表示する売買電力量の表示設定

スマート分電盤またはスマートメーターから選択できますのでご自宅に設置されている機器からお選びください。

※スマート分電盤をご選択の場合は、分電盤設置業者様による分電盤の初期設定が必要です。

※スマートメーターをご選択の場合は、この表示設定後、「スマートメーターへの接続」を行ってください。

① ホーム画面右下の「その他」をタップします。

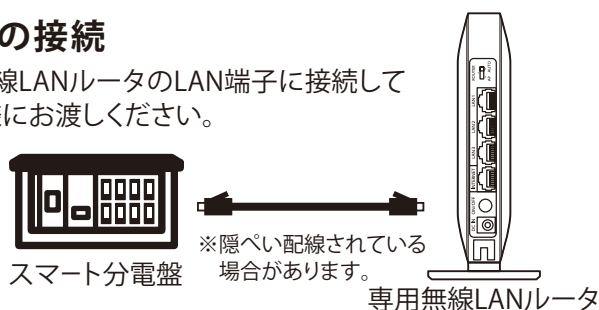
② 「設定」をタップします。

③ 「収集するデータの由来の設定」をタップします。

④ 「スマートメーター由来」または「分電盤由来」を選択し「保存」をタップします。

2) スマート分電盤と専用無線LANルータの接続

スマート分電盤に接続されているLANケーブルを専用無線LANルータのLAN端子に接続してください。スマート分電盤の分岐回路の情報をユーザー様にお渡しください。



3) スマート分電盤での計測機器設定

※太陽光発電、エネファーム、蓄電池等の計測にも設定が必要です。

① 設定メニューから「ECHONET Lite 分電盤連携設定」をタップします。

② 「利用する(ReleaseF)」を選択します。

③ 分電盤が複数設置されている場合、使用する分電盤を選択します。

④ 分岐ブレーカの数 は自動で設定されます。

⑤ 分電盤のタイプを「EcoEye/スマートコスモ/その他」から機器に合せて選択します。

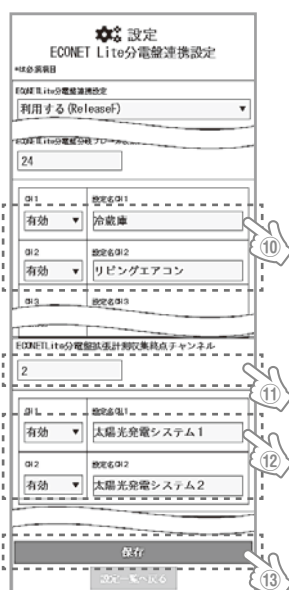
⑥ 「分岐ブレーカを収集する」を選択します。

⑦ 太陽光発電、エネファーム、蓄電池などの機器がある場合「拡張計測を収集する」を選択します。

⑧ 「保存」をタップします。



⑨再度、設定メニューの「ECHONET Lite 分電盤連携設定」をタップします。



⑩電力量の計測を行うチャンネル(CH)は「有効」をタップし、分りやすい名称を入力します。
※太陽光発電、エネファーム等は⑪・⑫の拡張計測での設定を行ってください。

⑪拡張計測機器(太陽光発電やエネファーム、蓄電池等)の台数を設定します。
※分電盤の接続・設定が正しく行われていれば、自動で機器台数分の数値が表示されています。

⑫発電量・消費量の計測を行うチャンネル(CH)は「有効」をタップし、分りやすい名称を入力します。
※左の例は太陽光発電機器が2台の事例です。

⑬「保存」をタップします。

4) 太陽光発電量の表示設定

2つの太陽光発電システムが接続されている場合の例



①ホーム画面右下の「その他」→「設定」メニューの「ECHONET Lite 住宅用太陽光発電連携」をタップします。



②ドロップダウンメニューから「利用する」を選択する。

③電力会社様と契約された売電単価を入力します。

④システム1に分りやすい名称を入力し、「収集する」を選択します。

⑤システム2に分りやすい名称を入力し、「収集する」を選択します。

⑥「保存」をタップします。

3. 本システムを利用するまでの流れ

3-5.④ホームコントローラの初期設定

5) スマートメーターとの接続

ユーザー様ご自身でご契約の電力会社様に、スマートメーターの利用申請をしていただき、認証ID/パスワードをご準備ください。
ユーザー様ご自身もしくはユーザー様立会いの下でホームコントローラのページへログイン後、以下の操作を行なってください。



- ①ホーム画面から①「その他」②「設定」をタップしてください。
- ②「スマートメーター利用・Bルート設定」をタップしてください。
- ③設定後、「保存」をタップして完了です。

◆スマートメーターへの接続ができない場合は、スマートメーター利用・Bルート設定で設定した内容(Bルート認証ID、パスワード等)をご確認ください。

6) ECHONET Lite機器との接続

- ①ECHONET Lite機器の取扱説明書を基に設置・接続してください。
- ②ECHONET Lite機器と専用無線LANルータを有線LANケーブル、もしくは、無線LANで、接続・ペアリングしてください。
- ③ECHONET Lite機器が専用無線LANルータに接続されると、ホームコントローラに自動的にECHONET Lite機器が登録されます。※機器により、アプリに反映されるまでに数分～数時間かかる場合があります。



- ④ホーム画面から「操作」をタップします。
- ⑤「動作状態の確認と操作」の下部にECHONET Lite機器が登録されます。

◆左記の図でECHONET Lite機器が確認されない場合は以下をご確認ください。

- ・ECHONET Lite機器の電源が入っていること。
- ・ECHONET Lite機器と無線LANルータが、接続されていること。
- ・LANケーブルが正しく接続されていること。
- ・専用無線LANルータの全てのランプが緑点灯していること。
- ・ホームコントローラのPOWER、SERVERランプが緑点灯していること。

3-6.⑤機器の設置・接続

1) 専用無線LANルータ

⚠ 警告



異臭や異音がした場合は使用をやめてください。発煙、火災のおそれがあります。

⚠ 注意



振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれのあるところに設置しないでください。落下によりケガをするおそれがあります。

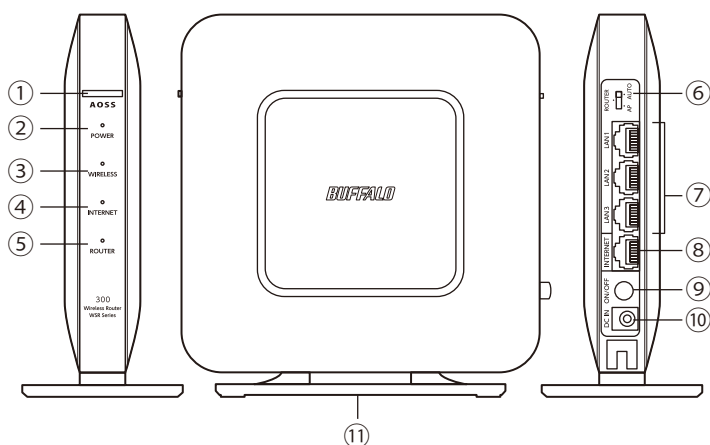


乳幼児の手の届く場所やペットが近づける場所、不安定な場所には置かないでください。落下によりケガをするおそれがあります。



製品の上に乗ったり、物を置いたり、ぶら下がったりしないでください。ケガのおそれがあります。

名称と機能



①AOSSボタン

②POWERランプ

- ▶ 緑色点灯：電源ON時
- ▶ 緑色点滅：システム起動中
- ▶ 消灯：電源オフ時
- ▶ 橙点滅：エラー発生時
※エラー発生時は、電源を入れ直してください。

③WIRELESSランプ

- ▶ 緑色点灯：無線LAN動作時
- ▶ 2回緑色点滅：AOSS/WPS待ち受け時
- ▶ 緑色連続点滅：AOSS/WPS失敗
- ▶ 消灯：無線LAN無効時

④INTERNETランプ

- ▶ 緑色点灯：インターネット接続が可能な状態
- ▶ 消灯：インターネットに未接続の状態

⑤ROUTERランプ

- ▶ 緑色点灯：ルータとして動作中
- ▶ 消灯：ブリッジ (AP) として動作中

⑥モードスイッチ

⑦LAN端子

⑧INTERNET端子

⑨電源ボタン

⑩DCコネクタ

⑪リセットボタン

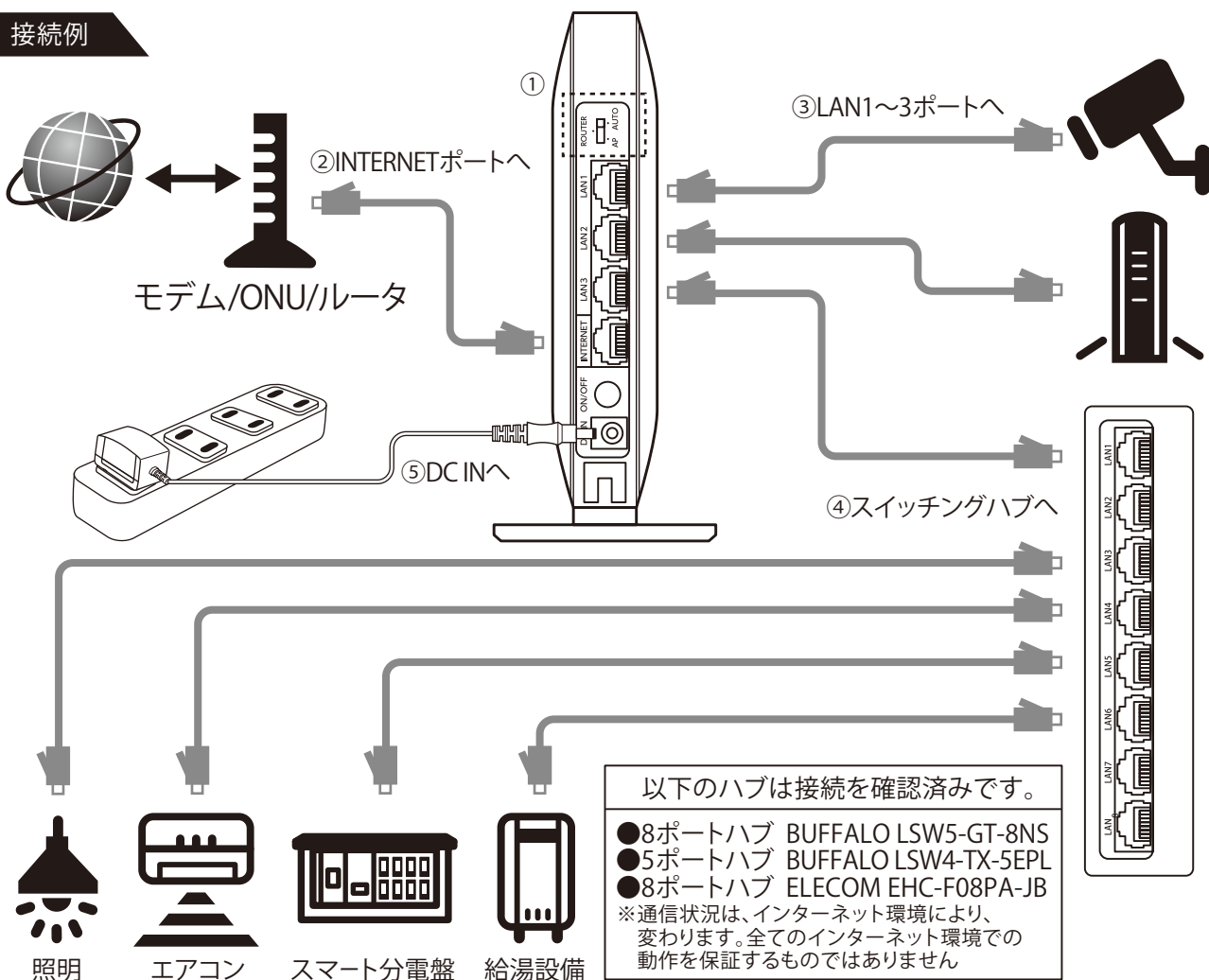
※RESETボタンは底面にあります。

3. 本システムを利用するまでの流れ

3-6. ⑤機器の設置・接続

1) 専用無線LANルータ(つづき)

接続例



①背面のスイッチが「AUTO」であることを確認してください。

※上位にユーザー様のルーターが設置されており、インターネットへの接続が上手くいかない場合は「AP」に切替えてご確認ください。

②モデム/ONU/ルータと専用無線LANルータのINTERNETポートを付属のLANケーブルで接続してください。

③有線接続が必要なものは、「LAN1～3」のポートから各機器にLANケーブルで接続してください。

④有線LANポートの数が不足する場合は、市販のスイッチングハブを増設してください。

⑤付属のACアダプタの端子を専用無線LANルータの背面の「DC IN」に接続し、電源に接続してください。

ACアダプタの見分け方

図の位置にシールがあるものが専用無線LANルータのACアダプタです。

※屋内カメラと同一形状のため、接続間違いにご注意ください。



⚠ 警告



必ず専用ACアダプタをご利用下さい。
専用ACアダプタ以外を使用すると、
故障や発火の原因となります。

2) ホームコントローラ

⚠ 警告	
⊘	異臭や異音がした場合は使用をやめてください。発煙、火災のおそれがあります。
!	必ず専用ACアダプタをご利用下さい。 専用ACアダプタ以外を使用すると、故障や発火の原因となります。

⚠ 注意	
⊘	振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれのあるところに設置しないでください。 落下によりケガをするおそれがあります。
⊘	乳幼児の手の届く場所やペットが近づける場所、不安定な場所には置かないでください。落下によりケガをするおそれがあります。
⊘	製品の上に乗ったり、物を置いたり、ぶら下がったりしないでください。ケガのおそれがあります。

名称と機能

The diagram shows the front and rear panels of the MIRUEComini home controller. The front panel has four indicator lights labeled 1 (POWER), 2 (SERVER), 3 (S-METER), and 4 (EXT.). The rear panel has three ports labeled 5 (USB), 6 (LAN), and 7 (DC-IN5V). The brand name 'MIRUEComini' is visible on the front panel.

①POWERランプ
電源状態を示します。
▶緑色点灯:正常
▶緑色点滅:起動中
▶橙色点滅:本体バージョンアップ中
▶赤色点灯:工場出荷起動
▶赤色点滅:起動失敗

②SERVERランプ
ネットワークの通信状態を示します。
▶緑色点灯:正常
▶緑色点滅:接続中/ローカルモード
▶橙色点滅:上位サーバー接続異常
▶赤色点灯:DHCP/IP取得中
▶赤色点滅:NTP同期中

③S-METERランプ
スマートメーターとの通信状態を示します。
▶緑色点灯:正常
▶緑色点滅:接続中
▶橙色点滅:スマートメーター異常
▶赤色点灯:無線異常
▶赤色点滅:認証異常

④EXT.ランプ
機能拡張用ランプです。
現在は利用しておりません。

⑤USBポート
ローカル用USBメモリの差込口

⑥LANポート
ご利用者様所有のルータと付属のLANケーブルを利用して接続します。

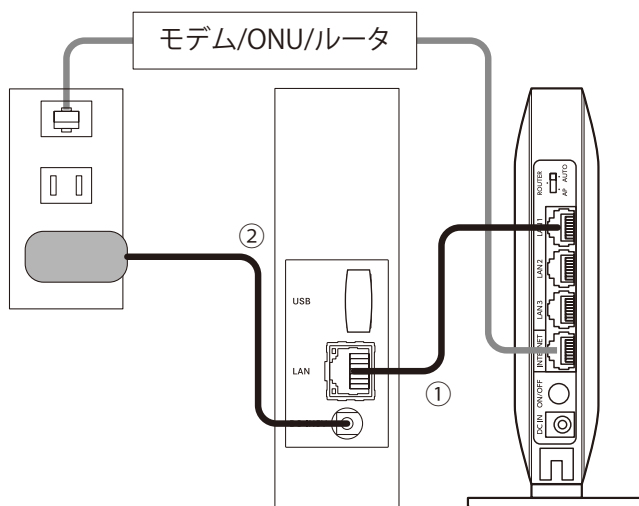
⑦DC-INポート
付属のACアダプタを接続します。

3. 本システムを利用するまでの流れ

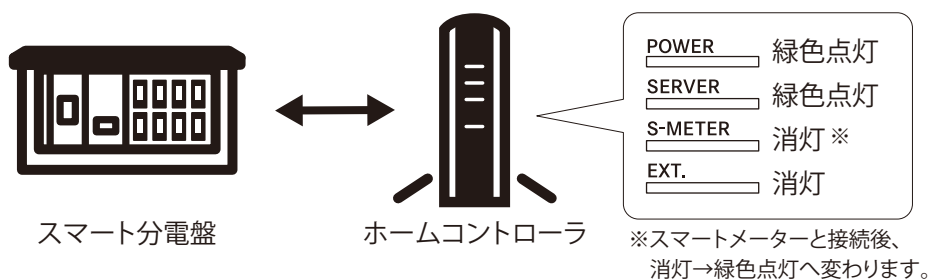
3-6. ⑤機器の設置・接続

2) ホームコントローラ(つづき)

接続例



- ①ホームコントローラと専用無線LANルータをLANケーブルで接続します。
- ②ホームコントローラと付属のACアダプタを接続し、アダプタをコンセントに接続します。
- ③ホームコントローラ正面のLEDランプ表示が以下ならばインターネットへの接続OKです。



スマート分電盤、スマートメーター、他のECHONET Lite機器との接続は
3-5 ④ホームコントローラの初期設定 をご覧ください。

3) リンクコントローラ(アプリ内では「ゲートウェイ」と表示されます。)

⚠ 警告



異臭や異音がした場合は使用をやめてください。発煙、火災のおそれがあります。

⚠ 注意



振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれのあるところに設置しないでください。落下によりケガをするおそれがあります。



乳幼児の手の届く場所やペットが近づける場所、不安定な場所には置かないでください。落下によりケガをするおそれがあります。



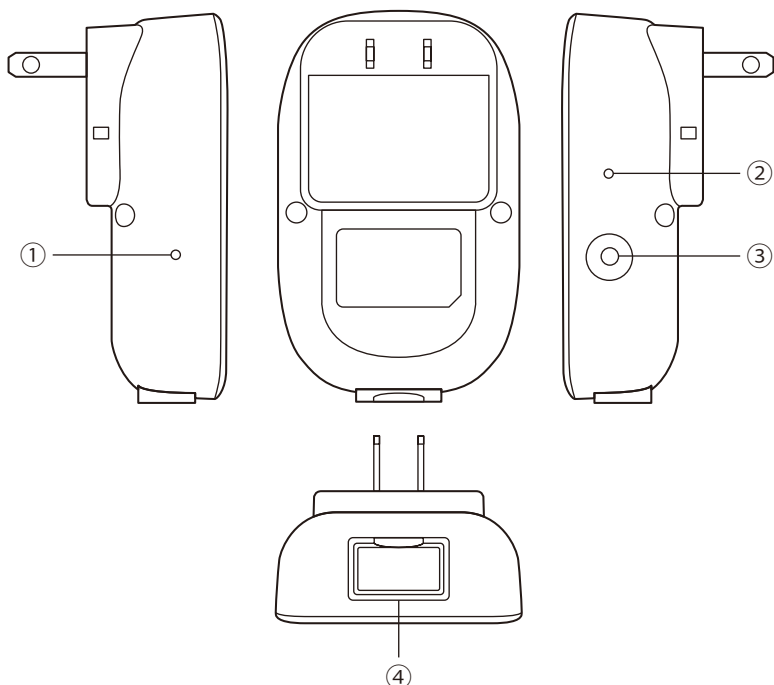
製品の上に乗ったり、物を置いたり、ぶら下がったりしないでください。ケガのおそれがあります。

使用上のご注意

● 次のような場所に設置しないでください。

— 3 階以上の異なる階や部屋間など多数の壁や構造材をまたぐ環境。

名称と機能



① LEDランプ

色・点灯・点滅の組み合わせで状態を表示します。

- 赤点灯: アクティベーション時…初期処理モード
セットアップ後…オフライン
- 赤点滅: アクティベーション時…
アクセスポイントモード
セットアップ後…
ペアリング済みデバイスのエラーアラート
- 橙点灯: タイムアウト(電源を抜き差ししてください)
- 橙点滅: アクティベーション準備モード
- 白点灯: オンラインモード
- 白点滅: ファームウェア更新中

② リセットボタン(RESET)

通電している状態で長押しすると、
全て初期化(ペアリング解除)されます。
操作しないでください。

③ WPSボタン(WPS)

メンテナンス用です。使用しないでください。

④ USBポート

メンテナンス用です。
使用しないでください。

3. 本システムを利用するまでの流れ

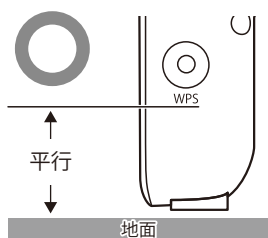
3-6. ⑤機器の設置・接続

3) リンクコントローラ(つづき)

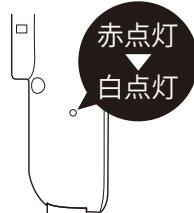
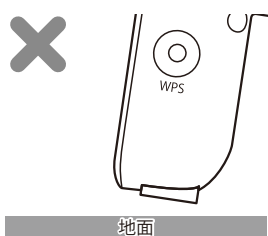
接続例



接続する専用無線LANルータの電波の届く範囲内に、リンクコントローラ(ゲートウェイ)を設置します。



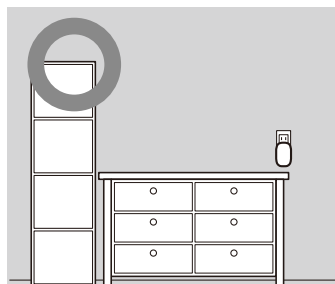
本体側面に書かれている文字が地面と水平になるように、設置してください。



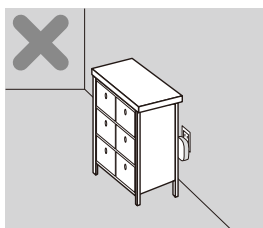
電源ONになると、LEDランプは赤点灯後、白点灯します。

設置不可な場所

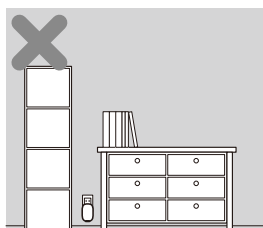
家具裏など、電波が届きにくい場所は避け、なるべく遮蔽物のない高い位置にあるコンセントを選んでください。



電波の通りやすい高い位置に設置してください。



家具の裏などは避けてください。



家具と家具の隙間等は避けてください。

4) 屋内カメラ

⚠ 警告



異臭や異音がした場合は使用をやめてください。発煙、火災のおそれがあります。

⚠ 注意



振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれのあるところに設置しないでください。落下によりケガをするおそれがあります。

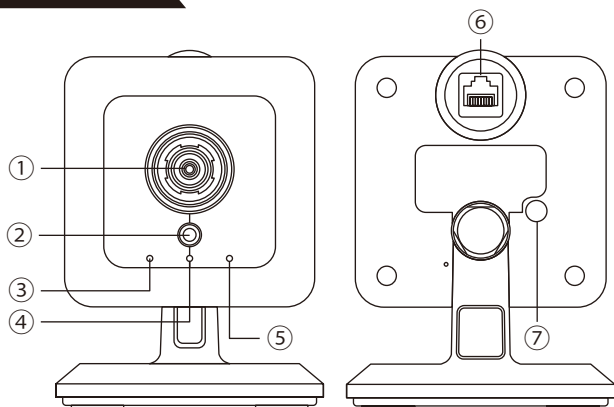


乳幼児の手の届く場所やペットが近づける場所、不安定な場所には置かないでください。落下によりケガをするおそれがあります。



製品の上に乗ったり、物を置いたり、ぶら下がったりしないでください。ケガのおそれがあります。

名称と機能



- ① レンズ
レンズを通して撮影をします。
- ② ライトセンサ
明るさ (LUX) を検知します。
- ③ 電源／Wi-Fi ランプ
点灯：電源 ON
点滅：Wi-Fi 電波強度表示中
(電源 ON 後 5 分間のみ)
- ④ ネットワークランプ
点灯：ネットワーク接続確立済み
点滅：ネットワーク通信中
- ⑤ WPS ランプ
点灯：WPS 接続に失敗すると 5 秒点灯します
点滅：WPS 接続処理中
(接続に成功すると消灯し、
④ ネットワークランプが点灯します)
- ⑥ LAN ポート
- ⑦ WPS／リセットボタン
短押し：WPS モード切替
長押し：11 秒以上長押しした場合、
全て初期化 (ペアリング解除) されます。
ご注意ください。

再ペアリングの方法は
4-1-3) をご覧ください。

【使用する LAN ケーブルについて】

付属のケーブル (約 1.5m) 以外で延長などする場合は、以下の要件を満たすケーブルをご購入ください。

推奨ケーブル：POE 給電対応／Cat5e UTP 以上／芯線断面積仕様が AWG24 単線以上／ケーブル長は最大 30m

3. 本システムを利用するまでの流れ

3-6. ⑤機器の設置・接続

4) 屋内カメラ(つづき)

設置手順

- 1 屋内カメラの準備**
初期動作確認または有線LAN接続の場合は(図1)、無線接続の場合は(図2)を参考に接続してください。(保護キャップは環境に応じてお使いください)
- 2 屋内カメラの仮設置と動作確認。**
専用無線LANルータと無線で接続する場合屋内カメラを設置する位置まで移動させ、付近のコンセントにACアダプタを差してください。
アプリホーム画面で屋内カメラの映像が反映されていることを確認してください。
※反映されていない場合は、適切な位置を再検討してください。
- 3 屋内カメラを据置き、またはビス留めにて本設置してください。**
アプリホーム画面で屋内カメラの映像が反映されていることを確認してください。

映像の確認方法は
4-1-3) をご覧ください。

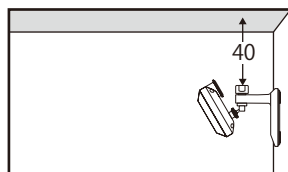
図1: 初期動作確認または有線LAN接続の場合



図2: 無線接続の場合



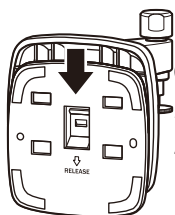
設置不可な場所



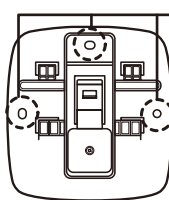
カメラスタンドの取付に必要なため、本体と天井・障害物との間を40mm以上距離をとって設置してください。

ネジ固定の方法

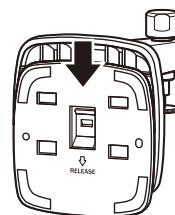
お願い ●必ず、動作確認後に行ってください。



① カメラスタンドの底板を外します。



② 底板をAの3箇所の穴に合わせてネジで壁に固定してください。



③ 固定した底板にカメラスタンドを戻して完了です。

ACアダプタの見分け方

図の位置にシールがあるものが屋内カメラのACアダプタです。

※専用無線LANルータと同一形状のため、接続間違いにご注意ください。



警告

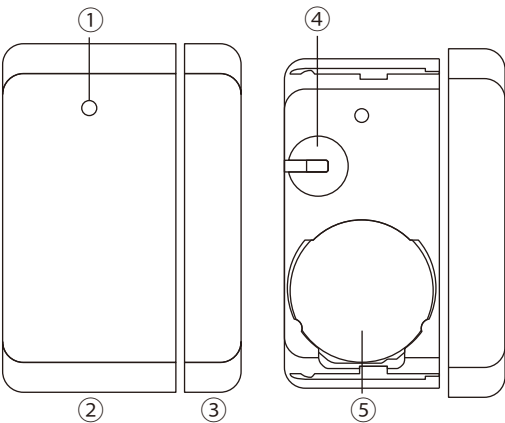


必ず専用ACアダプタをご利用下さい。
専用ACアダプタ以外を使用すると、
故障や発火の原因となります。

5) ドア窓センサ

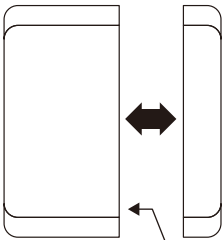
⚠ 警告	
⊘	異臭や異音がした場合は使用をやめてください。発煙、火災のおそれがあります。
⚠ 注意	
⊘	振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれのあるところに設置しないでください。落下によりケガをするおそれがあります。
⊘	乳幼児の手の届く場所やペットが近づける場所、不安定な場所には置かないでください。落下によりケガをするおそれがあります。
⊘	製品の上に乗ったり、物を置いたり、ぶら下がったりしないでください。ケガのおそれがあります。

名称と機能



- ①LEDランプ
ペアリング準備モード時に点滅します。
- ②センサ本体
- ③マグネット
- ④スイッチ
ペアリング準備モードにする場合に使用します。
- ⑤ボタン電池
CR2450 (Panasonic製推奨)

設置時の注意



ドア窓センサは、「閉」を検出する接近方向と、「開」を検出する離脱方向に距離の差があります。必ず開閉動作を検出したい位置に仮固定して動作確認後に本固定してください。

	検出範囲の目安
接近方向(閉)検出	約15mm以下
離脱方向(開)検出	約80mm以上

※金属が隣接した状態の検出範囲は通常より狭まりますので、ご注意ください。

センサ本体のマグネット検出面側にマグネットが位置するように設置してください。

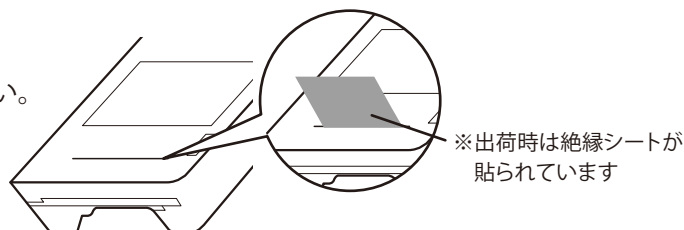
3. 本システムを利用するまでの流れ

3-6. ⑤機器の設置・接続

5) ドア窓センサ(つづき)

接続例

- ① 絶縁シートが外れていることを確認してください。



- ② 両面テープをセンサ本体・マグネットそれぞれの裏面に貼り付けて、設置位置にしっかり固定してください。

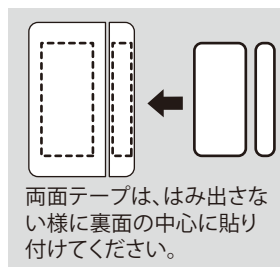
ただし、スペーサー(センサ本体用)を使用される場合は、センサ本体には貼らず、スペーサー(センサ本体)の裏面に貼付けてください。

※性能を十分発揮するために、正しい向きで貼り付けてください。

※センサ本体とマグネットの隙間は、約15mm以内になるように、できるだけ近づけて貼り付けてください。

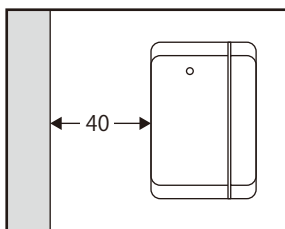
※本設置前に、動作確認を必ず行ってください。※両面テープに表裏はありません。

※事前に貼付する面をきれいにしてください。



設置不可な場所

電池交換の際、カバーをスライドして外すため、本体と天井・障害物との間を40mm以上距離をとって設置してください。



室内ドアの場合



センサ本体とマグネットの隙間を15mm以内に、高さを合わせて貼り付けます。



センサ本体とマグネットの隙間が15mm以上離れています。

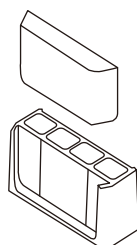


センサ本体とマグネットの高さがずれています。

玄関ドアの場合



ドア枠と扉に段差がある場合、センサ本体を付属のスペーサーにセットし、マグネットとの距離が15mm以内になるよう調整してください。



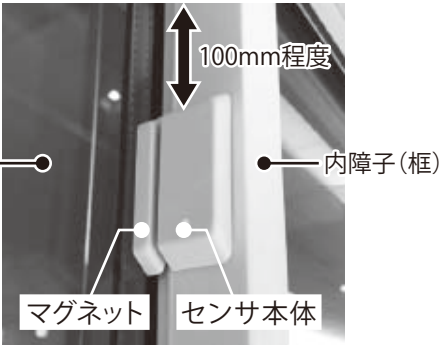
※スペーサーは貼付け面から17mmかさ上げ可能です。

※スペーサー裏面に両面テープを貼り、扉に貼り付けてください。

※センサ本体とマグネット間は5mm以上15mm以内で間隔を空けてください。

窓の場合

引違い窓の場合、召合框（めしあわせカマチ）の上部側（額縁面から100mm程度）の外障子側（ガラス面）にマグネットを貼り付け、内障子側の框にセンサ本体を貼付けます。外障子のガラス面と框面との間隔が11.5mm以上必要です。



以下の場合、ドア窓センサが取付できませんので、狭域人感センサなど他の機器で代用してください。

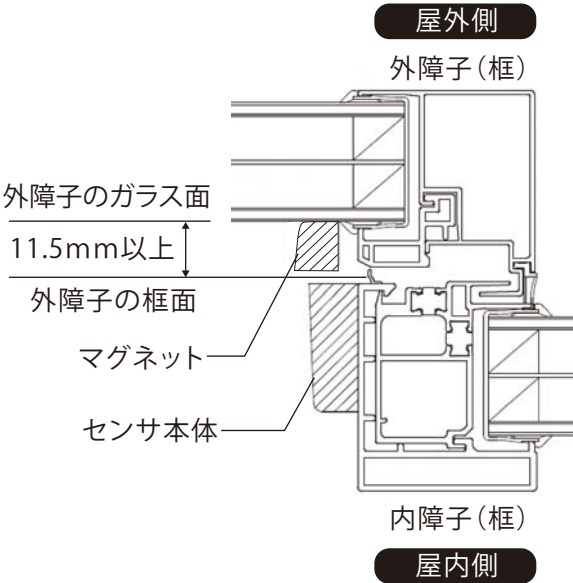
- ・外障子のガラス面と内障子の框との間隔が11.5mmより小さい場合
- ・引違い以外の窓の場合
- ・直射日光が当る場所
- ・雨が降り込む場所
- ・結露が発生する場所

ドア窓センサ設置可否
(引違い窓)

窓	LIXIL品種	取付
引違い	サーモスX	○
	サーモスII-H	○
	サーモスL	○
	エルスターS	○
	エルスターX	×

ドア窓センサ設置可否
(玄関ドア)

ドア	LIXIL品種	取付
玄関 ドア 引戸	玄関ドアDA	○
	ジエスタ2	○
	グランデル2	○
	ブレナスX	○
	アヴァントス	○
	エルムーブ	○
	玄関引戸PG	○
	玄関引戸k6、k3	○



※設置可否表については随時追加しますので、当社HPのホワイトリストよりご確認ください。
※製品に貼られているラベルにて品種をご確認ください。

電池を交換する

●使用電池種類:コイン型リチウム電池 CR2450タイプ。Panasonic製推奨。

電池切れの際はLifeAssistアプリにアラートが表示されます。

カバーの外し方

グレーの面に親指で力を掛けながら約1cm下にスライドさせます。

図の方向に白いカバーを持ち上げて取り外します。

電池を上の方に持ち上げて、取り出します。





新しい電池をプラスの電極面を上にして入れます。

電池カバーを閉じて完了です。

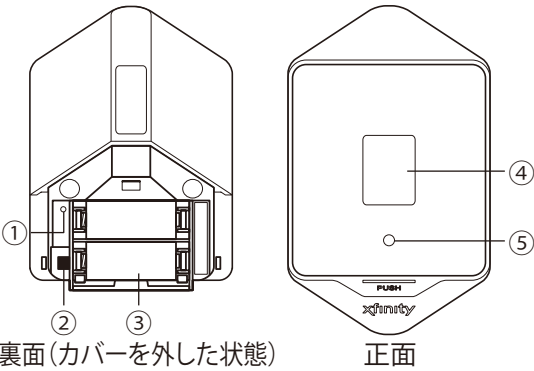
3. 本システムを利用するまでの流れ

3-6. ⑤機器の設置・接続

6) 広域人感センサ

⚠ 警告	
	異臭や異音がした場合は使用をやめてください。発煙、火災のおそれがあります。
⚠ 注意	
	振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれのあるところに設置しないでください。落下によりケガをするおそれがあります。
	乳幼児の手の届く場所やペットが近づける場所、不安定な場所には置かないでください。落下によりケガをするおそれがあります。
	製品の上に乗ったり、物を置いたり、ぶら下がったりしないでください。ケガのおそれがあります。

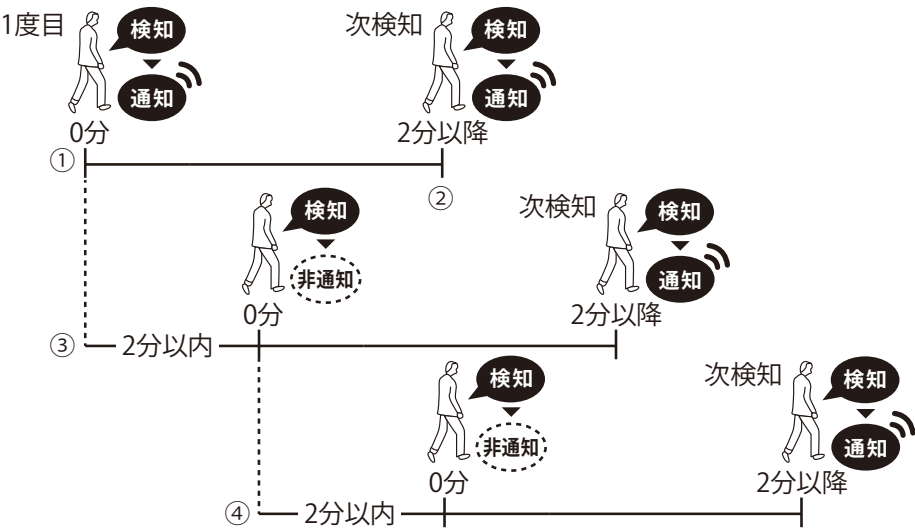
名称と機能



- ① 緑LED (本体内部に実装)
本体リセット時に点灯します。
- ② スイッチ
ペアリング準備モードにする場合に使用します。
- ③ リチウム電池
CR123A (Panasonic製推奨)
- ④ センサ
人の動きを検知します。
- ⑤ 赤LED
電源起動時に点滅します。
※通信異常時に、3秒点灯。

通知について

- ① 検知すると即時アプリでの確認兼、通知します。
- ② ただし1度目の検知通知の後の次の検知通知は、2分経過以降になります。
- ③ 検知通知の後の、2分以内の検知は非通知となります。次の検知通知は、その時点から2分経過以降になります。
- ④ 検知非通知後の2分以内の検知も非通知となります。次の検知通知は、再びその時点から2分経過以降になります。

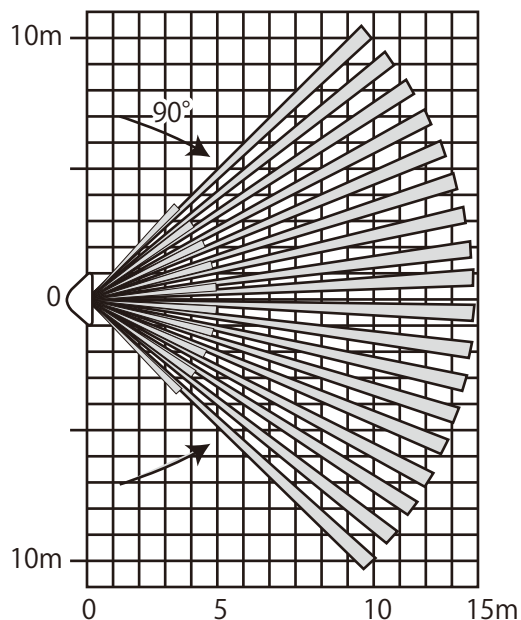


・検知：センサが、人（動物）を検知した状態です。検知のみで、サーバへの通知は行いません。
・通知：センサーが人（動物）を検知し、上記通知可能な条件を満たした場合に、サーバへ検知したことを通知します

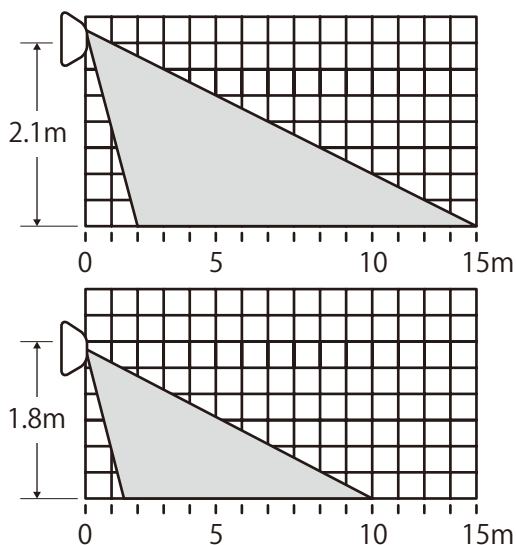
電池を入れ、カバー取り付け後、約2分間は、LEDが点滅し、その間、検知、通知は行いません。その後、約13分間テストモードに入ります。テストモードでは、検知される度にLEDが点滅し通知を行いますので、この間に、検知範囲の確認を行うことができます。なお、頻繁に通知が行われますので、ご注意ください。

検知範囲

上から見た図

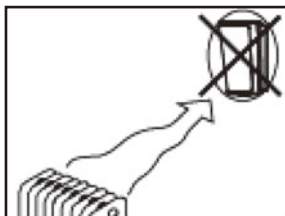


横から見た図



※取付位置の高さにより検知範囲が垂直に変動します。
※検知範囲は最大15mです。

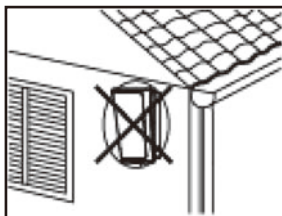
設置不可な場所



暖房／冷房源の近くに設置しないでください。



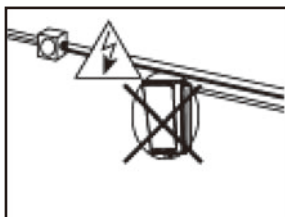
窓に向けないでください。



屋外に設置しないでください。



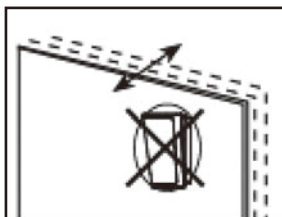
設備に直射日光が当たらない場所に設置してください。



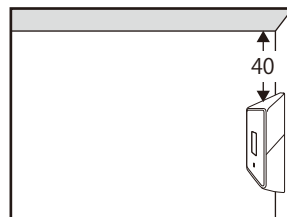
高い電圧の電源の近くに設置しないでください。



障害物の裏側に設置しないでください。



不安定な面に設置しないでください。



電池交換の際、カバーをスライドして外すため、本体と天井・障害物との間を40mm以上距離をとって設置して下さい。

3. 本システムを利用するまでの流れ

3-6. ⑤機器の設置・接続

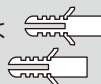
6) 広域人感センサ(つづき)

ネジ固定の方法

お願い

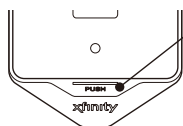
●必ず、動作確認後に行ってください。

プラスターボードなどに設置する際は

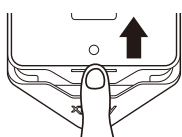


付属のアンカーをご利用ください。

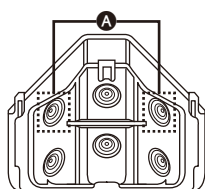
カバーの外し方



本体の「PUSH」部分に親指を当てます。

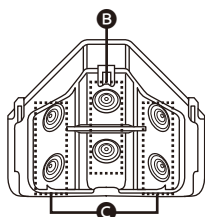


本体とカバーをそれぞれの手で支えながら親指に力を加え、本体を矢印の方向にスライドします。



コーナーに取付ける場合

●Aの上部2箇所にて穴を開け、ネジを締めます。

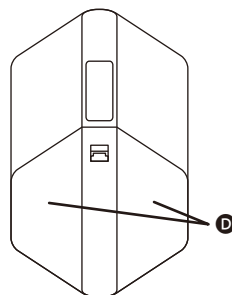


壁面に取付ける場合

●Bの2箇所にて穴を開け、ネジを締めます。

側面を使って取付ける場合

●Cの左右どちらか2箇所にて穴を開け、ネジを締めます。



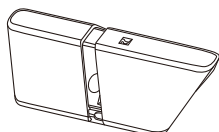
両面テープを使用する場合

●Dの左右どちらかを両面テープで壁に固定します。

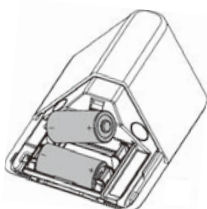
電池を交換する

- 使用電池種類:リチウム電池CR123Aタイプ。Panasonic製推奨。
- 通常電池寿命:3年。ただし使用環境により大きく変動します。
- ※機器内部のばねスイッチは押さないでください。

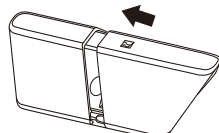
電池切れの際はLifeAssistアプリにアラートが表示されます。



①カバーを外します。



②プラス、マイナスの方向を確認して新しい電池を取り付けてください。



③カバーを戻して完了です。

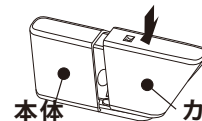
※出荷時は絶縁シートが貼られています

絶縁シートが外れていることを確認してください。

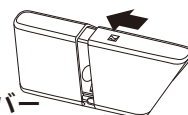
固定されたカバーに本体を戻して完了です。

カバーを本体に戻す時の注意

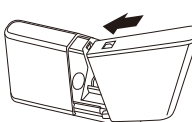
カバーを本体に戻す時は、本体に対して水平に挿入してください。上や、斜め方向から挿入すると、破損の原因となります。



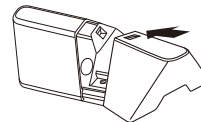
①本体とカバーの間隔が10mmくらいの位置でカバーを垂直に下ろします



②そのまま水平にカバーを挿入します。



上から挿入



斜めから挿入

7) 狭域人感センサ

⚠ 警告



異臭や異音がした場合は使用をやめてください。発煙、火災のおそれがあります。

⚠ 注意



振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれのあるところに設置しないでください。落下によりケガをするおそれがあります。

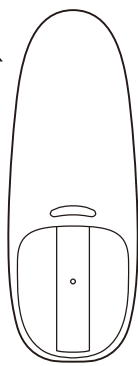


乳幼児の手の届く場所やペットが近づける場所、不安定な場所には置かないでください。落下によりケガをするおそれがあります。

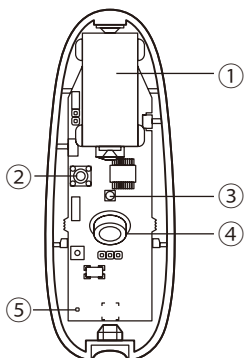


製品の上に乗ったり、物を置いたり、ぶら下がったりしないでください。ケガのおそれがあります。

名称と機能



正面

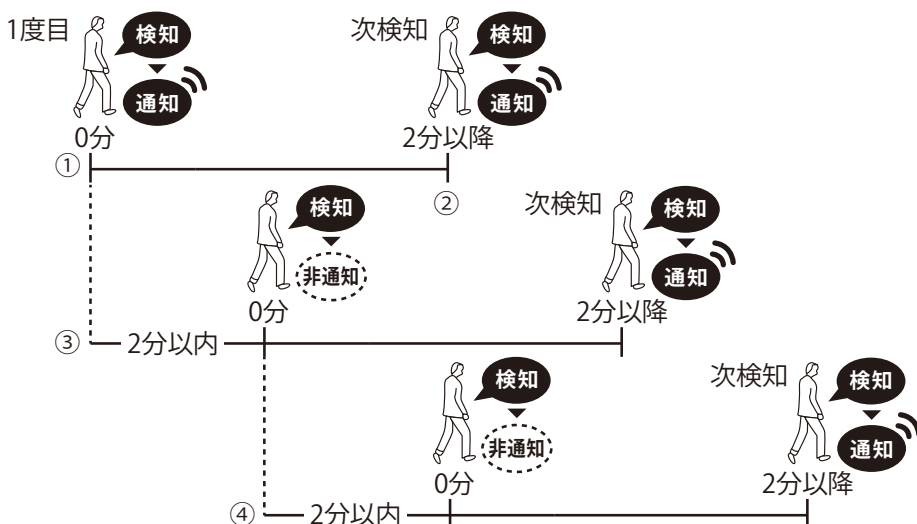


裏面(カバーを外した状態)

- ① リチウム電池
CR123A (Panasonic製推奨)
- ② スイッチ
ペアリング準備モードにする場合に使用します。
- ③ LEDランプ
点灯: モーション検知時、タンパ検知時に約3秒間点灯
点滅: 電池挿入時(挿入後から約2分間)またはカバーを閉めた際に点滅
- ④ センサ
人の動きを検知します。
- ⑤ RFモジュールLED
ペアリング準備モード時に点滅します。

通知について

- ① 検知すると即時アプリでの確認兼、通知します。
- ② ただし1度目の検知通知の後の次の検知通知は、2分経過以降になります。
- ③ 検知通知の後の、2分以内の検知は非通知となります。次の検知通知は、その時点から2分経過以降になります。
- ④ 検知非通知後の2分以内の検知も非通知となります。次の検知通知は、再びその時点から2分経過以降になります。



- ・検知: センサが、人(動物)を検知した状態です。検知のみで、サーバへの通知は行いません。
- ・通知: センサーが人(動物)を検知し、上記通知可能な条件を満たした場合に、サーバへ検知したことを通知します

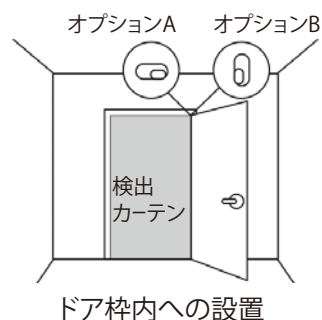
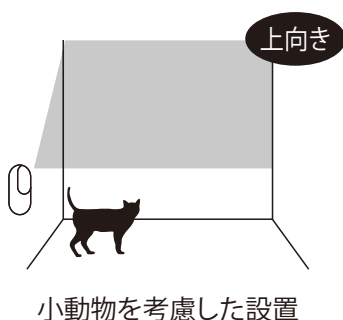
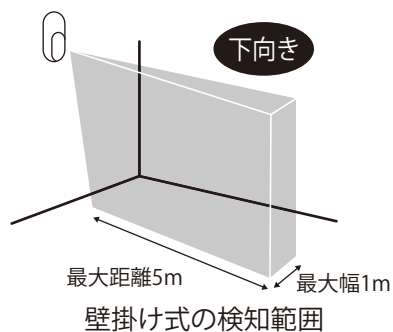
電池を入れ、カバー取り付け後、約2分間は、LEDが点滅し、その間、検知、通知は行いません。その後、約13分間テストモードに入ります。テストモードでは、検知される度にLEDが点滅し通知を行いますので、この間に、検知範囲の確認を行うことができます。なお、頻繁に通知が行われますので、ご注意お願い致します。

3. 本システムを利用するまでの流れ

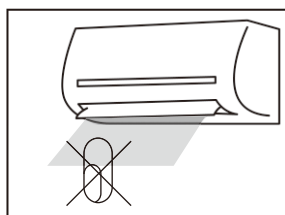
3-6. ⑤機器の設置・接続

7) 狭域人感センサ(つづき)

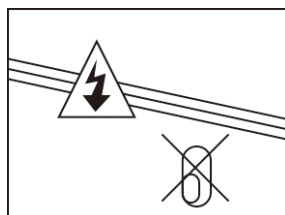
検知範囲



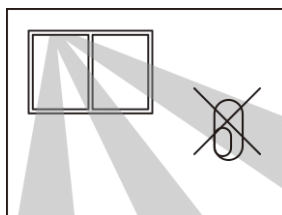
設置不可な場所



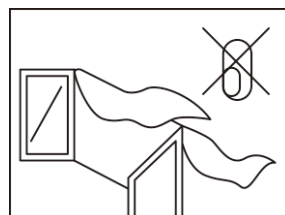
暖房／冷房源の近くに設置しないでください。



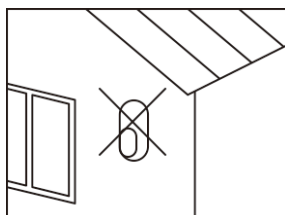
高い電圧の電源の近くに設置しないでください。



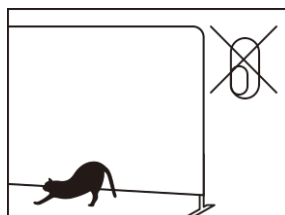
設備に直射日光が当たらない場所に設置してください。



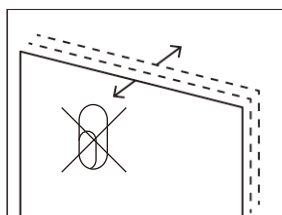
窓に向けないでください。



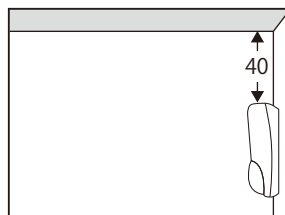
屋外に設置しないでください。



障害物の裏側に設置しないでください。



不安定な面に設置しないでください。



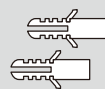
本体と天井・障害物との間を40mm以上空けて設置して下さい。

ネジ固定の方法

お願い

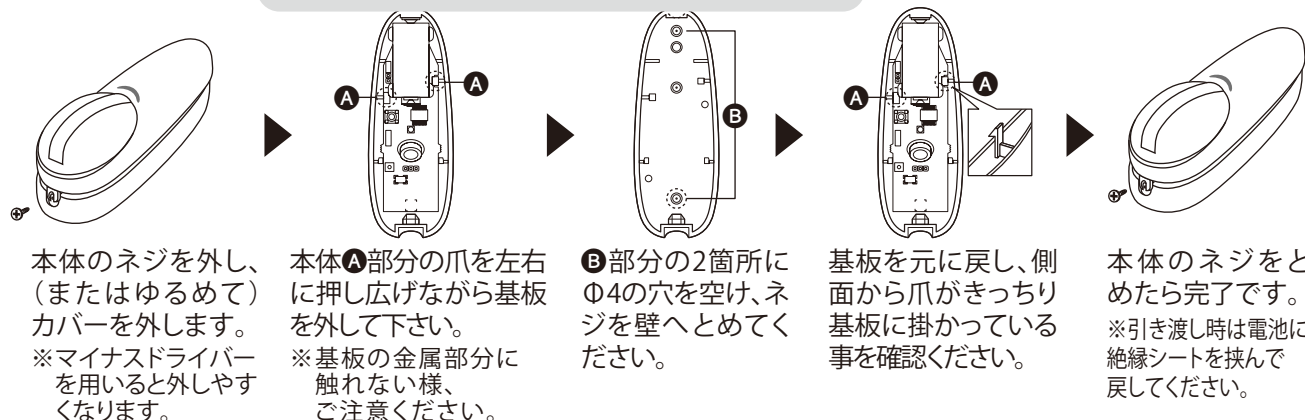
●固定する前に設置する位置で動作確認してください。

プラスターボード等に設置する際は
付属のアンカーをご利用ください。

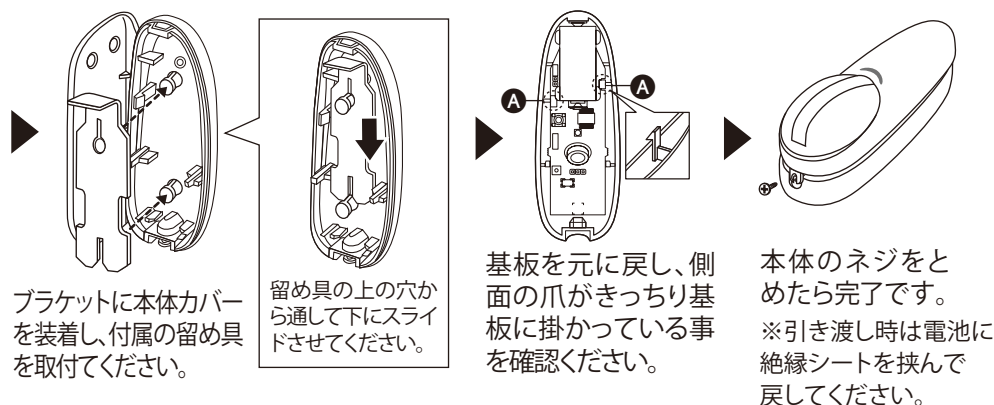
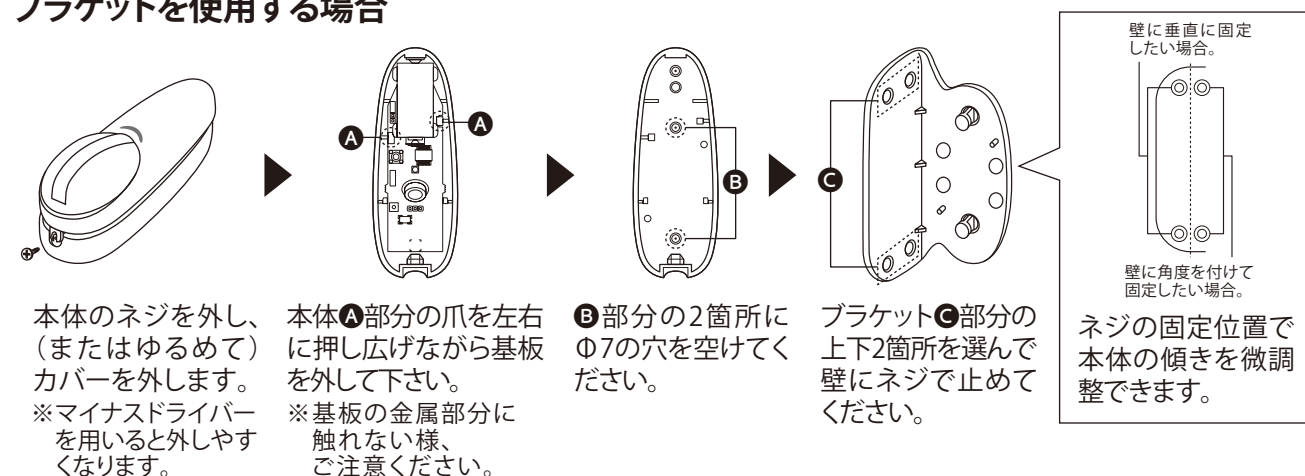


直接固定の場合

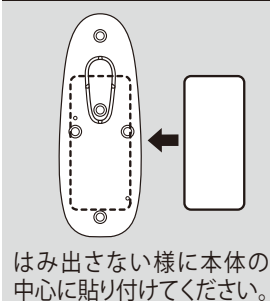
マイナスドライバーを用いると外しやすくなります。



ブラケットを使用する場合



両面テープを 使用する場合



3. 本システムを利用するまでの流れ

3-6.⑤機器の設置・接続

7) 狭域人感センサ(つづき)

電池を交換する

- 使用電池種類:リチウム電池CR123Aタイプ。Panasonic製推奨。
- 通常電池寿命:3年。ただし使用環境により大きく変動します。

電池切れの際はLifeAssistアプリにアラートが表示されます。



機器下部のネジを外します。(または緩めます)



カバーを開きます。



プラス、マイナスの方向を確認して新しい電池を取り付けてください。



カバーを戻し、ネジをしめて完了です。

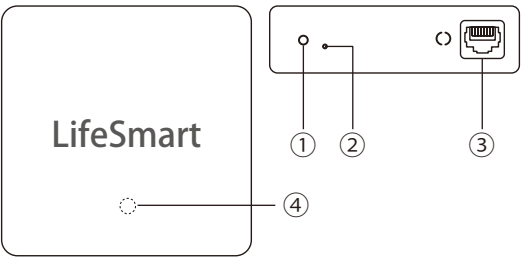
- ※電池は固めに装着されております。注意して外してください。
- ※プラスドライバーは#1で握りが細いものを使用してください。

8) 温湿度センサハブ/温湿度センサ

⚠ 警告	
⊘	異臭や異音がした場合は使用をやめてください。発煙、火災のおそれがあります。
⚠ 注意	
⊘	振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれのあるところに設置しないでください。落下によりケガをするおそれがあります。
⊘	乳幼児の手の届く場所やペットが近づく場所、不安定な場所には置かないでください。落下によりケガをするおそれがあります。
⊘	製品の上に乗ったり、物を置いたり、ぶら下がったりしないでください。ケガのおそれがあります。

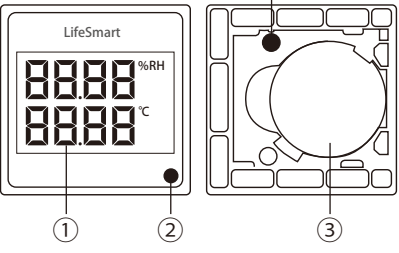
名称と機能

温湿度センサハブ



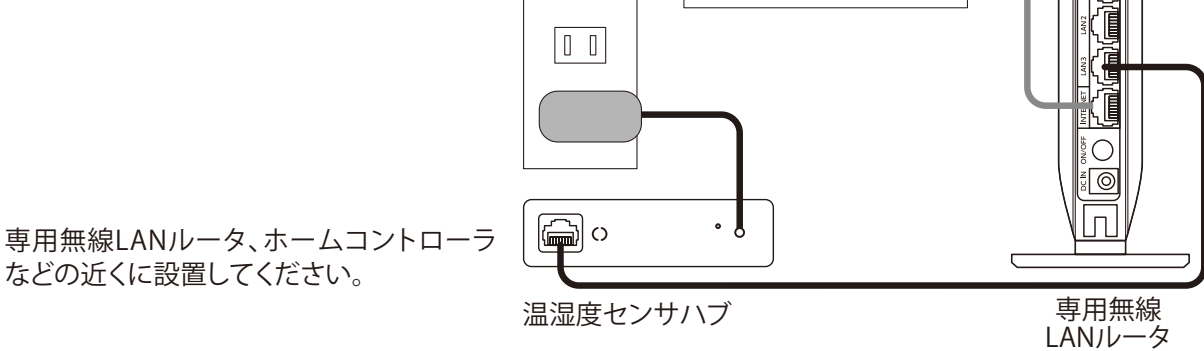
- ①電源アダプターポート ②リセットボタン
 - ③Ethernetポート ④LED
- 電源状態を示します。
▶ 白色点灯: 正常
▶ 白色点滅: 接続中

温湿度センサ



- ①LCD画面 ②照明センサ
- ③ボタン電池 CR2450 (Panasonic製推奨)
- ④ペアリングスイッチ

設置の一例



専用無線LANルータ、ホームコントローラなどの近くに設置してください。

3. 本システムを利用するまでの流れ

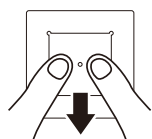
3-6. ⑤機器の設置・接続

8) 温湿度センサハブ/温湿度センサ(つづき)

電池を交換する

- 使用電池種類:リチウム電池CR123Aタイプ。Panasonic製推奨。※他メーカー製電池は使用できないことがあります。
- 通常電池寿命:3年。ただし使用環境により大きく変動します。

カバーの外し方



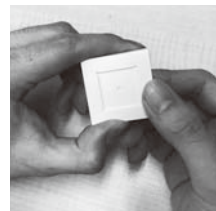
本体裏面を親指で押し
ながら下に約5mmス
ライドさせてください。



電池を上の方に
持ち上げて、取り
出します。



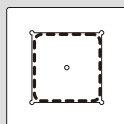
プラスの電極面を上
にし電池を入れます。



電池カバーを閉じ
て完了です。

図の方向に白いカ
バーをずらして取り
外します。

両面テープを使用する場合



はみ出さない様
に本体の中心に
貼り付けてくだ
さい。

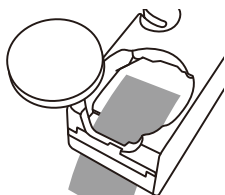
3-7. ⑥絶縁シートの挟み込み

すぐにご利用されない場合は、絶縁シートを挟みこんでください。

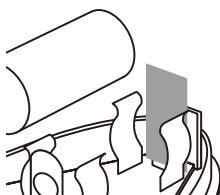
※サービスご利用時にユーザー様にて絶縁シートを外していただきます。

※通電したままシステムを作動させなかった場合、通常より早く電池を消耗することになります。

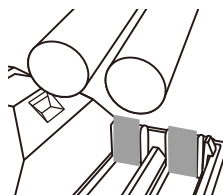
ドア窓センサ



広域人感センサ

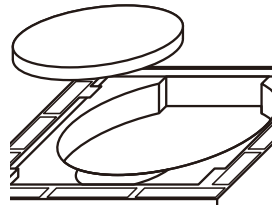


狭域人感センサ



温湿度センサ

電池を外して同梱さ
れている小袋に入れ
保管し、ユーザー様
へ、お渡し願います。



ここまでの施工業者様の実施内容です。

ここからがユーザー様に実施いただく内容です。

3-8.Ⅶインターネット回線の申込


任意のプロバイダーへ、事前に契約・開通をお願い致します。

3-9.Ⅷクレジットカード情報の登録・申し込み ※リンクコントローラご使用の場合

LifeAssist機器に同梱されているユーザー様用封筒の中にある用紙のQRコードを読み込んで、登録画面へ進んでください。


「Life Assist」サービス申込み お客様番号

この度はLife Assist製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
「Life Assist」サービスご利用の際は、
①下記のQRコードから申込みWebサイトにアクセスし、外部連携IDを入力後、ユーザー情報及びクレジットカード情報を入力して登録手続きを行います。


申込み用Webサイト	外部連携ID
	LX12345678901

②以下のQRコードよりLife Assistアプリをダウンロードして、①で登録したメールアドレスに送付されたユーザー様専用ID・PWにてログインします。

Android端末の方はこちら




iOS端末の方はこちら




「Life Assist」サービスは、以上でご利用いただけます。


「Life Assist」アプリの詳しい使い方は、こちらのQRコードよりユーザーマニュアルをご覧ください。




② ①申し込み用Webサイトにアクセス。②外部連携ID,MAC ID 下4桁を入力




③ ユーザー情報を入力




⑤ 確認画面にて、内容確認後、登録



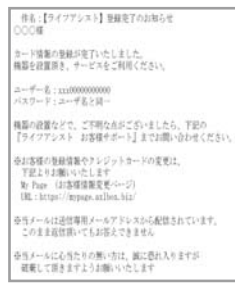
④ 決済情報(カード情報)を入力



⑥ 登録完了



⑦ 登録完了後に確認メールが届きます。添付のURLより登録情報の確認・修正ができますので大切に保管してください。



3-10.Ⅸアプリのダウンロード ※リンクコントローラご使用の場合

iOS端末の方はApp Storeから、Android端末の方はGoogle Playストアから【LifeAssist】と検索し、LifeAssistアプリをダウンロード、または、施工業者様・ユーザー様用の封筒に同梱のQRコードよりダウンロードしてください。

■ LifeAssistアプリ 対応端末

・iOS10.0以降 ・Android™ 5.0以降



※端末によりアプリケーションが動作しない場合があります。

※ダウンロードにかかる通信料はユーザー様ご自身のご負担となります。



アプリ名：
ライフアシスト/LifeAssist
提供者：
LIXIL

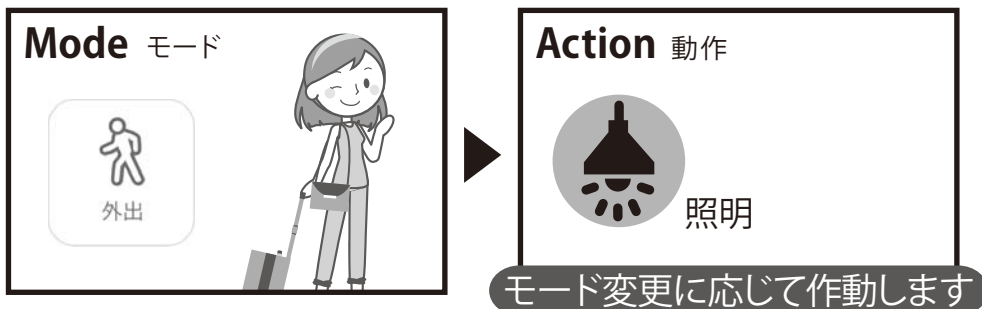
3. 本システムを利用するまでの流れ

3-11. ⑧アシストルール(アシストルールの設定・停止・解除方法)

1) 例1: 外出モード時のルール(お出かけ時)

・アプリで「外出モード」に変更すると、照明が消える

※照明のコントロール機器が必要です



操作手順

Mode設定



Action設定



2) 例2:外出モード時のルール(不在)

・外出モード中に、ドア窓センサが開くと、カメラでビデオを撮り、ユーザーへメールを送信する。



操作手順

Trigger設定

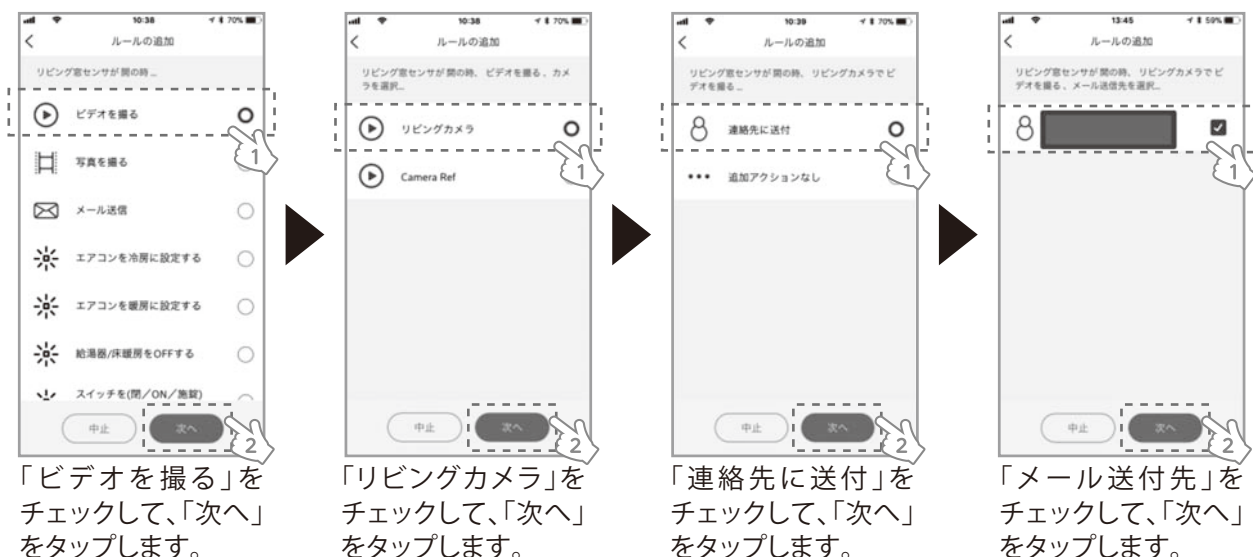


3. 本システムを利用するまでの流れ

3-11. ⑧アシストルール (アシストルールの設定・停止・解除方法)

操作手順(続き)

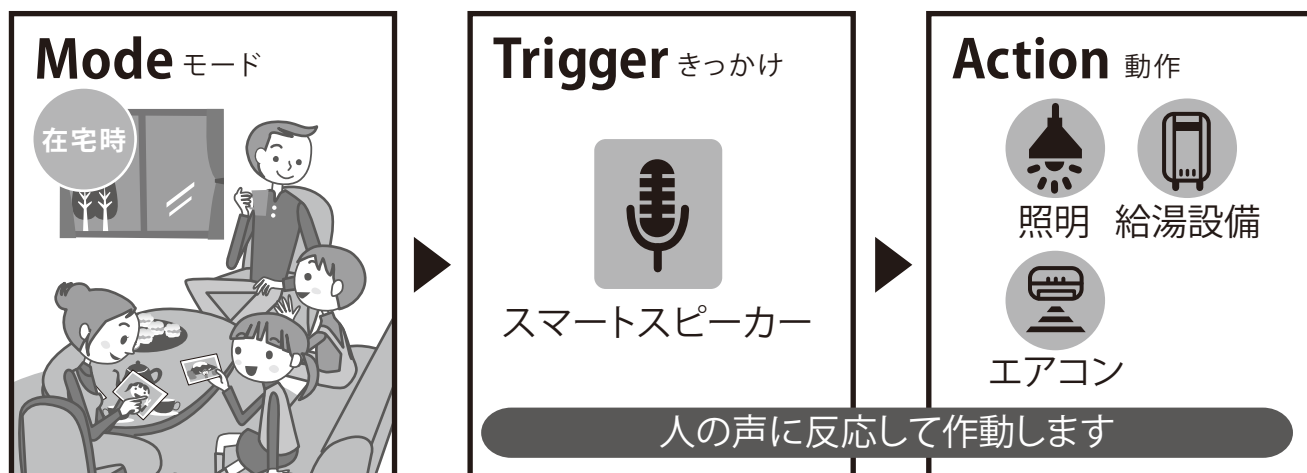
Action設定



Mode設定



3) 例3: 音声認識によるルール(スマートスピーカー)



削除手順は「アプリユーザーマニュアル」の「IFTTTとの接続(音声操作)」をご覧ください。

例えばこんな使い方

声を掛けるだけで自動で操作が可能になります。

「ダイニングの照明を明るくして」

▶ 対象の照明が点灯します。

「リビングのエアコンを冷房でつけて」

▶ 対象のエアコンが運転開始します。



音声でおうちをコントロール

エアコンや照明、テレビなどの家電製品を音声でコントロール

本書「安全にお使いいただくために」、「使用上のご注意」をご確認ください。

⚠ 注意



スマートスピーカーなどからの機器操作『音声操作』をする場合、以下のことをお守りのうえ、ユーザー様ご自身のご判断で使用可否を判断し、ご自身の責任のもとで使用してください。第三者の音声操作によりユーザー様の意図しない機器が作動することにより、ケガや防犯性の低下などが起こる事があります。

- ・音声操作を行う機器は弊社ホームページに掲載の最新の「LifeAssistホワイトリスト」より選定してください。
- ・音声操作のための言葉『指示語』を登録できる機能がある場合、必ずユーザー様ご自身で登録し、第三者に知られないようにしてください。
- ・『指示語』を登録できる機能がある場合、第三者に類推されにくい指示語を登録し、定期的に変更してください。

使用上のご注意

発話登録する指示語は、他人に推察され難いものを設定ください。他人の音声などによる宅外からの操作により、家電や建材の思わぬ動作や防犯性の低下を招くことがあります。

例1:『シャッターを開けて』⇒留守中にシャッターが開き、防犯性を低下させる可能性があります。

例2:『鍵を掛けて』⇒玄関の外に出ている際に締め出しの可能性があります。

3. 本システムを利用するまでの流れ

3-11. ⑩アシストルール（アシストルールの設定・停止・解除方法）

アシストルールの手順（停止／解除（削除））



ルールの停止

- ① 停止したいルールをタップします。



- ② ルールを使用のスイッチを左へ。
続けて保存をタップ。
以上で、ルールの停止完了です。

ルールの解除（削除）

- ① 解除（削除）したいルールをタップします。



- ② 下部の削除をタップして完了です。

3-12.アプリ画面遷移

アプリ起動



ログイン画面



ホーム



履歴



ルール



設定



ルールの編集



デバイスの管理



アカウント



連絡先の管理



システム設定



4. 接続機器を追加・交換・削除する場合

※接続機器の追加、交換、削除を行う場合は、必ず1台の端末から、操作してください。

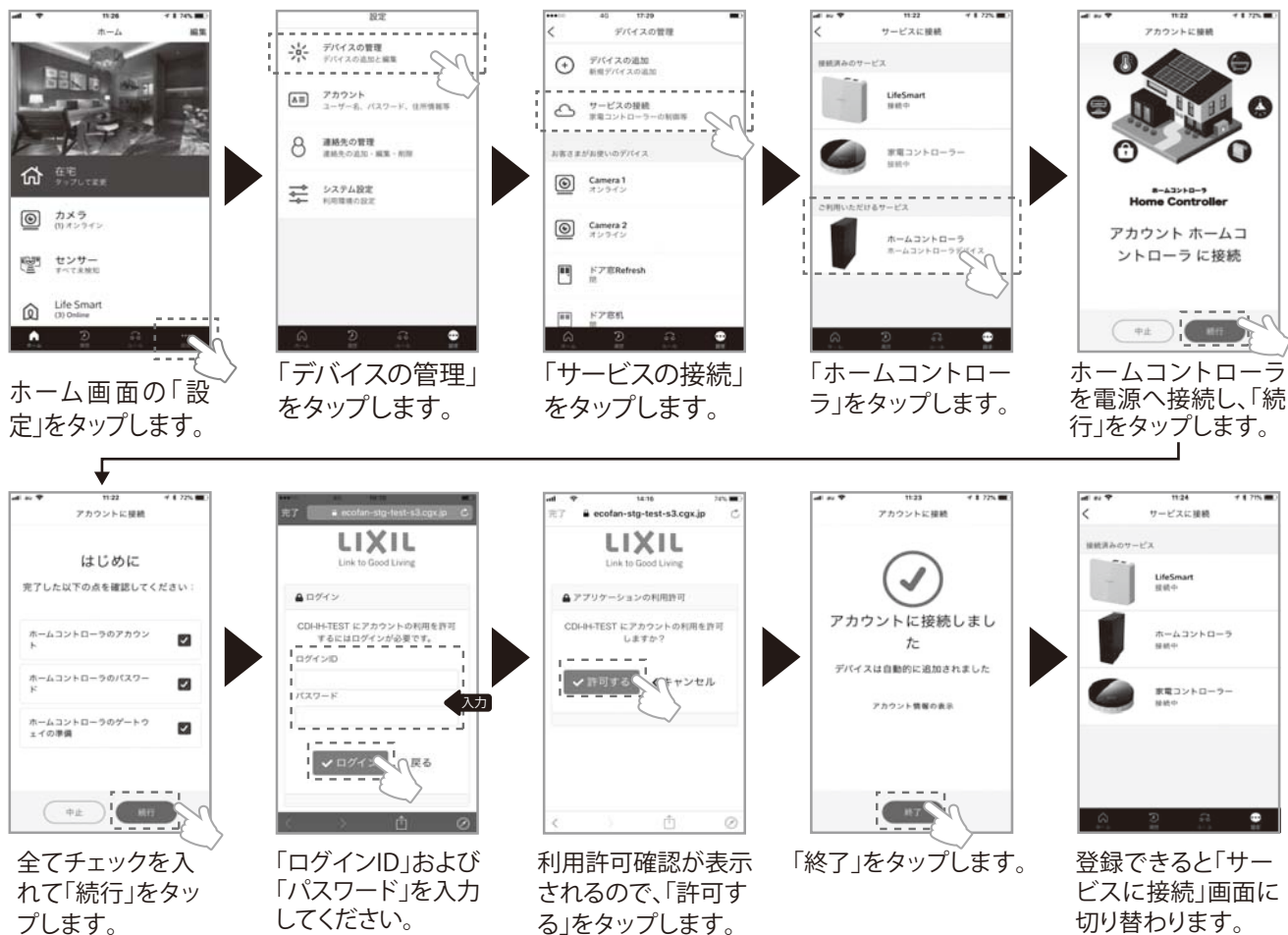
4-1.各機器のペアリング(追加)

1) ホームコントローラの追加

※ホームコントローラは1つのシステムに1台まで接続可能です。

リンクコントローラシステムへ、後からホームコントローラを追加する場合。

- ① 3-4 ④-2)記載の **動作確認の手順 ①機器の準備と配線** を参考に、ホームコントローラを設置してください。
- ② 3-4 ④-1)の手順にて、Web申込を行ってください。
- ③ Web申込み手続きにて設定していただいた、新規のお客様ID/パスワードを、お控えください。
- ④ 以下手順にて、ホームコントローラを追加してください。

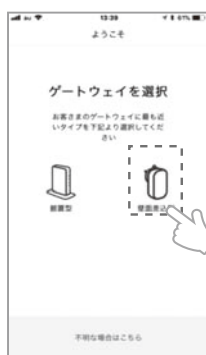


※Web申込手続きにて設定して頂いた、ログイン名/パスワードを入力してください

2) リンクコントローラ(ゲートウェイ)の追加 ※リンクコントローラは1つのシステムに1台まで接続可能です。

ペアリング

- ① センサ類一式(ドア窓センサ、広域/狭域人感センサ、温湿度センサ等)を用意します。
- ② ペアリングする専用無線LANルータの電源ON、及びインターネット環境に接続します。



「壁面埋込型」をタップします。



内容を確認し、「チェック」「続行」をタップします。



内容を確認し、「続行」をタップします。



内容を確認し、「続行」をタップします。



内容を確認し、「続行」をタップします。



内容を確認し、「続行」をタップします。



内容を確認し、「続行」をタップします。



「Intelligent-Home」を選択します。

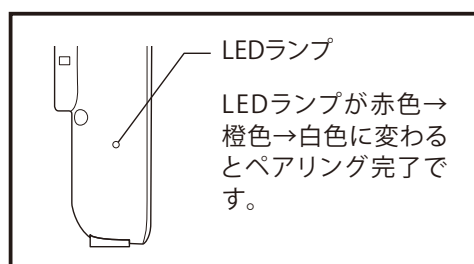
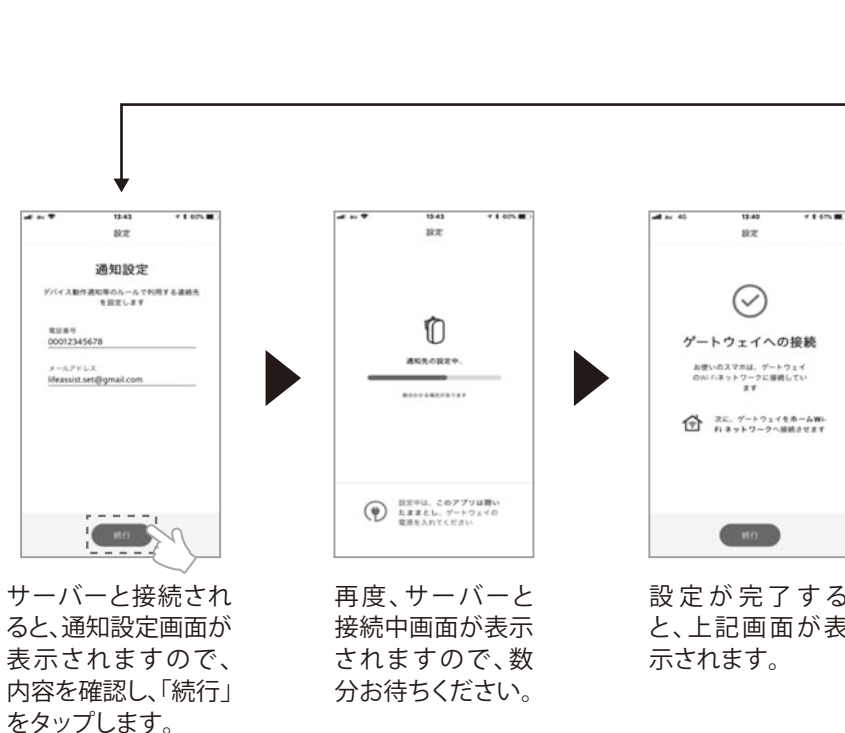
※リンクコントローラを交換する場合は、
“お問い合わせ窓口”へお問い合わせください。

4. 接続機器を追加・交換・削除する場合

※接続機器の追加、交換、削除を行う場合は、必ず1台の端末から、操作してください。

4-1.各機器のペアリング(追加)

2) リンクコントローラ(ゲートウェイ／つづき)



3) 屋内カメラ

ペアリング 設置は3-6 ④-4)をご参照ください。

- ①電源／Wi-Fiランプ(3-6 ④-4)が点滅から点灯の状態に変わるまで、しばらくお待ちください(約5分間)。
- ②専用無線LANルータのAOSS(WPS) ボタンを押し、その後、屋内カメラ背面のWPS／リセットボタンをカチッと
なるまで深く押してください。WPS／リセットランプが点滅を開始します。
- ③点灯を確認したら、【機器の管理】→【デバイスの追加】のアプリを立ち上げ、デバイスの追加を実行してください。
※ 有線LAN接続の場合は、①②は行う必要はありません、③から実施してください。



「設定」より「デバイスの追加」をタップします。



カメラをタップします。



カメラの追加⇒「続行」をタップします。



カメラの電源オン⇒「続行」をタップします。



LED表示の確認⇒「続行」をタップします。



ルーターのWPSボタンを押す⇒「続行」をタップします。



カメラのWPSボタンを押す⇒「続行」をタップします。



5分程度待ちます。



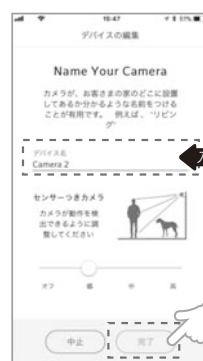
カメラが接続された画面になりますので、カメラ画像を確認し、「続行」をタップします



デバイス設置画面になりますので、「デバイスの設置が完了」をタップします。



設定⇒デバイスの管理より、追加したカメラをタップします。



カメラに名前を付け、センサ感度を設定し、「完了」をタップします。

4. 接続機器を追加・交換・削除する場合

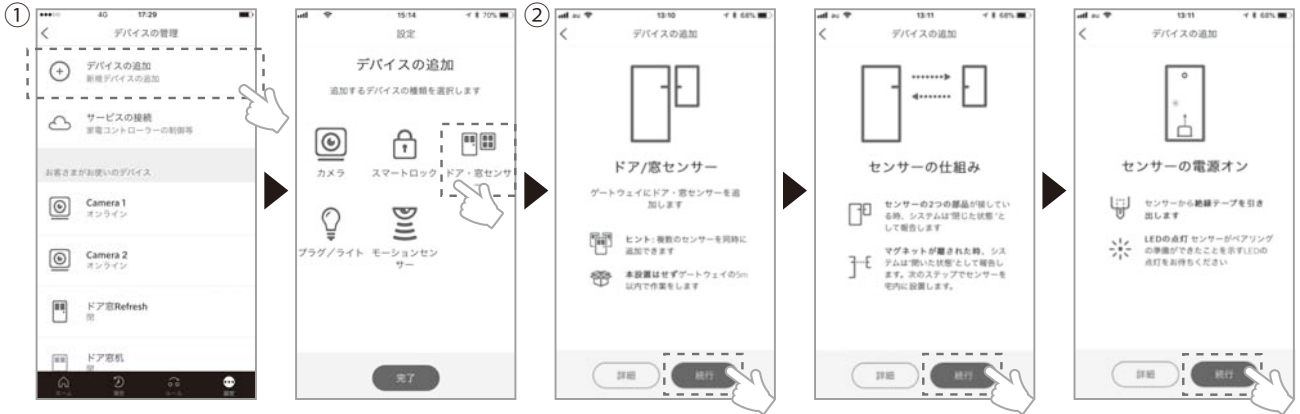
※接続機器の追加、交換、削除を行う場合は、必ず1台の端末から、操作してください。

4-1.各機器のペアリング(追加)

4) ドア窓センサ

ペアリング

- ① アプリを立ち上げ、【設定】→【機器の管理】→【デバイスの追加】→【ドア窓センサ】を続けてタップします。
- ② ドア窓センサに差し込まれている絶縁テープを引き出し、【続行】をタップします。その際、LEDランプが5秒毎に3回点滅することを確認してください。デバイスが読み込まれ、緑色の【✓】が表示されたら完了です。センサとマグネットを近づけたり離したりして、開閉が反応するか確認し、【続行】をタップしてください。
- ③ デバイスの追加完了後、ドア窓センサの名前を設定します。【編集】をタップし、名前を変更したのち、【保存】をタップしてください。



「設定」より「デバイスの追加」をタップします。

ドア窓センサをタップします。

内容を確認し、「続行」をタップします。



デバイスがペアリングされたら、「続行」をタップします。

デバイス追加成功になりますので、「続行」をタップします。

① デバイス名を変更する場合は、「編集」をタップすると、右の設定に続きます。② 変更しない場合は、「デバイスの設置が完了」をタップすると、終了します。

内容を確認し、「続行」をタップします。



内容を確認し、「続行」をタップします。

ドアまたは窓を選択し、デバイス名を入力し、「完了」をタップします。

成功が表示されたら、「続行」をタップすると、ペアリングの完了です。

※デバイスの追加がうまくいかない場合は、一度【機器の管理】画面に戻り、デバイスが追加されていないかご確認ください。
※2分以上経ってもデバイスのスキャンが終わらない場合や、LEDランプが点滅しない場合は、P85 再ペアリングを実施してください。

5) 広域人感センサ/狭域人感センサ

ペアリング

- ①アプリを立ち上げ、【設定】→【機器の管理】→【デバイスの追加】→【モーションセンサー】を続けてタップします。
- ②広域/狭域人感センサの絶縁シートを抜き、「続行」をタップします。デバイスが読み込まれ、緑色の【✓】が表示されたら完了です。【続行】もしくは【戻る】をタップしてください。
- ③デバイスの追加完了後、モーションセンサーの名前を設定します。【編集】をタップし名前を変更したのち、【デバイス名が完了しました】をタップしてください。



「設定」より「デバイスの追加」をタップします。

モーションセンサーをタップします。

内容を確認し、「続行」をタップします。

4. 接続機器を追加・交換・削除する場合

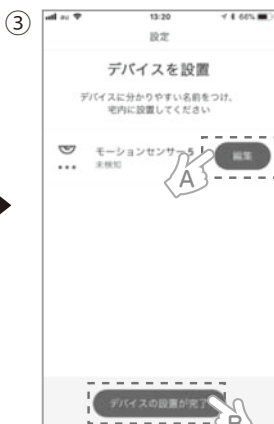
※接続機器の追加、交換、削除を行う場合は、必ず1台の端末から、操作してください。

4-1.各機器のペアリング(追加)

5) 広域人感センサ/狭域人感センサ(つづき)



デバイスがペアリングされたら、「続行」をタップします。



①デバイス名を変更する場合は、「編集」をタップすると、以下設定に続きます。②変更しない場合は、「デバイスの設定が完了」をタップすると、終了します。



内容を確認し、「続行」をタップします。



デバイス名を入力し、「完了」をタップします。



成功が表示されたら、「続行」をタップすると、ペアリングの完了です。

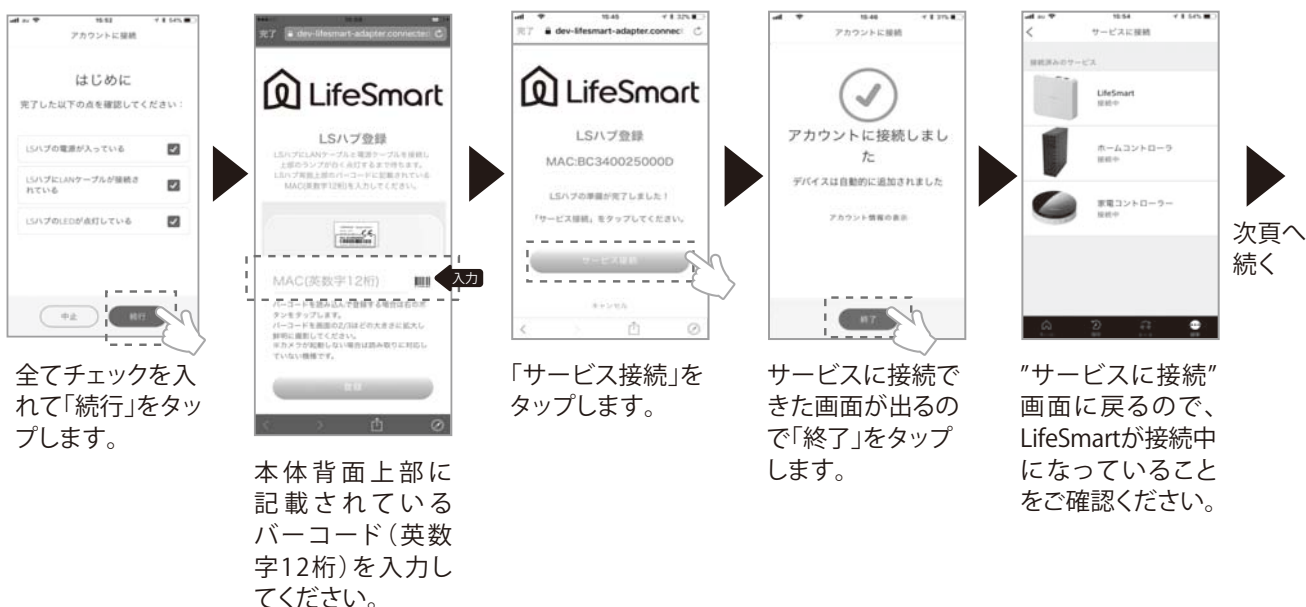
- ※ デバイスの追加がうまくいかない場合は、一度【機器の管理】画面に戻り、デバイスが追加されていないかご確認ください。
- ※ 2分以上経ってもデバイスのスキャンが終わらない場合は、P86 再ペアリングを実施してください。
- ※ 置場所とデバイス名を組み合わせると、センサ通知やルール設定の際に便利です。名前はオンラインモード時はいつでも編集することができます。例「玄関ドアセンサ」

6) 温湿度センサハブ

ペアリング 設置は3-6 ⑦-8)をご参照ください。

- ①電源ケーブルをコンセントに差し込みます。
- ②温湿度センサハブ本体が数十秒ほど点滅しますので、点灯に変わるまで待ちます。
- ③点灯を確認したら、LifeAssistアプリから以下手順で、ペアリングを行います。

温湿度センサハブのペアリング



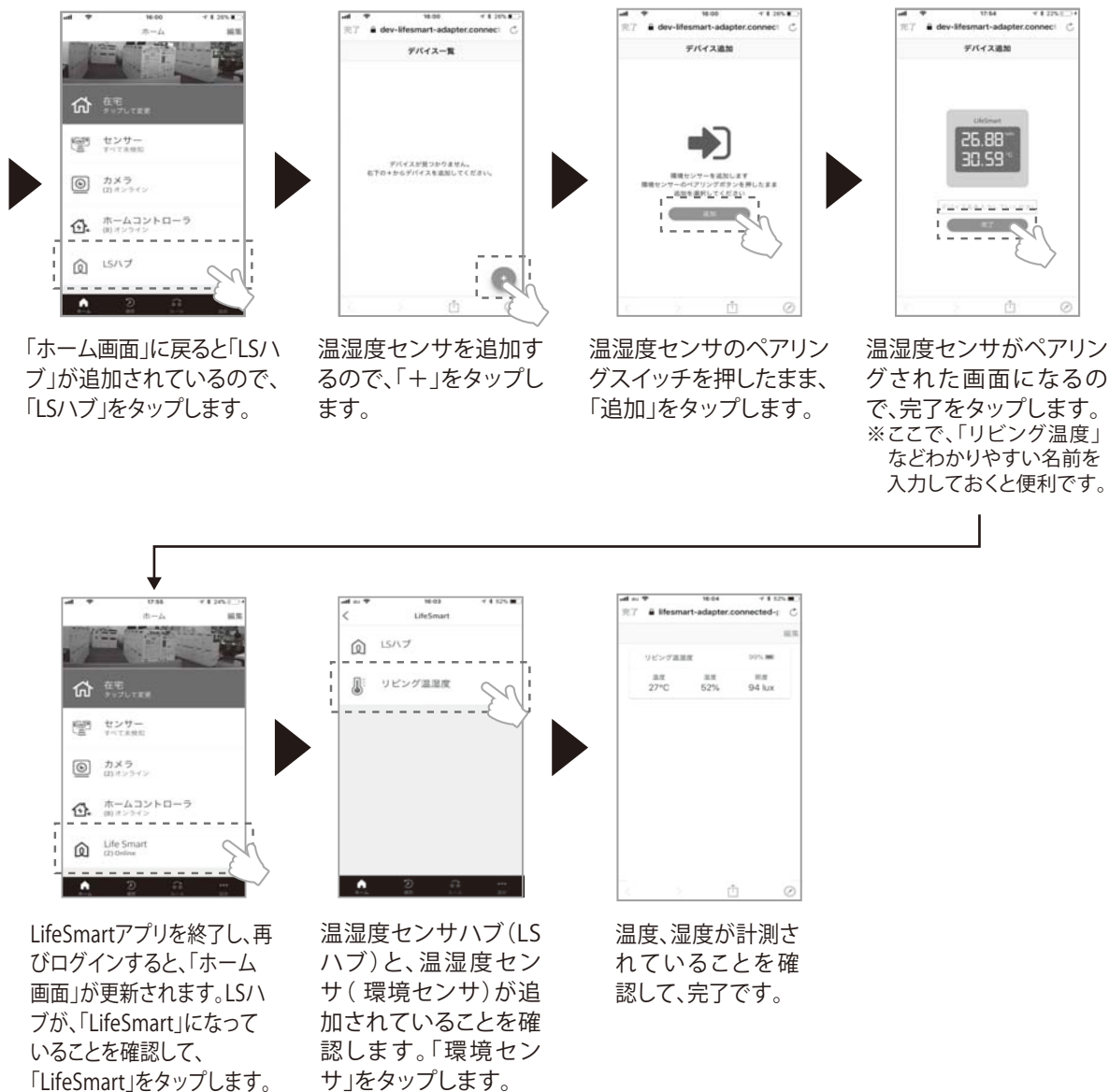
4. 接続機器を追加・交換・削除する場合

※接続機器の追加、交換、削除を行う場合は、必ず1台の端末から、操作してください。

4-1.各機器のペアリング(追加)

7) 温湿度センサ

温湿度センサのペアリング



2機目以降の温湿度センサを追加する場合



「ホーム画面」から「Life Smart」をタップします。



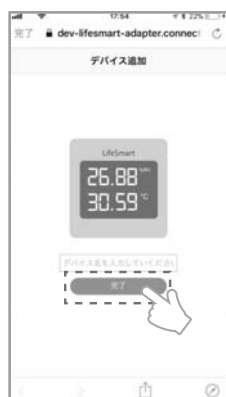
「LSハブ」をタップします。



温湿度センサを追加するので、「+」をタップします。



画面の指示に従い、ペアリングボタンを押したまま、「追加」をタップします。



温湿度センサがペアリングされた画面になるので、完了をタップします。
※ここで、「リビング温度」等わかりやすい名前を入力しておく便利です。

4. 接続機器を追加・交換・削除する場合

※接続機器の追加、交換、削除を行う場合は、必ず1台の端末から、操作してください。

4-2. 機器の削除

屋内カメラ/ドア窓センサ/広域人感センサ/狭域人感センサ

ペアリングの解除

- ①ホーム画面から、【設定】【デバイスの管理】をタップします。
- ②「デバイスの管理」画面になりますので、解除する機器をタップします。(例:Zone 8)
- ③「デバイスの編集」画面になりますので、下部の【デバイスの削除】をタップします。
- ④確認画面になりますので、【削除】をタップします。
- ⑤「デバイス管理」画面で、デバイス(例:Zone8)が解除されたことを確認します。



「ホーム画面」から「設定」をタップします。



「デバイスの管理」をタップします。



「削除する機器」をタップします。



「デバイスの削除」をタップします。



「削除」をタップします。



デバイスが削除されていることを確認して完了です。

温湿度センサハブ/温湿度センサ/ホームコントローラ

ペアリングの解除

- ①ホーム画面から、【設定】【デバイスの管理】をタップします。
- ②「デバイスの管理」画面になりますので、【サービスの接続】をタップします。
- ③「サービスに接続」画面になりますので、切断するサービスをタップします。(例:LifeSmart)
- ④サービス画面になりますので、下部の【切断】をタップ、確認窓が現れるので【OK】をタップします。
- ⑤「サービスに接続」画面で、「接続されたサービス」から解除されたことを確認します。



「ホーム画面」から「設定」をタップします。



「デバイスの管理」をタップします。



「サービスの接続」をタップします。



「デバイスの削除」をタップします。



「OK」をタップします。



接続されたサービスから解除されていることを確認して完了です。

5-1.ECHONET Lite機器との連携について

ビルダー様側工事範囲

The diagram illustrates the builder's side of the IoT home link system. It shows the connection between various LIXIL IoT devices and a central hub (Wi-SUN/Wired LAN) and a gateway (Wi-Fi/Wired LAN).

Builder's Side (ビルダー様側):

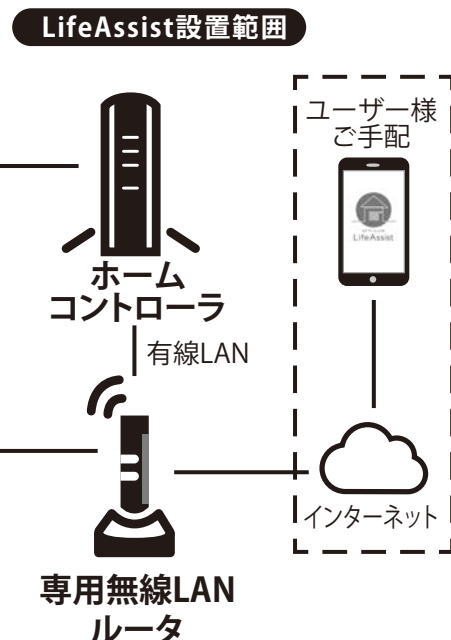
- IoT Home Link Corresponding Shutter Wall Switch (IoTホームリンク対応シャッター用壁スイッチ):** A switch with three buttons (up, down, and a central dot).
- Wi-SUN/Wired LAN:** The central hub for the IoT devices.
- Wi-Fi/Wired LAN:** The gateway for the smart devices.

Devices and Connections:

- (株)LIXIL製 電動シャッター (LIXIL Electric Shutter):** Connected to the Wi-SUN/Wired LAN hub.
- (株)LIXIL製 スマート電動シャッター (LIXIL Smart Electric Shutter):** Connected to the Wi-Fi/Wired LAN gateway.
- (株)LIXIL製 電動シャッター (LIXIL Electric Shutter):** Connected to the Wi-SUN/Wired LAN hub.
- (株)LIXIL製 タイマー付壁スイッチ (LIXIL Timer Wall Switch):** Connected to the Wi-SUN/Wired LAN hub.
- Panasonic (株)製 IP/JEM-Aアダプタ (Panasonic IP/JEM-A Adapter):** Connected to the Wi-Fi/Wired LAN gateway.
- アイホン (株)製 ドアホン (Intercom):** Connected to the Wi-Fi/Wired LAN gateway.
- (株)LIXIL製 電気錠コントローラ (LIXIL Electric Lock Controller):** Connected to the Wi-SUN/Wired LAN hub.
- 専用線 3芯 (Dedicated 3-core Cable):** Connected to the Wi-Fi/Wired LAN gateway.
- Panasonic (株)製 ドアホン (Panasonic Intercom):** Connected to the Wi-Fi/Wired LAN gateway.

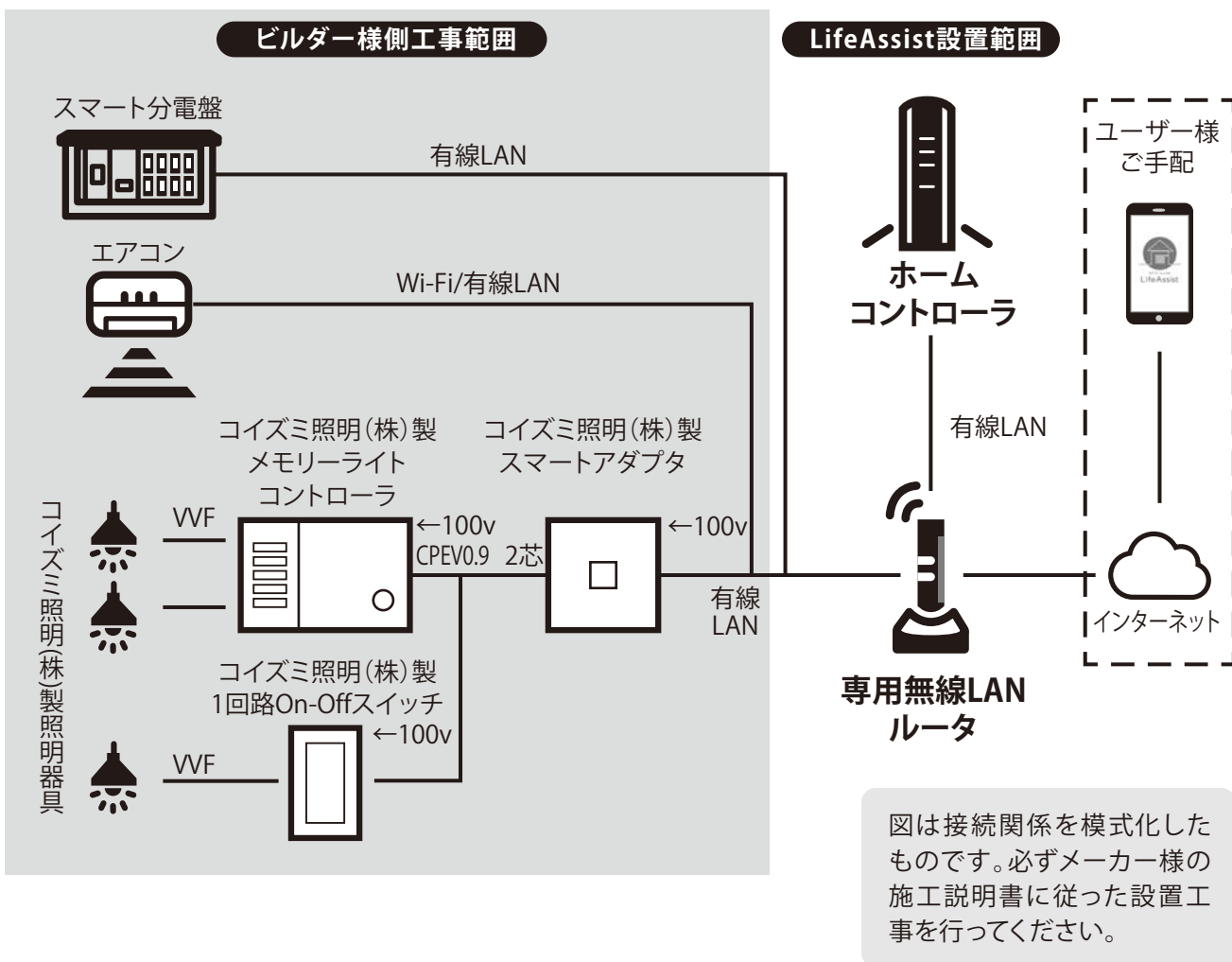
Notes:

- ※有線LANの場合は専用無線LAN/ルータへ接続 (In the case of wired LAN, connect to dedicated wireless LAN/router).



– 81 –

●(株)LIXIL製以外のECHONET Lite対応機器と連携について



●他社ECHONET Lite機器との連携について

連携可能な機器は当社ホームページのホワイトリストよりご選定の上、設置してください。

通信の接続は有線LAN または 無線LAN (Wi-Fi 2.4GHz) となりますので、有線LANの場合はルータと各機器間にLANケーブルを敷設ください。

5-2.ホワイトリストについて

ホワイトリストとは

当社はLifeAssistとの連携動作が確認できた機器(自社製・他社製を含む)を「ホワイトリスト」として当社ホームページで公開します。当社の「ホワイトリスト」は公開日の時点で、LifeAssist製品と連携機器とを双方の通信仕様と実機検証のいずれか、または両方で一定以上の操作・状態情報の取得が確認できた機器を掲載しておりますので、最新のホワイトリストをご確認のうえ、連携機器を選定ください。但し、このリストにより操作・状態情報の取得を保証するものではありません。

(http://www.lixil.co.jp/lineup/solar_roof_outerwall/lifeassist/specification/whitelist/)



6.トラブルシューティング

一般的な通信エラー

ほとんどの通信エラーは一過性で、機器の再起動により解消される可能性が高いため、まずは下記の手順による再起動をお願いいたします。

- ①専用無線LANルータ背面のモードスイッチがAUTOになっていることを確認してください。
- ②ホームコントローラ接続に使用しているユーザー様ルータ・専用ルータまたはケーブルモデムを再起動してください。
- ③ホームコントローラを再起動してください。

なお、再起動後も問題が解決しない場合は、下記のエラーメッセージごとの解決策をご覧ください。
サービス事業者からの指示がない限り、リンクコントローラをリセットしないでください。
リンクコントローラをリセットすると、全て初期化され正常に動作しなくなります。

専用無線LANルータに関するトラブルシューティング

症状	原因 / 解決方法
「INTERNET」ランプが緑色点灯しない。	インターネット回線との通信が途絶えました。 上記、一般的な通信エラー及び、P28 ②インターネット環境の接続に記載されている内容をご確認ください。
アプリから全ての操作・確認ができない。	

ホームコントローラに関するトラブルシューティング

症状	原因 / 解決方法
「POWER」が赤色点滅している。	ホームコントローラ起動時に異常が発生しました。ACアダプタを電源から外し、少ししてから再度ACアダプタを挿して再起動してください。
「SERVER」が緑色点滅している。	インターネットに接続できていません。専用無線LANルータに関するトラブルシューティングの「INTERNETランプが緑色点灯しない。」の項目をご確認ください。
「SERVER」が緑色点滅している。	ホームコントローラがローカルWebモードになっています。インターネットのある環境で使用する場合（通常はこちらです）、ホームコントローラに同梱の「サービスマニュアル（ローカル運用版）」に記載されている「動作モードの設定変更」をご参照の上、クラウドモードに切替えてください。
インターネット環境で、ローカル用USBを挿して起動してしまった。	
「S-METER」が赤色点灯 または 赤点滅している。	スマートメーターとホームコントローラの通信に問題があります。ホームコントローラに同梱されている「ご利用/取扱説明/保証書」に記載の「スマートメーターとの接続」を行ってください。
全てのランプが赤色点灯している。	本体のACアダプタを外してから、ローカル用USBメモリを本体に挿し、再度ACアダプタを挿して起動してください。その後、ホームコントローラに同梱の「サービスマニュアル（ローカル運用版）」に記載されている「動作モードの設定変更」をご参照の上、クラウドモードに切替えてください。
「クラウドモード」と「ローカルWebサーバー」の使い分けがわかりません。	「クラウドモード」はインターネット回線と接続して、外出先などからでもエネルギーの見える化やECHONET Lite機器の操作などが行えます。「ローカルWebサーバー」の場合は、ECHONET Lite機器（エアコン、照明など）の一括操作やスマート分電盤からの電力量計測など一部の機能がご使用になれませんので設置後の動作確認などにお使いください。

リンクコントローラに関するトラブルシューティング

症状	原因 / 解決方法
アプリに「ゲートウェイオフラインシステム障害」と表示されている。	リンクコントローラと専用無線LANルータ間のWi-Fi通信またはインターネット回線が途絶えました。 リンクコントローラの電源、無線LANルータの電源を、入れ直してください。それでも復旧しない場合は、LifeAssistアプリに表示される内容に従ってください。
リンクコントローラのLEDが赤点滅している。	ペアリング済の機器(屋内カメラ・狭域人感センサ・広域人感センサ・ドア窓センサ)にエラー(通信障害・バッテリー低下・タンパ障害)が発生しています。各機器のトラブルシューティングに従いエラー状態を解除してください。
リンクコントローラのLEDが橙色(オレンジ)点灯している。(白点灯に戻らない)	インターネットを経由したサーバーとの通信が途絶えました。以下の手順で回線側に近い機器から順に再起動を行って正常動作することを確認してください。 ①ONU・ユーザー様ルータ：機器のマニュアル等で正常動作をご確認ください。 ②専用無線LANルータ：POWER/WIRELESS/INTERNET/ROUTER LEDが緑色点灯(AP動作時は、ROUTER LEDは消灯) ③ホームコントローラ：POWER/SERVER LEDが緑色点灯 ④リンクコントローラ：LEDが 赤色点灯⇒橙色点灯⇒白色点灯(約5分) 上記電源の入れ直しで復旧しない場合は、“お問い合わせ窓口”へお問い合わせください。

屋内カメラに関するトラブルシューティング

症状	原因 / 解決方法
アプリに「通信障害です」と表示されている。	専用無線LANルータと屋内カメラ間のWi-Fi通信が途絶えました。屋内カメラのACアダプタを電源から抜き差しし、再起動後、電源/Wi-Fiランプが点滅から点灯の状態に変わるまでしばらくお待ちください。(約5分)。

ドア窓センサに関するトラブルシューティング

症状	原因 / 解決方法
アプリに「タンパ障害です」と表示されている。	ドア窓センサの電池カバーが開いています。 電池カバーを閉めてください。
アプリに「通信障害です」と表示されている。	リンクコントローラとドア窓センサの通信が途絶えました。ドア窓センサの電池の交換または 取付位置の見直しを行ってください。 本紙、「3-6. V 機器の設置・接続」の「5）ドア窓センサ」をご覧ください。
アプリに「バッテリー低下」と表示されている。	電池が消耗しています。ドア窓センサの電池を交換してください。 本紙、「3-6. V 機器の設置・接続」の「5）ドア窓センサ」をご覧ください。

6.トラブルシューティング

モーションセンサ(広域人感センサ・狭域人感センサ)に関するトラブルシューティング

症状	原因 / 解決方法
アプリに「タンパ障害です」と表示されている。	モーションセンサの電池カバーが開いています。 電池カバーを閉めてください。
アプリに「通信障害です」と表示されている。	リンクコントローラとモーションセンサの通信が途絶えました。モーションセンサの電池の交換または取付位置の見直しを行ってください。 本紙「3-6. V機器の設置・接続」の「6) 広域人感センサ」7) 狭域人感センサ」をご覧ください。
アプリに「バッテリー低下」と表示されている。	電池が消耗しています。モーションセンサの電池を交換してください。 本紙「3-6. V機器の設置・接続」の「6) 広域人感センサ」7) 狭域人感センサ」をご覧ください。
広域人感センサが子供やペットの動きに反応しない。	広域モーションセンサは、お子様やペットなどには反応しない場合があります。(目安体重38kg以上で反応する仕様です。)

連携可能機器(ECHONET Lite機器を含む)に関するトラブルシューティング

症状	原因 / 解決方法
ECHONET Lite機器との接続方法が分かりません。	本紙「1-6. システム構成と接続」および「5-1. ECHONET Lite機器との連携について」をご参照ください。機器の設置に電気工事が発生する場合は、電気工事店様にご相談ください。
スマート分電盤の選定方法が分かりません。	ホワイトリストに掲載のメーカー・シリーズ品から、主幹ブレーカ・分岐回路数・リミッタスペースの有無などの条件を元に選定ください。 詳細は各分電盤メーカー様にご確認ください。
スマート分電盤が無い場合は電力量の確認はできませんか？	スマートメーターが設置されている場合は確認ができます。スマートメーターとの通信にはご契約の電力会社様へのお申込みが必要です。 お申込みに関しては電力会社様にご確認ください。
水道・ガスの計測機器の選定・接続方法が分かりません。	ホワイトリストに掲載のメーカー様の仕様によりしますので、ご採用のメーカー様にご確認ください。
ECHONET Lite対応機器(エアコン・照明など)を設置しているが、アプリに表示されません。	接続後、最短5分程度の時間が掛かりますが、多数の機器を接続している場合は更に時間が掛かる事があります。しばらく待っても表示されない場合は、 ① ホワイトリストに掲載されている機器かご確認ください。本紙「5-2. ホワイトリストについて」をご参照ください。 ② ECHONET Lite機器が専用無線LANルータに接続(Wi-Fiの場合はペアリング)がされているかご確認ください。 ③ ECHONET Lite機器の初期設定が完了しているかご確認ください。
ECHONET Lite対応機器がアプリから操作できなくなりました。	機器の異常や停電後などにより、機器がエラー状態になっている可能性があります。機器の説明書に従って復旧操作を行ってください。

システム全般(FAQ含む)

症状	原因 / 解決方法
アプリで複数の電動シャッターなどの一括操作は可能ですか？	LifeAssistアプリのホームコントローラメニューから一括操作する機器を設定して操作する事が可能です。
インターネット接続は必要ですか？	インターネットとの接続が無い場合、ホームコントローラでの限られた機能しかご使用になれません。インターネット接続を推奨します。

システム全般 (FAQ含む) 続き

症状	原因 / 解決方法
インターネットについて、ケーブルTVや、ADSLではだめなどの制限はありますか？	インターネットの回線種別については、特に制限がありませんが、光回線など有線で接続された回線で、通信速度は下り30Mbps、上り3Mbps以上をご準備下さい。
スマートスピーカーでECHONET Lite機器を操作する場合、リンクコントローラは必要ですか？	リンクコントローラで“IFTTT”の機能を利用して操作しますので、必要になります。
スマートスピーカーを使用して、複数の電動シャッターの一括操作は可能ですか？	リンクコントローラで“IFTTT”の機能を利用して、一括操作することが可能です。
センサやカメラを使用しなければ、リンクコントローラは不要ですか？	屋内カメラ、狭域人感センサ、広域人感センサ、温湿度センサ(ハブ)、スマートスピーカーなどIFTTTとの連携を行わない場合は不要です。
温湿度センサハブ 1つで、複数の温湿度センサに対応できますか？	ハブ 1つで、温湿度センサ16個まで対応可能です。
太陽光発電の出力制御はできますか？	LifeAssistシステムでは、太陽光発電の出力制御は、できません。出力制御対応のパワコン等で行ってください。

再ペアリング

機器の動作に不具合があった場合、以下の方法で機器の再起動を行ってください。再起動後は改めてペアリングを行ってください。

機器の接続は **3-6 ④** をご覧ください。

リンクコントローラ

リンクコントローラをコンセントから抜き差ししてください。

屋内カメラ

- ①カメラの裏のリセットボタンを15秒長押しします。
- ②カメラ前面に赤ランプが点灯し、一度消灯してから再度点灯するのを確認します。

ドア窓センサ

- ①電池を外す。
- ②スイッチを押しながら電池を挿入。
- ③LEDが点滅したらスイッチから手を離し、本体カバーを装着。

広域人感センサ

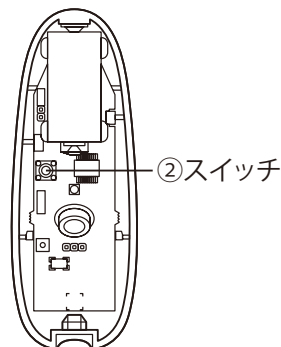
- ①電池を外してください。
- ②スイッチ(蓋を開けていただき、電池BOXの横にある黒いスイッチです)を押しながら電池 2 本のうち 1 本を入れ、4 秒以内にタンパースイッチを離すことで、全て初期化されます。

狭域人感センサ

- ①電池を外します。
- ②スイッチを押しながら電池を挿入します。
- ③RFモジュールLEDが点滅したらスイッチから手を離し、4秒以内に再度スイッチを押し、本体カバーを装着したら完了です。

温湿度センサハブ/温湿度センサ

- ①リセットボタンを押下。
 - ②本体正面のLEDが点滅することを確認。
- 機器固定用両面テープ、3M製VHBタイプよりご選定ください。



7. IoTホームリンクサービス「Life Assist」利用規約

株式会社L I X I L（以下「当社」といいます）は、当社の提供するIoT ホームリンクサービス（以下「本サービス」といいます）および本サービス利用アプリ「Life Assist」（以下「本アプリ」といいます）に関し、これらを利用する方（以下「利用者」といいます）に対し下記のとおり利用規約（以下「本規約」といいます）を定めます。

第1条 総則

1. 本規約は、当社が利用者に提供する本サービスおよび本アプリ（以下本サービスと本アプリを総称して「本サービス等」といいます）の利用に関し利用者が遵守すべき事項を定めるものです。
2. 利用者は、本サービス等の利用について、本規約に同意いただく必要があります。
3. 当社は、本サービスに関するWEBサイト（以下「本サイト」といいます）上に掲載することにより、本サービス等の利用上の細則を定めることがあります。この場合、本サイトに掲載された内容も本規約の一部を構成するものとします。
4. 本規約は、当社の都合により改定されることがあります。
5. 前項の場合、当社は本サービスのWEBサイト上または当社が別に定める方法にて利用者に事前に告知するものとし、告知後に利用者が本サービス等を利用した場合は本規約の改定に同意したものとみなします。
6. 前項にかかわらず、緊急を要する場合その他当社が必要と判断した場合、事前の告知を行わずに本規約の改定を行うことがあります。

第2条 本サービスの目的

本サービスは、家庭内の電気・熱・水・ガスなどのエネルギー消費量を可視化し管理することで、節電喚起や機器のコントロールによる省エネ、創エネ、蓄エネについて、最適化を図ることができます。また、利用者の端末で本アプリを操作することにより、インターネット回線を経由して住宅に設置した機器を遠隔でコントロールできるホーム・コントロール及びホーム・モニタリング型サービスが含まれます。これらにより、最適な機器の導入、サービスの選択、機器や人の見守りその他のサービスとの連携により、家庭内の利便性の向上を図ることを目的とします。

第3条 本サービスの利用方法

1. IoT ホームリンク「Life Assist」サービスの管理システムの構成機器（以下「IoT 機器」といいます）を通じて収集した計測データを、利用者が維持・管理するインターネット回線（以下「利用者回線」といいます）を通じて当社が契約している「Life Assist」サーバ（以下「本サーバ」といいます）に蓄積します。
2. 利用者が本サービス等を利用するためには、利用者の負担でIoT 機器の設置が必要となります。
3. 本サービス等を利用するための本サイトおよび本サーバへの接続は、利用者が自己の費用で利用者回線を通じて行うものとします。
4. 利用者は必要に応じて本アプリを通じて、IoT 機器に関する本サーバ内のデータを閲覧でき、また、本サービスに接続された電子機器を操作できます。
5. 前項までの規定にかかわらず、本サービスの利用方法は変更される場合があります。

第4条 本サービス等の利用環境等

1. 利用者が本サービス等を利用するためには、原則としてインターネットに常時接続できる環境が必要です。ただし、一部のサービスはこの限りではありません。
2. 利用者は利用者の使用するスマートフォンまたはタブレット端末機器等の性能、通信環境等により本サービス等のレスポンスが変化する場合があることを予め承諾するものとします。
3. 利用者の環境によりIoT 機器の設置ができない場合、本サービス等は利用できません。
4. 利用者は、取扱説明書、操作マニュアル等に従い本サービス等を利用するものとします。

第5条 本サービス等の種類

1. 本サービス等には、以下の種類の機能が含まれます。
 - (1) 電力・水道・ガス使用量の計測（計測には対応分電盤機器の導入が必要です）などエネルギーマネジメントに関するサービス
 - (2) 太陽発電システムの発電量異常や水道未使用時、電力消費量の目標値超過時のお知らせ機能
 - (3) 建材設備や家電機器のホーム・コントロール
 - (4) センサ・カメラ等によるホーム・モニタリング
 - (5) その他、利用者の暮らしの利便性を向上するサービスで、当社が設定したもの
2. 当社は、本サービス等の種類、接続可能な機器類及び建材等について、随時、追加、変更等を行います。

第6条 本サービス等の利用資格

1. 利用者は、本アプリを起動したうえ、必要事項を登録し、本規約の内容に同意の上、本サービス等の利用申し込みを行うものとします。本サービス等の申し込みが完了し、当社が承諾した時点をもって、当社と利用者の間に、本サービス等の利用契約（以下「本利用契約」といいます）が成立するものとします。ただし、本サービス等のうち有償のサービスを利用する場合には、申込完了に加え、利用料金の支払いに関する決済方法の確認が完了し、当社が承諾した時点をもって、本利用契約が成立するものとします。
2. 利用者は、本利用契約成立時より、本サービス等を利用することができます。
3. 当社は利用者に対し本サービス等を利用するために必要な識別符号（以下「お客様ID」といいます）およびログインパスワードを付与のうえ、その内容を当社が別途定める方法により通知します。
4. 本利用契約が終了した場合または利用者が本サービス等の利用資格を失った場合であって、再度利用者が本サービス等の利用を希望する場合には、第1項に従い、再度利用契約を締結する必要があります。

第7条 お客様IDおよびログインパスワードの管理

利用者は、自己の責任においてお客様IDおよびログインパスワードを管理するものとします。

第8条 お客様IDおよびログインパスワードの使用責任等

1. 利用者は、お客様IDおよびログインパスワードの使用に起因して起こるすべての事象に対して全責任を負うものとし、当社は、お客様IDの使用（第三者による不正または誤使用を含む）に起因して利用者に損害が生じていかなる責任も負いません。
2. 利用者は、自己の責任において、お客様IDおよびログインパスワードを第三者に利用させることができます。この場合において、利用者は、当該第三者に対し、本規約に基づき利用者が負うべき義務を負わせるものとし、当該第三者の行為はすべて利用者の行為とみなされるものとします。
3. 前項にかかわらず、利用者は、幼児、年少者その他本アプリの正確かつ安全な操作が期待できない者に対しては本アプリを操作させないものとします。
4. お客様IDおよびログインパスワードの使用（第三者による不正または誤使用を含む）に起因して当社に損害が発生した場合、当社は利用者に対し当該損害の賠償を請求できるものとします。
5. 利用者がお客様IDの不正使用を知り得た場合は、直ちに当社が指定する方法に基づき、当社にその旨を通知するものとします。
6. 利用者は、第三者に対し、本利用契約上の地位及びこれに付随する権利の全部又は一部について譲渡、売買、名義変更、質権の設定その他担保に供する等の行為をできないものとします。
7. 利用者の死亡その他の事由により利用者が本サービスの利用資格を失った場合、当社は当該利用者のお客様IDの利用を停止することができるものとします。

第9条 利用期間

1. 本利用契約の有効期間は1か月間とします。ただし、当該有効期間が満了する前において利用期間を解約する旨の申し出がない限り、自動的に1か月間更新するものとし、以後同様とします。
2. 利用者は本利用契約に基づく本サービス等の提供を受けることを一時停止することはできません。

第10条 業務の委託

利用者は、当社が本サービス等の運営にあたって当社の定める指定業者に運営業務の全部または一部を委託することを予め承諾します。

第11条 本サービス等の利用料金および支払方法

1. 本サービス等は、一部（次項に定める）を除き、無償で利用いただけます。
2. 本サービス等のうち「リンクコントローラ」の利用については、当社が別途定める本サービス利用料金に消費税相当額を加算した額をお支払いいただきます。
3. 本サービス等の利用にあたってはIoT 機器代金およびその保守に要する費用が発生し、これらは全て利用者が負担するものとします。
4. 第2項に定める利用料金は当社指定の方法で支払期日までにお支払いいただくものとします。また、支払いに必要な手数料その他の費用は、すべて利用者が負担するものとします。
5. 本サービス等の利用料金は、本利用契約が成立した日が属する月の翌月から発生します。

6. 利用者が本サービス利用料金の支払を一部でも遅延した場合、年 14.6%による遅延損害金を加算してお支払いいただくものとします。

第 1 2 条 利用契約の申込みの拒絶および利用資格の取消等

1. 利用者が以下各号のいずれかに該当する場合、当社は、本利用契約の申し込みを承諾しない場合があります。
- (1) 本サービスの利用料金その他当社に対する債務の支払を現に怠り、又は怠るおそれがあると当社が判断した場合
 - (2) 本サービス等の申し込みの際の記入事項に虚偽の記載があることが判明した場合
 - (3) 利用者が未成年者であり、法定代理人の同意を得ていない場合
 - (4) 利用者が暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業・団体、総会屋、社会活動標榜ゴロ、政治活動標榜ゴロ等その他これらに準ずる者である場合又はこれらの者と関係を有する場合
 - (5) 過去に当社が本利用契約の申し込みの拒絶または解除を行ったことがある場合
 - (6) その他、当社が本サービス等の利用について不適当と判断する場合
2. 利用者が以下各号のいずれかの事由に該当した場合には、当社の判断により本利用契約の解除、または本サービス等の提供を中止することがあります。
- (1) 前項各号のいずれかに該当した場合
 - (2) 当社に対する金銭債務の支払いを一部でも怠った場合
 - (3) お客様 ID またはログインパスワードを不正に使用した場合
 - (4) 当社が本サービス等で提供した情報を不正に使用した場合
 - (5) 第 18 条に定める禁止事項のほか、本規約に違反する行為があった場合
 - (6) その他、当社が本サービス等の利用について不適当と判断した場合
3. 当社は、前項の規定により本利用契約の解除または本サービス等の提供の中止を行う場合、利用者にもその旨を通知します。
4. 当社が、当社および利用者その他の第三者に損害を与える危険があると判断した場合には、当社の裁量により、当該利用者に対し、何ら通知することなく、かつその理由を開示することなく、本サービス等の提供を一時停止するか、または本利用契約を解除することができるものとします。
5. 本利用契約が終了した場合（終了事由を問いません）または当社が本サービスの提供を中止した場合、当該利用者は、これと同時にお客様 ID およびログインパスワードの利用資格も喪失するものとします。
6. 当社は、本利用契約が終了した場合（終了事由を問いません）、利用期間中に送信されたデータおよび IoT 機器から送信されるデータの保持・保管はこれを保証致しません。
7. 当社が本利用契約を解除した場合において、利用者が当社に対して支払うべき債務を負っている場合、当該債務の全てについて当然に期限の利益を失い、直ちに当社に対して全ての債務を支払うものとします。

第 1 3 条 保証の否認

1. 当社は、本アプリその他本サービス等に関し利用者に提供する本サービスの内容及び当社が提供する情報につき、以下の事項の保証を行うものではありません。
- (1) 本サービス等の内容が利用者の要求に合致すること、または有益であること
 - (2) 本サービス等が中断、中止、廃止されないこと
 - (3) 本サービス等がタイムリーに提供されること
 - (4) 本サービス等が安全であること
 - (5) 本サービス等においていかなるエラー（本アプリのバグを含む）も発生しないこと
 - (6) 本サービス等においていかなる瑕疵もないこと
 - (7) 利用者が本サービス等を通じて取得する情報が正確であること
 - (8) 利用者が本サービス等を利用して行った行為が利用者の特定の目的に適合すること
 - (9) 本サービス等を通じて利用者が登録する利用者情報が消失しないこと
2. 利用者は、利用者自身の責任において本サービス等を利用するものとし、利用者は、本サービス等の機能の利用に起因または関連して、利用者のコンピューター等の通信機器およびデータその他本サービスに接続された電子機器等に発生した損害について、自ら責任を負うものとし、当社は一切の責任を負わないものとします。
3. 当社は、利用者が本サービス等の機能を利用して購入した商品・サービスや取引に関していかなる保証もいたしません。
4. 本サービス等によって得られる計測数値および料金表示については、他社 IoT 機器および電力会社から提示される数値と完全に一致するものであることを保証いたしません。

第 1 4 条 免責

1. 当社は、以下の各号に該当する場合は本サービス等の提供に関し責任を負いません。
- (1) 利用者回線・無線 LAN 環境、その他の通信回線等の都合で本サーバ（本サービスの提供のため当社が設置したサーバをいいます。以下同じ。）への接続が中断した場合
 - (2) 当社の責に帰すべき事由によらず、本サービス等の利用に起因して利用者が被った損害（本サービスに接続された電子機器の不具合、異常に起因して生じた損害、情報等が破損または滅失したことによる損害、および利用者が本サービス等から得た情報等を利用した結果生じた損害を含みますがそれらに限定されません）
 - (3) 当社が相当の安全対策を講じたにもかかわらず、本サーバに保存されている設定情報の欠落、滅失があった場合
2. 本サービスは、太陽光発電システムのすべての故障・異常の検知を保証するものではありません。また、点検により故障・異常が確認された太陽光発電システム機器の修理及び保証については、各機器の保証規約等に準拠します。修理・機器交換に関わる費用を補償するものではありません。
3. 本サービスのうち、人感センサやカメラ等は、利用者ご自身により住居、施設内の状況を確認することを目的とした製品であり、住居、施設の防犯、警備及び子ども、高齢者の監視などのための専用品ではありません。また、機器の性能及び機能上、死角が生じる場合、センサが反応しない場合等があります。
4. 本サービスの利用中に生じた侵入、盗難その他の事件・事故の発生および生命、身体、財産に生じた損害などについて、当社は責任を負いません。

第 1 5 条 責任

1. 当社の故意または過失に基づき利用者に損害が生じた場合（債務不履行、不法行為その他請求原因を問いません）、当社は、利用者に現実生じた、直接かつ通常の損害に限り賠償するものとします。ただし、当社に故意または重大な過失がない限り、当社が当該利用者から過去 1 年間の間に受領した本サービス等の利用料金の総額を賠償額の上限とします。また、本規約において別段の定めがある場合を除きます。
2. 当社は当社が本規約の定めに従って実施した行為の結果発生した損害、使用機会の逸失、本サービスの提供の中止・本利用契約の解除の結果発生した損害、データの滅失、業務の中断、または前項に定める損害を除くあらゆる種類の損害（間接損害、特別損害、派生損害、逸失利益を含む）に対してたとえ当社がかかる損害の可能性を事前に通知されていたとしてもいかなる責任も負いません。

第 1 6 条 著作物

本サイトおよび本アプリ上の画像を含めた本サービス等により提供されるテキスト情報およびデジタル情報は、すべて当社の著作物です。

第 1 7 条 利用者に関する情報の利用

1. 当社は、利用者が本サービスの申し込み時に当社に提供した情報、本サービス等を利用するに際して当社が収集した個人情報（以下「個人情報」といいます）を以下の目的のために使用することができるものとします。
- (1) 本サービス等の提供
 - (2) アンケートおよび新商品・サービスの紹介等のための電話・電子メール・ダイレクトメール等による情報発信
 - (3) IoT データ活用サービス
 - (4) 本サービスのアフターサービス、メンテナンス
 - (5) 本サービスおよび当社製品の改良
 - (6) 本サービスその他当社のサービスについて満足度の調査
2. 当社は、個人情報を、以下の目的のために第三者に提供することがあります。
- (1) 本サービスを提供するため、第三者に業務を委託する場合
 - (2) IoT データ活用サービスを提供する場合、第三者となるサービス事業者に個人情報を提供する場合
3. 前 2 項のほか、利用者が当社に提供した情報、データ等について、利用者個人を特定できない形態において利用または第三者に提供することがあります。
4. 本条に定めるほか、当社は個人情報の取り扱いに関して当社ウェブサイトに掲載する「プライバシーポリシー」に従い取り扱うものとします。
(<http://www.lilix.co.jp/privacy/>)

7. IoTホームリンクサービス「Life Assist」利用規約

第18条 禁止事項

当社は、利用者が以下の各号の行為を行うことを禁止します。

- (1) 本サービス等により提供される情報について、その全部または一部を問わず、本サービスの目的以外に使用する行為
- (2) IoT機器を設置時の状態から変更する行為
- (3) 本サービスの内容調査、分析、解析、情報取得その他本サービスの本来の利用目的以外の目的に利用する行為
- (4) 本サービスとして提供するプログラム、ソフトウェア等を複製、改変、編集し、又はリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、解読もしくはソースコードの発見を試みる行為
- (5) 本サーバその他当社のコンピュータに不正にアクセスする行為
- (6) 本サーバに有害なコンピュータプログラム等を送信し、又は第三者が受信可能な状態に置く行為
- (7) 本サーバまたは本サイトに過度な負荷をかける行為
- (8) 第三者のお客様IDもしくはログインパスワードを使用する行為
- (9) 当社（当社の子会社及び関係会社を含む。以下本条において同じ）その他第三者の財産、信用、名誉、プライバシーを侵害する行為
- (10) 当社の著作権その他の知的財産権その他の権利を侵害する行為
- (11) 前2号に掲げるもののほか、他人の権利又は法的に保護される利益を侵害する行為
- (12) 法令又は公序良俗に違反する行為
- (13) 本規約、取扱説明書、操作マニュアル等に違反する行為
- (14) 本サービスの運営を妨げる行為
- (15) その他、当社が不適当と判断する行為

第19条 利用者の責任

利用者は、自己が前条各号のいずれかに該当したこと、その他利用者の責に帰すべき事由により当社に生じた損失、損害を賠償する責を負うものとします。

第20条 本サービス等の一時的な中断

1. 当社は、本サービス等を提供するための設備（サーバ、通信回線等を含む）及び本サイト、本アプリの保守、点検、修理、更新作業等のため、一時的に本サービスの提供を停止又は中止する場合があります。この場合、当社は利用者に対し、事前に通知又は公表するものとします。
2. 前項にかかわらず、当社は、以下の事由の何れかに該当する場合、利用者に事前に通知又は公表することなく、一時的に本サービス等の提供を中断することがあります。
 - (1) 本サービス等を提供するためのシステムの保守、点検、修理などを緊急に行う必要がある場合
 - (2) 地震、落雷、火災その他の不可抗力、停電、通信回線の途絶、その他本サービス等を提供するためのシステムの不具合によりサービスの提供ができなくなった場合
 - (3) その他、運用上または技術上、本サービス等の一時的な中断を必要とした場合
3. 当社は、本サービス等の中断により利用者に損害が発生した場合でも利用者に対し一切の責任を負わないものとします。

第21条 本サービス等の変更・廃止

1. 当社は、当社が必要と判断した場合、当社が相当と判断する期間をもって、利用者に対し事前に通知または公表したうえ、本サービス等の内容の全部または一部について変更または廃止することができるものとします。
2. 前項にかかわらず、本サービス等の内容を緊急に変更または廃止する必要があると当社が判断した場合、当社は、事前の通知または公表なしに本サービス等の内容を変更または廃止することができるものとし、利用者はこれをあらかじめ承諾するものとします。
3. 前2項に基づく措置により利用者に不利益または損害が発生した場合でも当社は一切その責任を負わないものとします。
4. 当社は、最低30日間の予告期間において本サービス等の全部を停止または廃止することができるものとします。本サービス等の停止または廃止の告知は、本サイトまたは本アプリその他当社が適切と判断する方法で行うものとし、当社が告知手続きを行った後に本サービス等を停止または廃止した場合には、当社は、一切の損害賠償等の責を負わないものとします。

第22条 届出事項の変更

1. 利用者は、その氏名、住所その他本サービスの利用申し込み時に当社に提供した情報に変更があったときは、速やかに当社の指定する方法によりその旨を当社に届け出るものとします。

2. 利用者が前項の届け出を怠ったこと、または誤った届出をしたことにより利用者に生じた不利益又は損害について、当社は一切その責任を負いません。
3. 利用者の住所の変更に伴い、IoT機器の撤去と設置を当社に依頼する場合、当社は有償で行うものとします。

第23条 本利用契約の解約

1. 利用者は、当社が別途定める方法により当社に通知することにより、本利用契約を将来に向かって解約することができます。なお、解約日は、当社が利用者からの通知を受領した日の属する月の末日とします。
2. 利用者は本利用契約の解約後、本サービス等および本サービスが提供する情報を一切利用することはできません。
3. 本サービス等の解約時にIoT機器の撤去工事を希望され、当社に対して依頼される場合は有償となります。撤去工事の実施有無は、利用者のご希望によります。

第24条 反社会的勢力の排除

1. 利用者は本サービスの利用申込時及び本利用契約締結後において、自らが暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業・団体、総会屋、社会活動標榜ゴロ、政治活動標榜ゴロ等その他これらに準ずる者に該当しないことおよびこれらの者と関係を有していないことを表明し、保証するものとします。
2. 利用者が前項に該当すると当社が判断した場合、当社は、会員に対する何らの通知および催告なく、本利用契約の解除を行うことができるものとします。また、これにより、当該利用者に生じた不利益及び損害について、当社は一切の責任を負いません。
3. 当社は、利用者が本条に違反したことにより被った損害を利用者に請求できるものとします。
4. 第12条第7項の規定は本条第2項の場合に準用します。

第25条 準拠法

当社と利用者との本利用契約および本規約に関する準拠法はすべて日本法が適用されるものとします。

第26条 合意管轄裁判所

当社と利用者との本利用契約または本規約から生じるまたは関連するいかなる訴訟および訴訟手続きについては、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第27条 補完

1. 本規約のいずれかの規定が裁判所によって法律に違反していると判断された場合には、効力のあるその他の残りの条項をもって当社の意向をできる限り反映するように解釈することとします。
2. 本条項のいずれかの条項が無効または実施できないと判断された場合には、それらの条項の有効または実施できる部分および本規約の残りの条項は、引続き有効かつ実施できるものとします。
3. 当社は、本サービス等に関する事業を第三者に譲渡する場合、最低30日間の予告期間において、事前に利用者に本サイトまたは本アプリその他当社が定める方法により告知した上、本規約に基づくすべての当社の権利および義務を承継、売却、合併、その他の方法で譲渡できるものとします。また、この場合において、利用者は当社がかかる権利および義務を譲り受ける者に利用者情報、追加情報の開示をすることを了承するものとします。

<サービス利用料金>

IoT ホームリンク「Life Assist」

月額 1,980 円 (税別)

<問い合わせ先>

株式会社 LIXIL

フリーダイヤル 0120 - 69 - 4633

<本規約の制定>

2018年4月1日

8. 保証とアフターサービス(よくお読みください)

■保証書について

- 保証書は、取扱販売店より所定事項を記入の上、お渡し致します。
保証書は、大切に保管してください。
- 保証期間中の修理については、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理について

- 保証期間経過後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

■修理を依頼される前に

- 修理を依頼される前に、本書の「6.トラブルシューティング」にしたがってご確認ください。

■アフターサービスについて

- アフターサービスについては、お買い上げの販売店・施工店へお問い合わせください。
保証規定にもとづき対応させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、設置いただいたお店やお買い上げの販売店、もしくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせの際にお客様から頂いた個人情報、お客様への回答に使用させていただき、他の目的には使用いたしません。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

Life Assist商品のご購入・使い方などのご相談は、Life Assistお問い合わせ窓口まで

TEL. ☎ 0120-694-614

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

保証規定

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無償修理を行うことをお約束するものです。
保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お買い上げの販売店修理を依頼してください。

■対象商品

本書の商品名にチェックと数量が記入されている商品。但し、当社が販売・供給した機器に限定するものとし、それ以外
は保証の対象外となります。

■保証内容

取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正な使用状態で、保証期間内に発生した不具合につ
ては、下記に例示する免責事項を除き、無償修理致します。

■保証期間

当該商品のお引き渡し日から起算して12ヶ月間

■免責事項

次の免責事項に該当する場合は、いかなる場合においても本書による保証対象外とし、当社は責任を負いませんのでご了承ください。

- (1) 取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱、不適切な洗浄・清掃及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合。
- (2) 取扱い説明書およびカタログに指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障および損傷。
- (3) 経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。ヒビ割れ、変色、ネジの緩みなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）または、これらに伴う不具合、および電池などの消耗品の損傷や故障。
- (4) 自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合。
- (5) 環境が特に悪い場所に取り付けられたことに起因する不具合。
- (6) 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、誘電雷、火災、津波、噴火、低温による凍害、地盤変動、土砂崩れ、電磁環境両立性の不調和等周辺環境の変化など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- (7) 戦争、暴動、火災、爆発、投石など故意又は偶然且つ外来の事故が発生した場合の不具合。
- (8) 犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
- (9) 不当な修理や加工、改造（必要部品の取り外し含む）に起因する不具合。
- (10) 販売店及び当社指定の工事店または所有者が採用したり、又は、採用させた材料、部品、機器、設置工事方法等で、当社が事前に承諾していないものに起因する場合。
- (11) 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- (12) 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。
- (13) 引き渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。
- (14) 購入後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
- (15) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
- (16) 機器に表示してある以外の使用電源（電圧・周波数）で使用した場合の不具合。
- (17) 配線部材の選定不適切など、設置業者の過失に伴う故障及び損傷。
- (18) 系統連系している商用電源ノイズ、電圧変動等電源品質等に起因する場合。
- (19) 電気事業法に定める所有者の性能維持義務を怠った事に起因する場合。

■保証期間内でも次に該当する場合は、別途修理費用を請求させていただきます。

- (1) 本書の提示がない場合。
- (2) 本書の所定事項の未記入、判読不能あるいは字句を書き換えられた場合。
- (3) 使用上の誤り又は不当な修理や改造による異常や損傷。
- (4) 消耗品が損耗し取り替えを要する場合。
- (5) 本書の免責事項に該当する場合で、お客様が当社に修理を要望される場合。

■その他注意事項

- (1) 本書は日本国内において販売され、使用される構成機器にのみ有効です。
- (2) 本保証が適用される修理品又は代替品の設置につきましては本書記載の販売店にお問い合わせ下さい。
- (3) 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて製品保証を約束するものです。本書によって販売店及び当社指定の工事店または所有者の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきまして、疑問が生じた場合は本書記載の販売店、又は株式会社L I X I Lへお問合せ下さい。
- (4) お客様がご購入された製品について、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
- (5) 本製品の仕様および不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断および事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等）につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- (6) 本システムは、ご利用者様自身が施設内の状況を確認するための製品であり、施設の防犯、警備および子ども・高齢者の監視などのための専用品ではありません。本システムの利用中に生じた侵入・盗難その他の事件・事故の発生および生命・身体・財産に生じた損害などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (7) 本システムは無線通信を利用した製品であるため、通信機器の接続不具合などにより本システムの利用ができない場合があります。また、本システムを提供するための設備の保守、点検などのため、一時的に本サービスの提供を停止又は中止する場合があります。これらによる事件・事故の発生および生命・身体・財産に生じた損害などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (8) センサー等について、設置場所の温湿度がセンサー等の動作温度範囲を超える場合または急激な温度変化、ペット、シーリングファン、カーテン等の動き、FAX感熱紙、風、電波等の状況の影響により正確な動作がしない場合があります。電波等の状況の影響により正確な動作がしない場合があります。
- (9) 屋内カメラにて撮影したライブ映像が、インターネット回線の通信速度等の設置環境の影響により、コマ落ち等する場合があります。
- (10) 本製品に接続することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外について修理費等は一切保証致しません。
- (11) 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。

IoT ホーム Link
LifeAssist
保証書

この保証書は「保証規定」に記載の内容で、無償修理をお約束するものです。お引き渡しの日から下記の保証期間中に故障が発生した場合、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★お客様へ

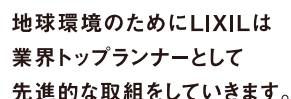
この保証書をお受け取りになる時に、お買い上げ商品、数量、お引き渡しの日、販売店名などが記入してあることを確認してください。保証の対象は下記商品名にチェックと数量が記入されている商品となります。本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。（保証書および取扱説明書は紛失などの時、有償で再発行致しますが、保証書の内容は記載いたしかねますので、あらかじめご承知おきください。）

ユーザー様	ご芳名	様
	ご住所	

施工業者	店名	印
	住所	
	電話番号	

※以下商品のチェック、数量記入、お引き渡し日は販売店で記入の上、ユーザー様にお渡しください。

商品名	有無(有の場合チェック)	数量
無線 LAN ルータ WSR-300HP	<input type="checkbox"/>	
ホームコントローラ miruecomini	<input type="checkbox"/>	
リンクコントローラ FCL5320A	<input type="checkbox"/>	
ドア窓センサ MCT-350 SMA	<input type="checkbox"/>	
広域人感センサ MP-841	<input type="checkbox"/>	
狭域人感センサ Clip SMA	<input type="checkbox"/>	
屋内カメラ i Camera2	<input type="checkbox"/>	
温湿度センサハブ LS090WH	<input type="checkbox"/>	
温湿度センサ LS091WH	<input type="checkbox"/>	
ローカル用 USB メモリ	<input type="checkbox"/>	
保証期間	下記日付から12ヶ月間	
お引き渡し、もしくはお買い上げ日	年 月 日	



会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

Life Assist商品のご購入、使い方などのご相談は、Life Assistお問い合わせ窓口まで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 写真は印刷のため、実際の色と異なる場合がございます。現物またはサンプルなどにてご確認ください。
- 仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 本カタログ掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。

業務用	MAM-484D	2019.04.01発行
-----	----------	--------------

